

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/1/15	茨城県那珂郡東海村	C1級	漏えい・爆発 軽傷1名	その他(店舗兼住宅)	10:44	一般消費者等	業務用オープンレンジのガス栓の誤開放	2022年1月15日(土)10時44分、消防から火災通報を受け、11時15分に現場到着。消防より業務用ガスレンジ(オープン部)のガス栓誤開放による爆発発火との説明を受けた。当日朝、掃除を行った消費者が、誤ってガス栓を半開にしたためオープン内にガスが漏えい、気付けずにチャイカンでオープン蓋火したところ爆発発火し、燃え広がった。 なお、漏えいがオープン内のみであったためガス警報器は作動しなかった。 原因は、オープンガス栓の閉鎖確認を怠ったことによるもの。	器具ガス栓	不明	不明	田邊工業(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンSBあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器不明 ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器不明	・消費者に対し、ガス栓の誤開放について周知徹底、注意喚起を行っている。 ・販売事業者に対し事故報告の報告を求めた。
2022/1/16	群馬県沼田市	C2級	漏えい	一般住宅	15:09	一般消費者等 販売事業者 その他(雷害)	落雷による高圧ホース破損による漏えい	積雪により、屋根から雪の塊が落下し高圧ホースが破損し、ガスが漏えいした。消費者が漏えいに気付かず、バルブを閉じた。販売事業者が現地に伺い損傷を確認後、高圧ホースを新品と交換した。ガス漏えい検知を実施し、漏えいがないことを確認し、ガスの供給を再開した。 原因は、高圧ホースの損傷によるもの。	高圧ホース	矢崎エンジニアリング(株)	RHS-550	(株)JOMOZ 口関東	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・豪雪地域のため、冬季は設置本数を50kg×5本にしているが高圧ホースの連結に不備していた。→後は、同様の事故が発生しないよう集合装置へ設備を改善し、雪害対策を強化する。 ・監督部への事故報告 ・事業者からの情報収集
2022/1/17	高知県四万十市	C2級	漏えい	一般住宅	20:33	販売事業者 保安機関	高圧ガスホースの接続不良による漏えい ＜法令違反＞ 液化ガス 規則第29条 表申2	保安機関に、消費者から「外のボンベの高圧ホースが外れてシューシューと音がしてガス臭い」と電話連絡があった。電話にて、火気の使用禁止及び容器バルブを閉めるよう依頼した。その後、販売事業者の担当者へ連絡が入り、現場へ向かった。予備検知器の高圧ホースが外れており、供給側の容器内の方が少く残り圧力が低下し、自動切替装置作動時に予備の高圧ホースから、供給側に残っているガスが微量に漏れたと考えられる。 原因は、容器設置場所は道路から離れたところであり、誰かが気づかず高圧ホースを外したとは考えられず、容器交換時等点検の不備による高圧ホースのつなぎ忘れと推定される。	高圧ホース	(株)桂精機製作所	BH065	アストメリス イリヤン(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・再発防止策として販売事業者へ容器交換点検完了時に再度、目視点検の実施を依頼した。 ・同日に警察交差を行った。その他の消費者等についても、再度、訪問・点検し問題なかったことを、事業者より確認した。 ・行政処分等については、行っていない。(経済産業省所管のため)
2022/1/18	大阪府門真市	C2級	漏えい	一般住宅	9:55	他工事業者	他工事業者(解体工事業者)による埋設供給管の損傷	2022年1月18日(火)9時55分 解体業者から家屋解体中にガス管破損の通報を受け付け販売事業者が緊急出勤。その間、解体業者により粘土で応急処置を実施。 10時15分 緊急出勤した社員が到着しガス配管が重機にて破損されていることと、臭気も生じていることを確認。 11時18分 埋設供給管がラジにて配管の修復作業を実施。 16時40分 ガス工事業者により修繕完了 二次原因は、解体業者が家屋解体中に重機にてガス配管を破損したことによるもの。 二次原因は、解体業者と販売事業者で工事の打合せをしていたが、解体日と解体業者間の情報共有ができていなかったことによるもの。	供給管(プラスチック被覆鋼管(継手部(埋設部)))	不明	不明	(株)エネアーク 関西	・ガス放出防止器なし ・マイコンなし ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・打合せ時、作業時の注意事項やガス供給業者への工事日の連絡を業者内での周知徹底をってもらうよう要請した。 ・事業者に対して、今後、工事をする際は情報共有を密にし再発防止に務める旨、また、自己告知後、直ちに消防本部まで報告するよう口頭指導した。
2022/1/18	福島県いわき市	C2級	漏えい・火災	その他(食堂内)	9:28	一般消費者等	ゴム管の劣化による漏えい・火災	2022年1月18日(火)9時28分に厨房内にあったゆで麺の種火ノズルに着火しようとしたところ、漏えいしているLPガスに引火した。火は数秒程度で消え、引火後速やかにガスの元栓を締めたため、厨房内に設置されていたガス検知器は作動しなかった。消防が出動したが、同日9時42分に鎮火が確認され、火災は早く事故として処理された。被害は種火ノズルのゴムホース破損のみで、他の物的被害及び人的被害はなかった。 一次原因は、ゆで麺の着火火ノズルに用いる種火ノズルのゴムホースの劣化によるLPガス漏えいによるもの。 二次原因は、ゴムホースの点検不足によるもの。	ゴム管	不明	不明	佐藤商事(有)	・ガス放出防止器なし ・マイコンSBあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり複数種類 ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・1年に1回行っているゆで麺機の定期点検の際にゴムホースを交換する。 ・事故内容の聞き取り調査を実施。 ・事故報告書の作成及び事故原因の提出を指示。
2022/1/20	長崎県豊前市	C2級	漏えい	宿泊施設(旅館・ホテル等)	14:12	販売事業者 他工事業者	他工事業者による埋設配管の損傷	テナント改装工事において、他工事業者が、厨房排水の改修のために土間コンクリートをピックにてはつり作業を実施していたところ、ガス配管の存在に気づかずガス管を損傷させた。PLS20A配管(1cm程度の穴)、ガス漏えいの検知を確認。ガスメーターにて自動遮断のうえ、遠隔監視システムにより保安機関に即して、現場到着後、閉鎖バルブを閉止の上、修繕作業を実施。漏えい、気密試験を実施して供給を再開した。 一次原因は、販売事業者、工事施工会社ともに該当工事箇所にガス管が埋設されていることを認識していなかった状況での他工事による配管損傷によるもの。 なお、埋設管の存在は、認識していた。しかし、当初配管施工業者から図面を引き継いでおらず、正確な位置(埋れや深さ)までは、把握できていなかった。 2020年10月～2018年10月期間工事切替り済 二次原因は、工事照会がありながら、図面としての打合せができていなかったことによるもの。 なお、工事の打合せを予定していたが、日程の認識違いで打合せできず工事は進んでしまっていた。さらに、消費者より既設設備の図面は、入手していたが、打合せができていなかったことと内容を確認していなかった。くわえて、該当工事の施工内容も確認していなかった。 (バルク貯槽298kg×1基)	配管(ポリエチレン被覆鋼管(埋設部))	不明	不明	九州ガス(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ運動) ・CO警報器あり ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・工事照会があったものに関しては、工事内容を把握し既設のガス管への影響を確認して、施工業者と面合による打合せを確実に実施することとする。 ・引き継いだ施設であっても、埋設配管を可能な限り把握することに務めることを指導した。 ・他工事業者から照会があった場合には、工事内容、日程を確認し、確実に配管の位置(埋れや深さ)を確認し、図面をとりとせ指導した。施工予定日に確認できない場合は(又は工事を延期又は立ち合いでなくとも)図面を送付するなどの対応をとること。
2022/1/20	秋田県由利本荘市	C1級	漏えい・爆発	一般住宅	6:55	一般消費者等 販売事業者	落雷による調整器の損傷によるガス漏えい・爆発	2022年1月20日(木)6時55分 一般住宅の台所付近でガス爆発が発生した。当該住宅の管理者が消防に連絡した。台所と周囲の仕切扉のガラス戸等が破壊した。人的被害、周囲の家への被害なし。 7時20分 消防から販売事業者へ連絡あり。 7時25分 業務主任者が現場到着。 9時00分 消防職員が容器バルブを閉じたことでガス漏えいが止まる。 9時00分 消防職員が容器バルブを閉じた。単段式調整器の元栓部分に破損を確認。 11時00分 消防、警察が現場を離脱し、単段式調整器の元栓部分に破損を確認。 15時00分 容器及び調整器を取り外し引取り、当該住居の管理者に確認したところ、今後、当該住居を使用する予定が無いとのことであったため、ガス設備の復旧は行わないこととした。 なお、じガスの漏えい量は14時間と推計している。ガスが漏えい、漏えいしたガスが勝手口ドアの通風ガラリから屋内土間に流入し、土間に設置している灯油ポイラーが火種となって、着火・爆発に至ったことによるもの。 二次原因は、屋根からの落雷が蓄積し、単段式調整器の容器接続部に荷重がかかり折損に至ったことによるもの。 なお、例年以降は業者によるコンパイルでの雪害対策が行われていたが、今年度は実施されていなかった。集中監視装置が設置されていたが、メーターよりも手前の容器側でガス漏えいが発生したため、集中監視装置は作動しなかった。	調整器(単段式)	富士工器(株)	RSASN	NXエネルギー キー東北(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・2月中旬までに県内の全消費者宅(空家で容器設置している箇所も含む)の積雪及び雪害対策状況を調査し、危険箇所(屋根から落雷が懸念される恐れのある場合や数回の降雪しない場所に供給設備を設置している場合等)と判断した箇所はコンパイル設置による落雪・積雪対策を行う。若しくは折損方式ガス流出防止型の調整器に交換する。同時に消費者へ雪害防止対策要領シートを配布し雪害の防止や落雪、雪下ろしの注意喚起を行う。 ・今後の対策として、折損式ガス流出防止型でない単段式調整器及び内側直付の自動切替調整器を設置している既設先に対し、既設折損式ガス流出防止型の単段式調整器及び住宅外壁設置型の両袖自動切替調整器に交換する。 ・2022年度の保安教育において、雪害対策を題材として随時教育を行う。
2022/1/21	大分県臼杵市	C2級	漏えい	その他(美容室)	18:00	販売事業者	配管の腐食、劣化による漏えい ＜法令違反＞ 液化石油ガス法施行規則27条第2号、液化石油ガス法施行規則37条第3号イ、ロ	2018年9月17日(月)に委託先の保安機関が行った定期供給設備点検及び定期消費設備点検で、美容室において、消費配管の微少漏えいが発覚した。 2022年1月14日(金)に法令違反の発見及び発見に基づき入浴検査を行った結果、美容室の微少漏えいの改善が行われていないことを発覚し、緊急改善を行い報告するよう指導した。緊急の改善の指導をし、同日、漏えい箇所の特定、配管を交換し改善が行われた。 原因は、メーターから屋外のガス給湯器へ向かう立下り配管の腐食によるガス漏れによるもの。 二次原因は、2018年9月17日(月)に委託先の保安機関が定期消費設備点検を行なった結果、消費配管から微少の漏れについて保安機関から連絡を受けたが、2022年1月21日(金)に改善を行うまで調査を行わなかったことによるもの。	配管(白管(露出部))	不明	不明	甲斐商店	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・保安機関から改善するよう連絡があった際には、速やかに調査・改善を行う。 ・立入検査において、漏えい箇所の早急な改善を指示 ・事故報告書の提出を指示 ・事故を受けての立地入浴検査の実施
2022/1/21	福島県那珂郡猪苗代町	C2級	漏えい	その他(研修施設)	12:24	販売事業者	落雷による供給管の破損による漏えい (バルク貯槽980kg×1基)	保安機関より圧力センサー遮断との報告があり、緊急出動。配管の継手部分より漏れを確認した。 一次原因は、積雪の荷重が配管にかかり、重さに耐えきれず継手破損によるもの。 二次原因は、継手部分近くにはペーパーライザーがあり、その周りの雪が溶けたせいで、一気に雪がなだれ込み配管に負荷がかかったものと推定される。	供給管(硬質鋼管(自管)継手部)	不明	不明	(株)JA津 よつば総合 サービス	・ガス放出防止器なし ・マイコンSBあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ運動) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・今回の損傷箇所を補修材を被覆し、定期的に除雪を実施する。 ・応急措置として、補強材を設置し、除雪を実施すること。 ・雪解け後、社内で話し合い、今後の対策を協議すること。 ・事故現場の確認(2022年4月21日(木)夜)を行い、事業者が提出してきた事故の対策工事に備わらないか現場検証を実施する。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/1/23	山梨県上野原市	C2級	漏えい	一般住宅	14:45	販売事業者	配管継手部(メーターユニオンの)の接続不良による漏えい	ガスメーターの検測に伴う交換作業を実施の3日後、消費者より、メーター周りでガス臭いと連絡があり、当該職員による緊急時対応を実施した。メーターユニオンからのガス漏れがあったため、メーターを交換し、再確認し、自記圧力計にてガス漏れ検査を行うとともに換気装置の漏えい確認を行い改善を確認した。 一次原因は、メーターユニオンの接続不良による漏えいと推定される。 二次原因は、施工不完了(交換後の確認不足)によるものと推定される。	配管(メーターユニオン継手部(露出部))	不明	不明	三ツ輪産業(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・販売事業者職員全員で共有し、作業時並びに作業完了後の確認の徹底を行い再発防止を図る。 ・情報収集、再発防止指導及び事故報告書記載指導
2022/1/23	秋田県大館市	C2級	漏えい	一般住宅	10:09	一般消費者等	水雪の重みによる配管の損傷による漏えい	2022年1月23日(日)10時09分 一般住宅の消費者から、ガス警報器が鳴動し、ガス臭いと電話が販売事業者電話に入る。 10時19分 販売事業者の担当者が現場へ出勤。 10時35分 担当者が現場に到着。ガス臭を確認。ガスメーターを確認したところ「増加流量遮断」が表示されており、ガスメーターの自動機能でガスの供給が遮断されていた。漏えい箇所を特定するため、供給設備と消費設備を目標で確認したところ、隣家との距離が狭く掃雪等の作業が困難なため、この時点では漏えい箇所特定には至らなかった。このため消費設備側で漏えいしたものと考えられたが、配管の一部が水雪に埋もれており、隣家との距離が狭く掃雪等の作業が困難なため、この時点では漏えい箇所特定には至らなかった。 11時00分 消費設備の配管には住居側と旧店舗(食堂)側の配管経路で発生したことを特定した。当該住宅の消費者によると、旧店舗(食堂)側の消費設備の今後の使用予定がないことであったため、了解を得て旧店舗(食堂)側の配管経路を中間バルブから切り離してプラグ止め作業を行い外経路を確保した。 12時00分 住居側の消費設備の配管経路を対象に、自記圧力計を用いて漏えい試験を行いガス漏れがないことを確認し、LPガスの供給を再開した。漏えい量は、約3.6kgと推計している。消費設備配管の一部が損傷したことにより漏えいしたものと推定される。 一次原因は、消費設備配管の一部が損傷したことにより漏えいしたものと推定される。 二次原因は、当該住宅と隣家間に堆積した水雪の重みにより消費設備配管が損傷したものと推定される。	配管(白管(本管(露出部)))	不明	不明	ハタチキ(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ遮断) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	1.至急実施する警報防止対策 全ての供給先LPガス設備の積雪の状況を確認・集約し、雪害のおそれのある箇所について、消費者に対して口頭並びにチラシ配布にて除排雪等の協力を要請する。 2.雪害のおそれがある箇所のうち、消費者が高齢や病気でであるなどの事情で自ら除排雪等が出来ない場合は、販売事業者が可能な範囲で除雪や防護板の設置等の対策を実施する。 3.当面の警報防止対策 ・積雪式調整器を設置している供給設備のうち、雪害のおそれのある箇所については、ガス放出防止機能付のものに置き換え、交換していく。 ・雪害のおそれのある容器設置場所については、容器を収納庫庫に収めたり、容器を安全な場所に移送するなどの対策を実施していく。 ・消費設備の配管等についても、雪害のおそれのあるものについては、設置位置や設置方法を改善していく。 3.事故対応にかかる社内体制の再確認等 -事故発生時における社内連絡・情報共有の体制の再確認を行う。 -関係先行への事故報告ルールの見直しへの徹底を図る。
2022/1/23	福島県福島市	C2級	漏えい	飲食店	19:00	販売事業者	容器バルブのOリングの破損による漏えい	事故当日、通行人よりガス臭いと消防に通報が入った。消防から別の販売事業者へ連絡が入り、担当によりガス臭いを確認し、対応及び検査を行った。対応後、当該販売事業者へ連絡が入り現場確認を行った結果、容器接続部のOリングの破損が見つかった。Oリングについては交換作業を行った。 原因は、容器接続部のOリングの破損によるもの。	容器バルブ	不明	不明	福島日石(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ遮断) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・容器交換時に、締結終了後に再度目視で確認を行うこと。 ・容器交換時に、交換した容器のみ検知での漏えい確認を行っていたが、全ての容器で確認する。 ・メーター検針時にも、容器の目視確認を行う。交換頻度の高い業務用消費器具においては、Oリングの定期的な交換を実施する。 ・口頭にて再発防止の徹底を指導した。
2022/1/24	秋田県大館市	C2級	漏えい	その他(銀行)	15:15	一般消費者等	雪の重みによる配管継手部の損傷による漏えい	2022年1月24日(月)14時54分、通行人よりガス臭いと通報が入り、消防に入る。 15時15分頃、販売事業者が消防から通報を受け、現場へ出勤。 15時25分頃、販売事業者従業員2名が現場に到着。LPガスが漏えていることと漏えい箇所が消費配管の継手接続部であることを確認し、供給設備側バルブ閉鎖とガスメーターを遮断したバルブを閉鎖し、LPガスの漏えい停止を図る。 16時40分頃、販売事業者3名を加え計5名が復旧作業を開始し、当該漏えい箇所の修繕を行った。その後消費設備の気密試験を実施し漏えいがないことを確認した。 16時30分、LPガスの供給を再開し、GHP4台の運転を開始した。 なお、1台のガス臭い量計10kgと推定される。ガスメーター付近の消費配管の継手ねじ接続部の損傷により漏えいした。 一次原因は、ガスメーター付近の消費配管の継手ねじ接続部の損傷によるもの。 二次原因は、雪の重みにより消費配管の継手ねじ接続部が損傷したことによるもの。 (バルブ貯槽980kg×1基)	配管(PLS32A(継手部(露出部)))	不明	不明	(株)本間	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・消費配管が雪の重みに耐えられないようコンクリートブロックを用いて、消費配管の指示・固定を行った。
2022/1/27	岩手県盛岡市	C2級	漏えい	一般住宅	14:50	販売事業者	落雪による高圧ホース継手部の損傷による漏えい	2022年1月27日(木)14時50分頃、屋根からの落雪により、供給用ポンベ2本を連結している高圧ホースの継手ねじ込み部分が折損し、漏えいに至った。高圧ホースに接続した管を閉鎖し、消費者が漏えいを実行してバルブを閉鎖し、漏えい停止した。ポンベ上部に屋根があったものの、雪害対策は行われていなかった。 14時55分頃、落雪が原因でガス漏れが発生した旨、消費者から販売事業者へ連絡。連絡を受けた販売事業者は現場に向かった。 15時15分頃、販売事業者の担当が、現場に到着。居合わせた消防員から消費者においてバルブ閉鎖を行った旨報告を受ける。販売事業者は容器周辺にガス漏れがないことを確認。 連絡用高圧ホース及び調整器を交換。調整器は壁面に設置し、容器ホース接続部は壁面側へ変更。あわせて供給用ポンベ2本を交換。 15時50分頃、設備修繕完了後、ガス検知により、漏えいがないことを確認。屋内のガス機器等を点検し異常がないことを確認。 16時00分頃、ガスの使用を再開。メーター使用量及びポンベ重量から2kgの高圧ガスが漏えいしたものと推定される。 原因は、雪害対策がなされており、屋根からの落雪により液化石油ガス器具の破損によるもの。	①高圧ホース ②調整器(単設式)	①(株)桂精機製作所 ②(株)桂精機製作所	①EHL-2S ②SKL-SB5	盛岡ガス燃料(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・調整器を壁面に設置するとともに、容器ホース接続部を壁面側へ変更した。 ・販売事業者に対して事故発生時の行政機関に対する速やかな通報を要請した。
2022/1/31	福島県南安部郡只見町	C2級	漏えい	一般住宅	6:05	一般消費者等販売事業者	雪の重みによる配管継手部の損傷による漏えい	2022年1月31日(月)6時05分に、「ガスの使用時間オーバーによるガス遮断が作動した」との連絡が緊急時対応を行う保安機関に入り、緊急出動した。ガスメーターの復旧ボタンを操作したものの、ガスが復帰しなかったため、配管のサドルが建物の壁から外れ、固定していた配管は下方にずれていることを確認した。ガス検知器を使用すると、配管とエルボの接続部分が反応し、ガス漏れが判明した。人的被害、物的被害はないこと、1月31日15時00分には修理が完了した。気密試験によりガス漏れの有無を確認した上で、安全と判断し、供給を再開した。 一次原因は、配管とエルボの接続部分が損傷したことにより漏えいしたと推定される。 二次原因は、屋根からの落雪が、サドルを含む配管の高さより積も重なり、その重みにより、配管とエルボの接続部分の損傷につながったためと推定される。	配管(PLV20A(継手部(露出部)))	不明	不明	(株)JJA津浦よつば総合サービス	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・積雪の影響の少ない軒下に配管済み。また、今後定期的な除雪を実施予定。 -事故原因や被害状況等について相手方に聞き取りを行い、再発防止を徹底するよう指導した。
2022/2/1	徳島県徳島市	C2級	漏えい	その他店舗	14:00	販売事業者	供給管隠蔽部の老朽化による漏えい	販売事業者がポンベの交換に施設を訪れたところ、ポンベの保管場所がガス漏れ監視システムに異常が発生していることを確認し、調査を開始した。調査の一環で配管の前任検査を行ったところ、隠蔽部の配管の一部区間で圧力が下がっていたことから、すぐに店舗側で連絡してガス供給を停止した。施設内にガスの匂いはなく、漏れた量も微量であり、人的・物的被害はないことを確認した。 原因は、配管の老朽化による腐食・劣化と推定される。	供給管(白管(隠蔽部))	不明	不明	丸善商事(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり種別不明 ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・配管を新設した。 ・事業者に状況を聞き取り、事故原因の提出を依頼した。
2022/2/1	秋田県大館市	C2級	漏えい	一般住宅	17:10	その他(警署)	落雪による高圧ホースの損傷による漏えい	2022年2月1日(火)17時10分、消費者からLPガス容器周辺でガス臭がするとの連絡が販売事業者に入り、従業員3名が出動。 17時05分、現場到着後、現場で消防員と連携し、供給バルブを閉鎖し、LPガス供給を停止した。LPガス供給設備の損傷を確認した。ガス検知器で容器周辺5mほどの範囲で漏えいし確認されたため、50kg容器2本立範囲の雪を寄せ容器回収するとともに滞留LPガスの拡散作業を実施。 17時50分、消防隊員立会いのもと、あらかじめ建物周囲および建物1階内部の滞留LPガス検知作業を実施。漏えいがないことを確認。 18時10分、従業員がLPガス供給消費設備を修理し、漏えい箇所を特定し、LPガスの供給を再開した。 一次原因は、集合高圧ホースねじ接続部が折損したことによるもの。 二次原因は、2階建て住宅の屋根より雪が落ち、直下にあったLPガス供給設備を直撃したことにより、集合高圧ホースの容器ねじ接続部が折損したことによるもの。	高圧ホース	富士工器(株)	LSH6-S(2017年6月)	ENEOSグループエナジー(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・屋根の勾配と積雪現状を考慮し、落雪及び積雪の影響が避けられる場所へLPガス供給設備を移設した。
2022/2/1	神奈川県座間市	C2級	漏えい	一般住宅	19:05	器具メーカー	調整器の不具合による漏えい	2022年2月1日(火)19時頃、消費者から保安機関へガスが使えないと入電があった。保安機関から担当者が現場へ行き、ガスメーターを確認すると、ガスメーターの表示が0.9MPaと低下の表示であった。そのため、容器を交換し、漏えい試験を実施したが配管に異常は見られなかった。また、高圧部を抜取液で確認したところ周囲が暗かともあり、異常を確認できなかった。 後日、再度、現場確認したところ、調整器の切替レバーからガス漏れの反応があったため、調整器を交換した。これにより漏えいは停止した。 一次原因は、調整器の切替レバー付近からガスが漏れ出したことによるもの。 二次原因は、調整器の入口部調整のスcrewを取り外した状態となっており、そこを通過した微細な粉粒状の異物が通過し、調整器内部に侵入した。異物が、安全弁シール部に噛みこんだことにより漏えいに至ったと推定される。 なお、異物が生じた原因は不明である。	調整器(自動切替式)	I-T-O(株)	AXS-8B-2TH	レンガス(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・調整器メーカーに調査を依頼した。不具合が起きる可能性がある場合は、他消費者への調整器も順次交換していく。 -事故原因及びメーカーからの報告書を提出するよう指導した。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/2/1	神奈川県相模原市	C2級	漏えい	一般住宅	9:42	他工事業者	他工事業者(水道工事業者)による埋設供給管の損傷による漏えい	2022年2月1日(火) 水道の新設工事を行っている水道工事業者から、誤って重機で管を破壊させたとの連絡が販売事業者にあった。販売事業者の担当者が現場確認に向かい、同日中に破損した管を埋め直し入れ替え、修繕を完了した。 なお、液化石油ガス販売事業者は、2021年8月9日(月)に、当該水道工事業者へ管の埋設図面の写しをメールで提供していた。しかし、工事日曜日に連絡待ちしていたため、当該本管付近の掘削工事日程を告知しておらず、これ以上の対応を取っていなかった。 一次原因は、水道工事業者の重機の操作ミスによるもの。水道工事業者社長は、掘削中に配管の上部に敷設した「ガス管注意シート」を確認し重機を土中から出そうとしたところ、誤って重機が管に当たり破損させた。 二次原因は、販売事業者が、本管の埋設図面を提供するに当たって、水道工事業者に対する伝達確認・保安監査に不足があったことによるもの。	供給管(ポリエチレン管(本管(埋設部)))	不明	不明	中央液化ガス(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス検出し ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・集団供給(複数の戸建住宅等)の埋設供給管付近で道路掘削工事があることを告知した場合は、埋設管図面の提供に加え、経済産業省の啓蒙チラシを手交し、事故防止を周知する。可能な限り、掘削工事には販売事業者が立ち会うこととした。 ・事故箇所の提出を指導した。
2022/2/3	佐賀県佐賀市	C2級	漏えい	一般住宅	12:25	販売事業者 他工事業者	他工事業者(工事業者)による埋設供給管の損傷による漏洩	2022年2月3日(木)12時20分、消費者より販売業者へガスが使用できないとの連絡が入る。 12時50分、販売事業者が現場に到着し、メーターがBCガス止P(ガス圧低下)表示であり、操作しても復旧しなかったことから容器を閉栓した。その後調査したところ埋設供給管(低圧部、強化ビニル被覆鋼管)が切断されていることを確認した。 一次原因は、他工事業者が重機による整地作業中に掘削して重機を埋設供給管に接触させ、損傷させたことによるもの。 二次原因は、他工事業者と販売事業者間で埋設ガス管確認のための話し合いが出来ていないことによるもの。 なお、当該消費先は集団個別供給方式としており、今回他事業者が意地していた場所は事故当時空となっていた場所で、露出供給管は撤去されている状態であった。また、他工事業者から販売事業者に対して事前の連絡等はなかった。	供給管(強化ビニル被覆鋼管(本管(埋設部)))	不明	不明	ENEOSグループエナジー(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス検出し ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・不要となる埋設管を撤去、気密試験等を実施の上供給を再開した。また、年2回実施している不動産会社やアパートオーナー、工事業者等に他工事事故防止のための周知活動を引き続き実施していく。 ・販売事業者に対し事故情報の報告を求めるとともに、不要な埋設管については、撤去または撤去できない場合はガスが通らないように処置するよう指導した。
2022/2/3	岡山県赤松市	C2級	漏えい	共同住宅	10:30	器具等メーカー	調整器の故障による漏えい	2022年2月3日(木)10時30分、定期保安調査訪問時に供給設備を確認するためにガス漏えい検査を実施したところ、調整器レバー付近で、微量のガス漏えい検知あり(臭気はなし)。調整器を交換し、メーターに当該調整器の調査依頼(4月7日)引渡しした。 なお、ガス漏えい量は当社の残ガス管理と比較して差異がないため、数量と推定される。 一次原因は、メーター調査により、調整器本体の中圧カバー内部の運動子とナット部分からの漏えいと推定される。 なお、ダイヤフラムと運動子のシール部に異物が付着しており、緊急時立時はダイヤフラムのゴム弾性によって気密が保たれていたが、数年間の使用によりゴム弾性が低下したことにより、漏えいが発生したものと推定される。 二次原因は、調整器の高圧部に砂粒状の異物があり、その中圧弁部表面にも細かい砂粒状の異物が積み込んでいたことから、中圧部が閉塞不良となり、ダイヤフラムへの過剰な圧力が繰り返し加わることで、ダイヤフラムの劣化が促進されたと推定される。	調整器(自動切替式)	矢崎エナジーシステム(株)	AX-20BH-R	水島瓦斯(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス検出し ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・製造メーカーは工程作業中のエアフローを廃止。 ・情報収集を実施した。
2022/2/3	秋田県大館市	C2級	漏えい	一般住宅	9:06	その他(落雪)	落雪によるメーターユニオン部の損傷による漏えい	2022年2月3日(木)8時30分 通行人がガス臭を感じ、警察に連絡する。 8時50分 警察が現場へ出動し、ガス漏れを確認した。ガス漏れが発生している住居の消費者にガス漏れを伝える。警察が消防に連絡を入れる。 9時00分 警察からガス漏れを指摘された消費者から販売事業者へ連絡が入り、従業員が出動した。 9時15分 従業員が現場に到着した。容器バルブを閉止し、漏えい止めを。 9時20分 消防が現場に到着した。火災が発生していないことを確認後、消防は撤収した。 9時25分 メーターユニオン部入口側シロジの損傷によるガス漏れを特定し、メーターユニオンの交換を実施する。その他周辺点検及び除雪を実施する。 11時00分 機械式自動圧力計「ガス漏れ検知器」を使用して漏えい検査を実施し、漏えいが無いことを確認した。 11時15分 LPガスの供給を再開した。 なお、LPガスの漏えい量は不明である。 一次原因は、メーターユニオン部入口側シロジ部損傷により漏えいしたことによるもの。 二次原因は、屋根からの落雪がメーターユニオン部に直撃したことによるもの。	①供給管(被覆白管(縦手ターユニット部)) ②ガスメータ	①不明 ②未知時計電機(株)	①不明 ②SA25MT1-6(有)イワイエス・ヨコイ(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス検出し ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・容器・メーター等に落雪が直撃しないよう防護措置を講じた。	
2022/2/4	山形県東田川町内町	C2級	漏えい	工場	15:15	販売事業者	雪の重みによるヘッダーの損傷による漏えい <法令違反> 液化石油ガス法施行規則18条第1号ニ	容器が設置されている工場屋外に設置された仮設屋外物置(単管バルブポリカーボネート製トタン状屋根)が、積雪の重みでゆりゆり傾斜し、その反動で容器に接触した。設置されている容器10本の中の内6本が倒れ、ヘッダーが損傷した。損傷部分からアロイ管内のガスのみが漏えいした。折損後の約15分以内に容器バルブは閉止された。また、鉄方式高圧ホースにより容器からのガスの放出は免れ、折損したヘッダー内のガスの漏えいに留まった。 一次原因は、単管バルブとポリカーボネートの屋根による積雪で15年以上が経過した仮設屋外物置は、販売事業者が液化石油ガス法施行規則18条第1号ニに基づく、容器等に積るべき積雪、転倒等による衝撃及びバルブ等の損傷を防止する措置を怠っていたことと推定される。 ※液化石油ガス法第16条の2第1項に基づき、販売事業者が、供給設備を経済産業省で定める技術上の基準に適合するように維持していない、(液化石油ガス法施行規則18条第1号ニ)定める技術的要件に照して十分な保安水準の確保ができる技術的な根拠がなく、当該規定に適合しないと判断する。 二次原因は、屋根の積雪の重みによる屋根の崩落によるもの。	調整器(自動切替式)	矢崎エナジーシステム(株)	SISA-10PSB(T) (2020年10月製造)	カマイ(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス検出し ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・供給設備付近に積雪や転倒の恐れのあるものを置かないよう、消費者へ申し送りをする。 ・事故現場への出動：2022年2月4日(金)19時に事故現場の調査を実施済み※措置及び対策については、高圧ガス保安法第39条の規定に該当しないため、実施せず。
2022/2/5	広島県安芸郡高野町	C2級	漏えい	一般住宅	17:00	他工事業者	他工事業者(解体業者)による供給管の損傷による漏洩	2022年2月5日(土)17時頃消費者から「ガスが出ない」と連絡があったためポンペ庫を確認すると、ほぼ空になっていた。導管の漏えいと判断し、直ちに供給している3台等へ個別供給の手配を行い供給を再開した。翌日原因の調査をしたところ、1か月前(1月25日(金))に火災で全壊していた建屋に対し、1週間前(1月29日(土))より工事に入っていた解体業者が作業を行っており、販売事業者へ連絡もなく、重機によりガスメーター手前の立ち上がり部がスクリュー(S20A)を破壊させたことが判明した。そのままの状態で行っていた部分で少量のガス漏えいを確認した。ガス臭いとの連絡が無かったのにもかかわらず、推定した漏えいガス量は750kg(90口径器9本×2系系)。 一次原因は、解体業者が建屋解体(火災の建屋)において、販売事業者へ連絡をしないで解体工事を行い、ガス管を損傷させてそのままの状態で行ったことによるもの。	供給管(PLS(本管))	不明	不明	広島ガス東部(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス検出し ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・道路から敷地の引き込み位置へガス管表示シールを貼り、道路上へ表示を行う。 ・残留供給管の管理としてPラフ止め箇所へ表示杭を設置する。 ・解体業者へは当該地区には埋設管がある旨の説明を行い、掘削作業時には事前連絡をするように周知し、ハンフレット等を配布し再発防止を依頼した。
2022/2/7	佐賀県藤野市	C2級	漏えい	一般住宅	8:57	販売事業者 保安機関	調整器のリングの亀裂による漏えい <法令違反> 法第18条の2第1項及び規則第18条第20号イ、法第27条第1項第1号、法第34条第1項及び規則第36条第1項第1号イ(1)	2022年2月7日(月)8時57分、消費者よりガスが止まってガス臭がする、容器バルブは既に閉めているとの連絡があった。販売事業者は消費者に対し、ガスや火気の使用禁止と換気を指示し、現場へ出動した。 9時20分販売事業者が現場に到着し、容器が閉塞されていること、メーターがBCガス止P(ガス圧低下)表示となり自動遮断状態となっていること、10kg容器が全量空になっていることを確認した(推定漏えい量約9kg)。 一次原因は、機械式調整器の容器接続部リングに亀裂が入ったことによるもの。 二次原因は、容器交換時に単段式調整器の容器接続部が地面に接地、砂等が付着したまま取り付けたことで、リングに亀裂が入ったと推定される。	調整器(単段式)	富士工器(株)	RSAs(2020年1月製造)	(株)エネクス九州	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス検出し ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・調整器・低圧ホースと交換し、漏えいがないことを確認した後供給を再開した。 ・事業者社内で共有、配達スタッフに注意喚起するとともに、調整器が容器から取りはずした際に地面に接地しないよう低圧ホースの改善を実施することとした。 ・販売事業者に対し、事故情報の報告を求め、事故再発防止策の徹底を指示した。
2022/2/9	北海道札幌市	C2級	漏えい	一般住宅	17:57	その他(落雪)	落雪による配管の損傷による漏えい	2022年2月9日(水)17時57分 消防に消費者から屋外のガス管が破損し、付近でガス臭がするとの連絡があり、消防隊が出動した。同日18時15分 消防隊は、除雪作業を実施した。当該箇所でのマイコンメーターの破損、マイコンメーター二次側の供給管の一部が損傷しているのを確認した。当該箇所を調査し、損傷した供給管を撤去し入れ替えた。配管の閉栓及び容器のバルブを閉止した。 原因は、落雪によりマイコンメーター二次側の供給管が損傷したことによるもの。	①配管(白管(本管(露出部))) ②ガスメータ(SY25MT1-1)	①不明 ②矢崎エナジーシステム(株)	①不明 ②SY25MT1	(株)くぼた電器	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス検出し ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・当該建物の消費者から例年の積雪や雪庇の状況を確認し、再設置の際は供給設備の設置場所の検討または雪害防止の措置を講じた。 ・当該事故箇所への雪害防止対策を講ずるよう指導した。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/2/9	広島県広島市	C2級	漏えい	共同住宅	11:00	販売事業者	埋設配管の腐食・劣化による漏えい	マンション1階の事務所において、定期検針で異常な使用量となったため訪問調査を行った。その結果、消費側埋設配管の腐食・劣化によるガス漏えいを確認した(白管防食テープ巻き)。同時に、埋設配管設置部の漏洩による対応を行い、気密検査を実施し、異常がないことを確認した。なお、推定漏えい期間は2021年12月28日(水)~2022年2月9日(水)、最大漏えい量は約95kg、毎時平均漏えい量は 約9.09kg/h。原因は、埋設配管の経年劣化によるもの。	配管(白管(本管(埋設部)))	不明(1977年施工)	ENEOSグループエナジー(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス検知あり ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・埋設白管の敷設物件への集中監視システム設置によるメーター異常の早期対応 ・埋設白管の露出配管への変更及びPE管への変更の促進	
2022/2/10	長野県北佐久郡軽井沢町	C2級	漏えい	一般住宅	11:00	不明	配管からの漏えい	2年以上使用していない別荘の消費者宅で、2022年2月7日(月)ガス残量管理システムにより残量がない警告があったので容器交換を実施した。2月10日(水)にガス残量警告が再度発せられたため現地を確認したところ50kg容器一本が空になっていた。この間、消費者はガス未使用で、圧力検査を実施したところ不適合となった。 原因は、漏えい箇所が露出部では確認できず、埋設部・隠蔽部の配管と推定される。	配管(白管(隠れ部))	不明	軽井沢ガス(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス検知あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・消費者に確認したところ、当面使用の予定はないため、供給側設備をすべて撤去。 ・事故情報収集	
2022/2/12	和歌山県田辺市	C2級	漏えい	一般住宅	8:40	販売事業者	販売事業者の調整器と高圧ホースの接続不良による漏えい	2022年2月12日(土)8時40分 保安機関にて、集中監視システムで圧力センサー遮断を受診。消費者に電話を入れ、メーター復帰操作をお願いするが復帰出来ず、担当者が出動した。 10時26分 消防隊が現地に到着し、建物西側に設置されているマイコンメーター及びマイコンメーターの継手部分が破損していることを確認し、消防隊でLPガス容器のバルブを閉止した。 10時47分 消防の臨場要請により保安機関の職員が現場に到着した。 11時ごろ 販売事業者の職員が現場に到着した。現状の雪庇で落雪危険が高く、復旧作業が困難なことから消費者配管をクラム止めを行った。雪解け後の復旧作業に取り掛かる迄の間は、居室暖房で対応する事を消費者に説明し了承を得た。 一次原因は、マイコンメーター及びマイコンメーター継手部分の損傷によるもの。 二次原因は、住宅屋根からの落雪によるもの。	①高圧ホース ②調整器 ③自動切替式	①T・O(株) ②T・O(株)	①TH-6-6HQ (2021年11月製造) ②AKS-8C6G-2TH (2021年11月製造)	(株)エネアーク関西	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス検知あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・自動切替調整器の交換時は、高圧部の漏えい検査をガス検知器で確実に実施する事の徹底を再周知し、取替等の作業は作業分担を明確にして行うことの実施教育を行う。 ・自動切替調整器等の取り換え作業後は、ガス検知器やせつけん水を用いて、漏えい確認を適切に行うよう指導した。 ・複数人での作業時には、作業内容で連携を図るとともに、各作業を確実に行うことを目的として、チェックリストを用いるなどの対策を講じるよう指導した。
2022/2/14	北海道札幌市	C2級	漏えい	一般住宅	10:16	その他(警署)	落雪によるガスメーター及びメーター継手部分の損傷による漏えい	2022年2月14日(月)10時16分 消防に消費者から「落雪でLPガス容器が外れLPガスが漏れている。」との通報があり、消防隊が出動した。 10時26分 消防隊が現地に到着し、建物西側に設置されているマイコンメーター及びマイコンメーターの継手部分が破損していることを確認し、消防隊でLPガス容器のバルブを閉止した。 10時47分 消防の臨場要請により保安機関の職員が現場に到着した。 11時ごろ 販売事業者の職員が現場に到着した。現状の雪庇で落雪危険が高く、復旧作業が困難なことから消費者配管をクラム止めを行った。雪解け後の復旧作業に取り掛かる迄の間は、居室暖房で対応する事を消費者に説明し了承を得た。 一次原因は、マイコンメーター及びマイコンメーター継手部分の損傷によるもの。 二次原因は、住宅屋根からの落雪によるもの。	ガスメーター	矢崎総業(株)	SVZMT(2019年7月設置(2.5m3/h))	カワイ協和産業(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス検知あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・容器設置場所を再度、検討する。 この物件以外にも、供給設備やガスメーターは落雪のない箇所に設置するよう口頭指導した。
2022/2/15	岡山県井原市	C2級	漏えい	一般住宅	18:22	一般消費者 他工事業者	他工事業者(リフォーム工事業者)の配管切り直しによる漏えい	2022年2月15日(火)18時22分、消費者よりテーブルコンロが点火しない、ガスメーターの復帰ボタンを操作してもガス止OC表示となりガス使用できないと電話連絡があった。メーター復帰作業が完了しないままにメーターを交換しようとしたが、機械式目印記にて漏えい検査を実施した。圧力異常を確認したため、消費設備設置の確認を実施するも、ガス検直前の壁隠れ部で配管分岐を確認。原因究明に至らなかった。2月18日(水)、販売事業者が原因究明のため消費先へ訪問する。消費先は所のリフォームを行っており、2月15日(火)、1階と2階の内部ホールの換気扇と隣室となる旧ガス栓部コック取外し後配管継手キャップ施工のキャップ取外しを消費者がDIYで依頼し、施工が完了した。その際、コック管が折れ、ガスの匂いがしたため、窓を開け換気を実施した。と回答があった。消費者の希望で既設配管の一部の撤去・使用ガス経路のみ配管の再配管を実施し、復旧を完了した。 一次原因は、他工事業者の消費設備配管切り直しによるもの。 なお、消費者がリフォーム工事を行っており、20年以上前に配管止め処理を行った部分は既にガス供給されていないと思われ、経路の特定となるキップ(配管継手)の取外しを施工に依頼し取外したため、メーター遮断が発生する程度のガスが漏れた事により「メーター遮断」が発生した。そのため、夕刻、ガス使用時に使用出来なかった。 二次原因は、消費者、他工事業者の確認不足によるもの。	配管(白管(隠れ部))	不明	不明	晴れの国岡山農業協同組合	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス検知あり ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器不明	・ガス事業者から消費者への周知徹底。 ・情報収集を行った。
2022/2/15	宮崎県宮崎市	C2級	漏えい	共同住宅	16:50	販売事業者	メータユニオン部の接続不良による漏えい	2022年2月15日(火)16時50分頃、住民から消防に「ガスの臭いがする。」旨通報あり。住民によると、15時00分頃から臭いがあったことから、消防から隊員が出動し現場を確認した。17時15分に消防から販売事業者へガス漏えいについて通報があり、17時25分販売事業者職員2名が現場に到着した。販売事業者職員が原因箇所を点検したところ、1階メーターシャフト内の供給側メータユニオンより漏えい確認された。ガスメーターはBOP表示で遮断中であった。販売事業者が当該メータユニオンの締止作業を行ったところ、漏えいが止まった。販売事業者職員が、圧力4.15kPaによる漏えい試験を行い、異常なしを認めた。当該漏えい箇所については、販売事業者が2月14日(月)にガスメーター交換作業を実施しており、交換作業後に漏えい検知事故翌日の2月16日(水)10時00分、販売事業者が当該物件の全室巡回し検査を実施し、漏えいがないことを確認済み。	配管(白管(継手部(露出部)))	不明	2022年2月施工	(株)ソババガスフロンティア	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス検知あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・漏えい原因場所であるメータユニオンの締止作業を販売事業者が行ったことにより漏えいは停止した。 ・販売事業者が圧力4.15kPaでの漏えい試験を行い、漏えいがないことを確認済み。 ・その他、当該建物全室についても販売事業者が漏えい試験を行い、漏えいがないことを確認済み。 ・販売事業者に対し、液化石油ガス設備の工事の確実な実施と、施工後の十分な検査を行い、再発防止に務めるよう指導した。
2022/2/15	長崎県佐世保市	C2級	漏えい	共同住宅	10:30	他工事業者	他工事業者(リフォーム工事業者)の配管損傷による漏えい	集団供給方式で供給している共同住宅において、2022年2月15日(火)10時35分頃、リフォーム業者から当該アパートの1階廊下天井の腐食部分のバネが破断作中、天井鉄柱(ドリルネジ)に穿孔作業中がガス漏れしたため、販売事業者へ連絡あり。その際、販売事業者からリフォーム業者へ、ガス容器のバルブ閉止及び現場での火気使用禁止を指示。通報後、同10時55分に販売事業者が現場へ到着し、ガス容器の閉止を確認後にリフォーム業者案内のもと作業箇所を確認したところ、鉄柱裏側(隠蔽部)に敷設してあるガス供給管(ISGP15A)にドリルネジが貫通した損傷箇所を確認。直ちに発生しているアパート住人へ損傷ガス配管修理のため、ガス供給停止及び工事内容を説明。同17時に供給側ガス配管工事が完了。気密検査合格後にガス供給を再開した。 一次原因は、天井バネ破断のため、固定する鉄柱(ドリルネジ)にて穿孔作業中に鉄柱を突き抜けガス配管を貫通損傷したことによるもの。 二次原因は、販売事業者へ工事業者、オーナー、管理会社から今回の工事についての連絡が無く、立ち回り及び配管経路等の説明が出来なかったことによるもの。 (バルク貯槽298kg×1基)	供給管(白管(本管(隠れ部)))	不明	不明	太陽日酸エネルギー(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンなし ・ヒューズガス検知なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・住人、オーナー、管理会社及び取引のある工事業者へ、工事の際は販売事業者へ連絡するよう、定期的に連絡を行う。 ・事故急報後、事故報告の提出、再発防止策の策定を指示した。 ・他工事業者を実施する際に、オーナーや管理会社又は工事業者から連絡があるように周知に努めることを指導した。
2022/2/15	和歌山県和歌山市	C2級	漏えい	一般住宅	9:18	一般消費者等	一般消費者の配管損傷による漏えい	2022年2月15日(火)09時18分 保安機関にて、集中管理システムの圧力低下診断情報を受信した。 09時20分 消費者に連絡したところ、消費者自身で扉に防草シートを敷いたため打っていららガス臭いしたが、容器バルブをすべて閉めたこと。販売事業者の社員が出動した。 09時50分 販売事業者が現場に到着した。ガス漏えいを確認(到着時臭気なし)、メーター復帰せず、統括部直通電話(管理フレキ管)、ガス止めを実施した。仮復旧工事を行い供給を再開。漏えい検査の結果漏えいなしを確認した。2月16日(水)以降に修繕工事を行う予定である。 一次原因は、消費者が防草シートを敷いたため打ったが、その時にガス管を損傷させたことによるもの。 二次原因は、消費者がどこにガス管が埋設されているか知らなかったことによるもの。	配管(配管用フレキ管(本管(埋設部)))	不明	不明	(株)ソババーク関西	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス検知なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・消費者に、ガス配管が埋設されている可能性がある場所で作成される場合は、販売事業者へ必ず事前もって連絡を頂ける事と、ガス臭いと感じた時は、すぐに販売事業者に連絡頂けるよう再周知を行った。
2022/2/16	長野県上高井郡高山村	C2級	漏えい	一般住宅	14:38	その他(警署)	落雪による高圧ホースの破損による漏えい	消費者宅2階の屋根から、雪の塊が落下し、高圧ホースにあたって元バルブ側から破断切斷し、ガスが漏れた。切斷された高圧ホースは自動切替調整器の消費側であったので、調整器の5kg容器から漏れ入っていると推測される。当時消費者は不在で、近所の住民が消防へ通報し、消防隊員が元バルブを閉めるまでの間、推定20kg漏えいした。近所の住民から連絡を受けた消費者が販売事業者に連絡し、確認した設備を交換し供給を再開した。 一次原因は、高圧ガスホースの損傷によるもの。 二次原因は、自然現象(警署)によるもの。	高圧ホース	I・T・O(株)	TH-6-6HQ	山久フロンティア(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス検知あり ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・LPガスのボンベの設置場所を落雪の可能性のない場所に変更する。 ・事故状況の情報収集及び対応措置の指導

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/2/16	秋田県大館市	C2級	漏えい	一般住宅	7:20	その他(雷害)		2022年2月16日(水)7時20分 事故発生の一居住者の消費者から販売事業者にガス警報器鳴動の通報が入る。 7時30分 販売事業者従業員が出勤。 7時38分 販売事業者従業員が現場に到着し、漏えい箇所の確認作業を開始。 7時40分 家の中の床材がガス栓を閉めてガスを流すというメーターが回るため、漏えい箇所を消費配管と特定。 7時42分 消費配管を閉められたいわゆる、雪と水を除去。 10時35分 消費配管継手を漏えい箇所と特定。 10時38分 雪水の影響を受けない箇所へ消費配管を仮設する作業を開始。 13時45分 消費配管の仮設作業完了。気密試験、漏えい検査を実施し、異常が無いことを確認後、LPガスの供給を再開。 なお、LPガスの漏えい箇所は、雪と水を除去。 二次原因は、消費配管の破損に伴う漏えいによるもの。 二次原因は、屋根から落ちた雪水が堆積した重みで消費配管が破損したことによるもの。	配管(白管(継手部))	不明	不明	秋田エネクス(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・屋根から落ちた雪水の影響を受けない箇所に消費配管を移設した。
2022/2/18	北海道江別市	C2級	漏えい	一般住宅	12:06	その他(雷害)		2022年2月18日(金)12時06分頃、近隣住民(入居者外出中)が落雪によりガスが漏れていると消防に連絡。 消防が12時18分頃現場到着。雪で埋まっている供給設備の除雪を消防隊員が開始。 13時12分頃、除雪により容器を消防隊員が確認し、販売事業者に連絡。 13時20分頃、消費者が帰宅。 13時25分頃、販売事業者の社員が現場到着し、LPガス検知器によりガス濃度の測定を開始。消防隊員の除雪で室内の換気指示が迅速で的確だったため屋外のガス濃度はゼロ(LLEL)、台所下で1.7%LEL(爆発火下限界)の1/100。 14時30分頃から消防隊員協力の下、降雪による床下の滞留ガスの排風作業開始。 14時45分頃、床下の滞留ガス濃度がゼロになったのを消防とともに確認。消防は撤収。二次災害防止のため、販売事業者の社員は容器の引き上げ措置を行い、ガスが使用できないことを消費者に説明し閉鎖。念のために明日までは調理のための火気を使用しないよう指示。翌日のガス供給設備の復旧工事の段取りと打ち合わせを16時20分頃まで消費者と行った。 16時30分頃販売事業者の社員が撤収(今回の事故の人的物的被害はなし。) 一次原因は、消費者の自宅屋根からの落雪が調整器に接触したことにより、自動切替調整器出口(下部)の供給管継手が破損し、ガスが漏れ出したことによるもの。 二次原因は、例年をはるかに超える降雪があり、その雪が屋根から落雪した際に、屋根の軒下に設置していた貯蔵設備の調整器に接触したことによるもの。	供給管(白管(継手部(露出部)))	不明	不明	(株)エネクス北海道	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・事故が発生した消費者宅の供給設備は落雪の影響がない玄関横に配管口径を15Aから20A(ワンサイズアップ)して転道なし配管により移設。(2022年2月19日(土)完了) ・消費者全額に対し、供給設備周辺の除雪のお願いを周知チラシを活用し周知を強化するよう指示。 ・容器交換時及び検針時には、日頃から雪害による影響がないかの情報収集を行い「移設等」の対策について検針・推査を指示。 ・販売事業者に対し事故情報の報告を求めるとともに、LPガス協会会員に対する注意喚起を依頼した。
2022/2/20	北海道札幌市	C2級	漏えい	共同住宅	13:51	その他(雷害)		2月20日(日)13時51分、消防局に消費者から室内のガス漏れ警報器の警報音がするとの通報があり、消防隊が出動した。 14時08分、消防隊が現場に到着し、建物南面に設置されたLPガスの容器収納庫付近でガス臭を確認したため、周囲を除雪して検知活動を実施したところ、当該収納庫の配管付近で検知が認められた。 14時42分、販売事業者が収納庫の扉を開けて現場に到着した。消防隊が収納庫を開封し、庫内の容器バルブ及び中継ガス栓を閉じた。 同日、収納庫背面側から露出した供給管が破損していたため、販売事業者により復旧作業を実施して供給を再開した。 原因は、隣接建物の屋根からの落雪により、LPガスの容器収納庫外の供給管が損傷し、ガスが漏れ出したことによるもの。	供給管(白管(本管(露出部)))	不明	不明	伊藤忠エネクスホームライフ北海道(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・容器収納庫の移動または落雪保護フェンスの設置等を検討する。 ・当該事故箇所への雪害防止対策を講ずるよう指導した。
2022/2/20	岩手県紫波郡紫波町	C2級	漏えい	一般住宅	13:50	販売事業者		屋根からの落雪が調整器を直撃したことにより、ボンベ容器との接続部分が折損し、漏えいに至ったもの。 2022年2月20日(日)13時50分頃、落雪により大きな音を聞いて外出した消費者が、ガス臭によりガス漏れに気が付いた。居合わせた隣家の住人が消防へ警報に連絡。 14時02分、現場に到着した消防隊員がボンベのバルブを閉止。 14時15分、消防隊員が販売事業者にガス漏れとバルブ閉止を連絡。 15時15分、販売事業者社員2名が到着。周辺ガス濃度を検知器によりガスの滞留がないことを確認。調整器、連絡用高圧ホース、低圧ホースと50kgボンベ2本を交換。また、雪害対策としてボンベ容器と調整器接続部を樹脂製に変更。 15時50分、自己圧力計により漏えい検査を行ってガス漏れがないことを確認。 16時00分頃、ガスの使用を再開。 なお、メーター使用量及びボンベ荷重から75kgの高圧ガスが漏れ出したものと推定される。 原因は、雪害対策が行われておらず、屋根からの落雪により液化石油ガス器具の破損に至ったことによるもの。	調整器(自動切替式)	(株)桂精機製作所	CA-SP5(2012年11月製造)	盛岡ガス燃料(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・容器と調整器の接続部を落雪による影響のない壁面に変更し、一次的に落雪防止用の屋根を掛けた。 ・今後、ボンベ、メーターを落雪のない場所に変更する予定。 ・ガス供給設備を点検し及び雪害防止対策を行うよう指導した。
2022/2/20	岩手県盛岡市	C2級	漏えい	一般住宅	11:28	販売事業者		屋根からの落雪がガスメーターを直撃したことにより、ガスメーターの継手部分が折損し、漏えいに至ったもの。 2022年2月20日(日)11時28分頃、落雪により大きな音を聞いた消費者が外出したところ、ガス配管の損傷及び漏えいを見つけたことから、ボンベのバルブを閉止し、販売事業者に連絡。 11時45分、現場に到着した販売事業者の担当者1名が、ガス検知器により周辺にガスの滞留がないことを確認。 15時04分、自己圧力計により漏えい検査を行い、ガス漏れがないことを確認。 なお、落雪発生からボンベのバルブ閉止までの時間が30秒程度であり、ガス漏れ量は0.134kg程度と推定される。 原因は、雪害対策が不十分であり、屋根からの落雪により液化石油ガス機器の破損に至ったことによるもの。	①供給管(ナイロン被覆鋼管(継手部(露出部))) ②ガスメーター	①不明 ②未知時計電機(株)	①不明 ②SA25MT-1(2012年12月設置)	伊藤忠エネクスホームライフ東北(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・雪害による事故防止対策として、ボンベを落雪のない場所に変更することを検討する。なお、販売事業者は社内規定による雪害対策及び水害(容器流出)防止対策を行っている(張力式高圧ホースの利用、樹脂調整器の利用、容器チェーンのプロテクター掛けなど)。 ・ガス供給設備を点検し及び雪害防止対策を行うよう指導した。
2022/2/20	岩手県盛岡市	C2級	漏えい	一般住宅	15:30	販売事業者		屋根からの落雪がガスメーターを直撃したことにより、メーター継手部分が折損し、漏えいに至ったもの。 2022年2月20日(日)15時30分頃、屋根からの落雪がガスメーターを直撃したことにより、メーター継手部分が破損し、漏えいに至った。落雪の衝撃を受けたメーター内臓型自動ガス遮断装置が地震と誤認して自動でガス警報器を鳴動させた。消費者(住人)及び隣人が警報音に気づき、居合わせた隣人が容器的バルブを閉じた。休日のため、販売事業者が休みだと考えた消費者(住人)は翌日販売事業者あてに連絡をすることとした。住人はボンベのバルブ閉止後、翌日のガス使用再開までガスを使用していない。 翌日2月21日(月)9時00分、消費者(住人)が販売事業者に通報。 9時20分、現場に到着した販売事業者担当1名が、ガス検知器を用いて周辺のガス濃度を確認したところ、ガスの滞留はなかった。その後、ガスメーターを交換。 10時36分、自己圧力計により漏えい検査を行い、ガス漏れがないことを確認。 10時40分頃、ガスの使用を再開。 なお、落雪発生からボンベのバルブ閉止までの時間が2〜3分程度であり、ガス漏れ量は74kg程度と推定される。 原因は、雪害対策が不十分であり、屋根からの落雪によりガスメーターのねじ込み継手配管部分が折損に至ったことによるもの。	①供給管(ナイロン被覆鋼管(継手部(露出部))) ②ガスメーター	①不明 ②未知エナジーシステム(株)	①不明 ②EY25MT(2018年3月設置)	伊藤忠エネクスホームライフ東北(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・雪害による事故防止対策として、ガスメーターを落雪の影響のない壁面に設置する。なお、販売事業者は社内規定による雪害対策として折換型調整器を設置していた。 ・ガス供給設備を点検し及び雪害防止対策を行うよう指導した。
2022/2/20	長野県長野市	C2級	漏えい	一般住宅	22:35	販売事業者		2022年2月9日(火)に予備側の容器(50kg)を交換したことが、元の容器を外したまま新しい容器の高圧ガスホースを接続せず、元バルブも閉栓しなかった。供給側容器の消費でガス圧力が徐々に減少し、自動切替調整器の逆止弁が働かなくなり、予備側の高圧ガスホースから供給側容器の残ガスが漏れ出した(推定漏れ量は2kg)。2月20日(日)に消費者が社員が気づくと販売事業者に連絡し、現場で作業員が確認したことを確認した(11時頃)。通報者は表の住人で、この後数分からガス臭がしつこく発生し、現場で作業員が確認したことを確認した(11時頃)。通報者は表の住人。 2月24日(木)にユニオンパッキンを交換しガス検知器にて漏れのないのを販売事業者が確認して閉鎖した。 2月25日(金)から営業開始した。 二次原因は、ユニオンパッキンの経年劣化が、雪害からの凍結と推定される。 二次原因は、例年以上の降雪による雪害と関連される。 (バルク貯槽148kg×1基)	調整器(自動切替式)	(株)桂精機製作所	CABA-SH062(2021年1月製造)	(株)セリタ	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・2022年2月23日(水)に保安講習を実施し、社員教育を行った。特に容器交換終了後の2号業務を徹底した。 ・事故状況の情報収集及び対策措置の指導。
2022/2/23	北海道江別市	C2級	漏えい	飲食店	9:00	その他(雷害)		2022年2月23日(水)午前9時56分頃、消防より、販売事業者に連絡が入った。LPガスが漏れていると通報された。10時8分頃到着。調整器出口付近のユニオンよりガス漏れを確認した。ガスを閉鎖し、消防隊員及び販売事業者からガス漏れがないことを確認した(11時頃)。通報者は表の住人で、この後数分からガス臭がしつこく発生し、現場で作業員が確認したことを確認した(11時頃)。通報者は表の住人。 2月24日(木)にユニオンパッキンを交換しガス検知器にて漏れのないのを販売事業者が確認して閉鎖した。 2月25日(金)から営業開始した。 二次原因は、ユニオンパッキンの経年劣化が、雪害からの凍結と推定される。 二次原因は、例年以上の降雪による雪害と関連される。 (バルク貯槽148kg×1基)	供給管(白管(継手部(露出部)))	不明	不明	マイライフ北海道(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ運動) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・雪が多かった時は、貯蔵施設周辺を除雪して頂くように依頼。 ・販売事業者に対し事故情報の報告を求めるとともに、LPガス協会会員に対する注意喚起を依頼した。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止
2022/2/23	北海道苫小牧市	C1級	漏えい燃焼・火災 軽傷1名	一般住宅	15:11	一般消費者等	消費者による器具の取り扱いミス	2022年2月23日(水)15時11分 消防から保安機関へ消費者宅(7階)で「ガス爆発通報」上の連絡が入る。 15時30分 自治者が現場到着。メーサー表示、遮断なし。メーサー入口がガス栓閉鎖状態。家庭用コンロを確認したところ、点火ツマミが1/3程度開いていた。ガス警報器はコンセントから抜かれていた。消費者は病院へ搬送した。 16時30分 消費者が病院から帰宅した。保安機関関係者が事情聴取立ち会いし、聞き取った情報では、自宅にてコンロを使用後、15分程度、隣接の家へ外出し、自宅に戻ったところガス臭と感知し、試しにコンロを使用したところコンロ下のキャビネットから燃焼が有り火が上がったとのことである。 二次原因は、消費者が点火ツマミの操作を誤ったこと及び消費者がガスが漏えいした状態でも着火したことによるもの。 二次原因は、消費者が漏えいした状態でも緊急時連絡をしなかったことによるもの。	家庭用コンロ (開放式)	不明	不明	(株)エネテック	・ガス放出防止器あり ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・今回の事故を踏まえ、保安教育のため、社員全員で事故の内容を共有。 ・販売事業者は、消費者への周知の順に消費者のガス利用状況と理解度の合わせ、説明を行う予定。 ・販売事業者兼保安機関に対し立入検査を実施した。帳簿を確認したところ、保安機関による周知の実施日やガス漏れ等の適切な管理がされていなかった。なお、当該違反に対する当時の対応(指導、処分等)については、現在検討中。 ・販売事業者に対し事故情報の報告を求めた。
2022/2/23	北海道岩見沢市	C1級	漏えい燃焼・火災 軽傷1名	一般住宅	23:00	不明	ゴム管の損傷による漏えい	2022年2月23日(水)23時00分 居住する消費者が2階から異音聞こえるため確認したところ、ガス警報器が作動し、ガス漏れ音を感知。末端ガス栓が閉まっているにもかかわらず、なぜ音がするのかわからず、閉めていた。ガスコンロを操作(点火ボタンを押し下ろし)、119番通報した。末端ガス栓は、事故発生時2階、3階いずれも閉めていたとのことである。被害者の状況は、消費者の親族が左手にやけどによる負傷、2階ガスコンロ付近が焦げ付き、付近の壁の一部が燃焼により損傷した。販売事業者は、翌日24日8時30分警報から連絡を受けて初めて事故が発生したことを認知。警報の指示により同日10時に消費先に到着したものの、販売事業者によるガス管の漏えい検査は見られなかったが、末端ガス栓とガスコンロを接続するゴムホースには焦げ付いた穴が空いており、燃焼発生口圧力の数値を測定したところ12Pa以上と異常に高かったとのことである。 原因は、調整器が機能せず末端ガス栓に過大な負荷がかかり破損し、ゴムホースも破損しガスが漏えいした可能性があったと推定される。 なお、調整器が機能しないことについてメーカーに調査依頼したが原因は不明であった。	①調整器(自動切替式) ②末端ガス栓(入ースエンド型) ③ゴム管	(株)桂精機製作所 ①(株)桂精機製作所 ②光隆産業(株) ③弘進ゴム	① CABAS065Z (2018年3月製造) (株)春木商店 ②(2015年10月製造) ③2014製造	・ガス放出防止器あり ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・消費者宅へは、8キロ調整器を設置し、仮供給を行っている。今後も引き続き事故原因を究明し、安全を確認したのち供給を復旧する。 ・現時点で不明である液化石油ガス漏えいの原因について、今後新たに事故原因が分かった際に速やかに報告するよう指導した。	
2022/2/25	北海道稚内市	C2級	漏えい	一般住宅	21:40	その他(雷害)	雷害による供給管と調整器の継手部の損傷による漏えい	2022年2月25日(金)21時40分、消費者が消防にガス警報器がなっている旨を通報した。 21時50分、現場に到着し、容器バルブの閉止を確認した後、室内の換気ファンを確認してLPガス濃度確認を実施した。 二次原因は、隣家の屋根から落下した雪水の塊が、調整器及び高圧ホースを直撃し、調整器と供給配管の接続部のねじ込み部分に変形して隙間が生じ、ガスが漏れ出したことによるもの。 なお、漏えいしたガスは、4階の換気扇から湿度の高い室内に吸い込まれ、台所のガス警報器が作動した。 販売事業者は緊急時連絡を掛り現場でもあり、法定2名(1棟第3号)による器具検査も適宜に行っていたが、警報器が鳴った時間帯が夜間であったこともあり動揺した消費者は、連絡先として販売事業者のことは厚くおぼやらず、火災と同じ感覚で消防への通報を行った。 二次原因は、雷害(今冬の稚内市内は例年より低温が続く、平年より割増〜5割増の積雪で推移。)によるもの。	①供給管(白管(露出部)) ②調整器(自動切替式)	①不明 ②(株)桂精機製作所	①不明 ②CABA(2020年8月製造)	チセキ石油販売(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・ガス放出防止器の設置、供給設備設置箇所の変更 ・販売事業者に対し事故情報の報告を求めた。 ・販売事業者を訪問し保安実務状況の調査を実施した。 ・事故現場において現地調査を行った。 ・LPガス協会会員に対する注意喚起を依頼した。
2022/2/25	山形県米沢市	C1級	漏えい火災	一般住宅	12:25	販売事業者	落雪による高圧ホース損傷による漏えい・火災	2022年2月25日(金)12時20分頃、消費者が帰宅した際、台所に設置しているガス警報器が鳴動していることとガス臭があることに気づき、12時26分販売事業者へ緊急連絡を行った。連絡途中で屋外にて爆発音と衝撃があったため(12時25分火災発生)、12時29分消防へも併せて連絡した。販売事業者が消費者宅へ到着したが、すでに消防隊員による消火活動が行われていた。13時20分消防により漏えいが止められ、14時43分鎮火した。 二次原因は、積雪による高圧ホースの損傷による高圧ホースの破損によるもの。 一次原因は、積雪及び2階からの雪が積層する場所に供給設備があったため、当日の寒気により積層分の雪が全て落下したことから、容器等を含むLPガス供給設備全体に荷重が乗り、容器に接続していた高圧ホース(連絡管)の真鍮部分(POL金具)が折損、折損部分から漏えいしたガスは屋外に設置されていた石油給湯器が着火源となり爆発焼損につながったと推定される。	高圧ホース	(株)桂精機製作所	EH-IS	イワタニセントラル東北(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・直接落雪の影響を受けない場所への容器及び供給設備の移動と消費者への除雪等の協力依頼、雪害防止周知を行い再発防止とする。
2022/2/25	大阪府大東市	C2級	漏えい	一般住宅	23:18	ガス工事業者	メーターユニオン部の施工不良による漏えい	2022年2月25日(金)23時18分 消費者より保安機関に容器周辺で臭気があるとの連絡あり。消費者にて容器バルブを閉止したとの事。販売事業者が出動した。 23時43分 出動者が現場到着。容器バルブ閉止済み確認。臭気なし。 23時50分 出動者が容器バルブを開けるとメーター出口ユニオン部でガス漏れ検知器にて漏えい反応あり(微量漏えい)。 なお、配管の緩きがあったので、配管工が必要であったが、夜間で作業不可のため、消費者に説明して一時的閉止を行う。翌日修繕工事を予定。 2月26日 9時35分 修繕作業開始。 10時05分 メーター出口部のユニオンハンキが均等にしっかりとはまっていたことが漏えいの原因と判明。メーター出口部上側の配管継手及びユニオンを組み替え、ハンキ交換工事済み。漏えい既除、異常なし確認。供給開始。 二次原因は、配管の緩きにより、メーターハンキがはまらなかったことによるもの。 二次原因は、ガス工事を委託した設備業者による施工不良によるもの。	配管(白管(継手部(露出部)))	不明	不明	(株)エネアーク関西	・ガス放出防止器なし ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・設備業者には、確実な施工を徹底するよう、指導する。また、販売事業者社員にも同様に配管等の緩きがないかの確認をすることを周知する。 ・販売事業者への事情取
2022/2/25	神奈川県鎌倉市	C2級	漏えい火災	一般住宅	5:30	一般消費者等	燃焼器用高圧ホースからの漏えい火災	2022年2月25日(金)5時30分頃、消費者がガス炊飯器を点火し横で調理中に、ガス栓付近から5cm程火が上がっているのに気付いた。そのため、濡れ布巾で消火し、ガスからガスコードの接続を断った。 9時57分頃、消費者からガス栓付近から火が出たと販売事業者コールセンターへ入電した。 10時20分頃、販売事業者担当者が現場へ到着し、ガスコード接続部の一部が焼損していることを確認した。メーターガス栓から燃焼器までの圧力保持による漏えい検査を実施したところ圧力の低下を確認した。また、発泡剤による検査で当該ガスコード接続部付近からの漏えいを検出した。当該ガスコードを新しいガスコードに交換し、再度圧力保持による漏えい検査を行い異常が無く検査を完了した。メーターに適合し検査を依頼した。 原因は、メーター調査報告書より、ガスコードのソケット内部に異物が増殖していたことが判明した。これにより、漏えいした未燃焼のガスに、ガス炊飯器の火が引火したと推定される。	燃焼器用高圧ホース	日東工業(株)	G3-075R	日本瓦斯(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・消費者に対し、ガスコードの早期交換、劣化等が確認された場合の交換を推奨する。 ・事故原因の提出を指導
2022/2/26	北海道札幌市	C2級	漏えい	事務所	11:52	その他(雷害)	落雪による供給管の損傷による漏えい	2022年2月26日(土)11時52分 消防に従業者より、屋根からの落雪がガス管に接触してガスの臭いがするとの連絡があり、消防隊が出動した。 12時02分 消防隊が容器バルブを閉止した。 13時頃 保安機関から連絡を受けた。販売事業者の社員が現場に到着し、建物周辺のガス検知作業を実施したが、検知は認められなかった。また、容器バルブの閉止状況及びマイコンセンサーから消費機器までの配管の漏えい検査により異常が無いことを確認して、容器の撤去を実施した。 原因は、落雪により容器収納庫及びマイコンセンサーの天板の供給管が損傷したことによるもの。	供給管(白管(露出部))	不明	不明	(株)エネサン北海道	・ガス放出防止器あり ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・配達サイクルを短くして、多くの現地確認を実施する。 ・配管の施工を徹底することで、配管強度の増加を図る。 ・容器の設置場所の移設を実施する。 ・当該事故箇所への雪害防止対策を講ずるよう指導した。
2022/2/26	北海道札幌市	C2級	漏えい	一般住宅	16:31	その他(雷害)	落雪による高圧ホースの損傷による漏えい	2022年2月26日(土)16時31分 消防に消費者から屋外のガス管が折損し、付近でガス臭があるとの連絡があり、消防隊が出動した。同日17時02分 消防隊が現場に到着し、当該場所の高圧ホース付近が損傷しているのを確認したため、容器バルブを閉止した。同日17時30分 保安機関、販売事業者の従業員が現場に到着した。消費者から室内のガス漏れ警報器が鳴動したとの内容を聴取したため、販売事業者により4時43分検知作業を実施したが、検知は認められなかった。同日中に高圧ホースの交換を実施して、供給を再開した。 原因は、落雪により供給設備の高圧ホースが折損し、ガスが漏れ出したことによるもの。	高圧ホース	富士工業(株)	NX-65(2018年5月製造)	北海道エナジテック(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器あり ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・落雪による供給設備への衝撃防止対策として、コンパネ等による補強、配管の移設を検討する。 ・建物所有者及び占有者には、供給設備の雪害防止のため除雪等の要請を行う。 ・当該事故箇所への雪害防止対策を講ずるよう指導した。
2022/2/26	岩手県盛岡市	C2級	漏えい	一般住宅	13:28	販売事業者	落雪による高圧ホースの損傷による漏えい	屋根からの落雪が高圧ホースを直撃したことにより、ボンベ2本を連結している高圧ホースの片側のねじ込み継手部分が折損し、漏えいに至ったもの。 2022年2月26日(土)13時28分頃、落雪の音を聞いて外に出た一般住宅の隣家住人が、ガス漏れの音に気づき、販売事業者へ連絡した。 13時30分、連絡を受けた販売事業者は、ボンベ2本のバルブを閉止するよう指示し、指示を受けた隣家住人(連絡者)がバルブを閉止した。上部に屋根はあったものの、雪害対策が行われていなかった。 13時45分、販売事業者の担当2名が現場に到着。ガス検知器で検査したところ、ガスの滞留はなかった。その後、消費者及び隣家住人とともに状況を確認し、高圧ホース及びボンベ2本を交換するとともに調整器を屋根のヒタさから離すよう壁面に移設した。 13時50分、ガス設備の修理作業が完了したことから、ガス検知器がガス漏れがない事を確認。その後、事故防止のため屋根の雪(氷柱)を落とすとともに、屋内のガス燃焼機器等を点検、異常がない事を確認した。 14時20分頃、ガスの使用を再開した。 なお、ガス漏れはメーター、ボンベ計測により2キロラムと推定される。 原因は、雪害対策が行われていなかったこと、屋根からの落雪によりボンベ2本を連結している高圧ホースの片側のねじ込み継手部分の折損に至ったことによるもの。	高圧ホース	(株)桂精機製作所	EH-S(2019年2月製造)	盛岡ガス燃料(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・ボンベと連結高圧ホース及び調整器の接続部分の向きを住宅外壁側に変更した。今後、調整器の壁面取付及び落雪の影響のない場所へのボンベ移設を検討する。 ・ガス供給設備を点検し及び雪害防止対策を行うよう指導した。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/3/3	岐阜県加茂郡八百津町	C2級	漏えい	事務所	12:15	一般消費者等	消費者による埋設配給管の損傷による漏えい	2022年3月3日(木)12時15分 消費者にて、カーポートの支柱補修工事のため、地面(コンクリート)をコア抜きをしたところ、埋設配給管を損傷し、ガス漏えいが発生した。 12時20分 消費者より販売事業者へガス漏えいの電話通報があり、消費者による容器のバルブを閉止。 12時25分 販売事業者の社員2名が出勤し、12時47分に現場到着。容器バルブの閉止を確認し、ガス漏えいが止まっていることを確認。 15時50分 埋設ガス配給管の損傷箇所を切り離し、仮設配管を完了。 二次原因は、消費者による地面(コンクリート)コア抜き工事の際に、埋設ガス配給管が損傷しガスが漏えいしたことによるもの。 二次原因は、当初、供給開始時には漏出したガスが配給管であったが、その後、消費者によりコンクリート敷設され、埋設ガス配給管になった。消費者は、埋設ガス配給管の位置を把握しておらず、販売事業者に確認の連絡もなかったことによるもの。	供給管(塩化ビニル被覆鋼管(埋設部))	不明	不明	東洋理化ガス(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・ガス設備周辺の掘削工事をする際は、販売事業者へ一報するよう依頼した。 ・販売事業者に周知の徹底、再確認を依頼した。
2022/3/4	埼玉県東松山市	C2級	漏えい	飲食店	7:35	販売事業者	配管の腐食による漏えい	2022年3月4日(金)7時40分 消費者から厨房のガス遮断弁を開けたところ、ガス臭がしたため見て気づき、8時10分現地到着。消費者は直ちに遮断弁を閉めたため、業者の社員2名が出勤し、ガス臭はなくなった。漏えいの疑いがある箇所にて検知液で検査したところ、厨房内配管部に接続している白ガス配管(SA)からガス漏えいしていた。配管を人身と特命金と検修部の中間、下部の配管の一部が高圧配管が通っていた。応急処置として漏えいしていた白ガス配管を交換し、10時30分頃、検知液と自己圧力計で気密試験を行い、ガス漏えいが無いことを確認して作業を完了し終了した。 二次原因は、配管腐食によるひび割れによるもの。 二次原因は、2020年9月30日(水)の定期消費設備点検時は配管腐食項目は良判定。郡山市の爆発事故後の点検。前後するが、2019年10月2日(金)に店舗「ファミ」に伴う点検時に今回該当箇所300mm部分の腐食を確認し、約80mmの配管を白ガス管にて補修し、この際、当該箇所の 白ガス管の腐食状況は問題ないとの判断し、必要な箇所の修繕、郡山市事後の自社の方針でも水回りと床上配管は被覆鋼管へ変更するよう指導されているが、当該白ガス管を見落としたことにより実施出来ていなかったことによるもの。 なお、2020年の定期消費設備点検時の腐食目視点検について、写真等の資料はなく判定根拠の確認は出来ていなかった。	配管(白管(本管(露出部)))	不明	不明	エネックス(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ連動) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・当該飲食店の既存の白ガス管を被覆鋼管へ交換を実施する。また、自社全体で業務用施設の一斉点検を緊急実施し、床下配管、水のかかる配管の写真的撮影、腐食状況の確認及び配管検査を行い点検者と一併に保管をする。腐食が確認された消費設備の所有者に改善を求める。 ・今回の事故事例を踏まえて、配管の設置状況や腐食の状況の確認を徹底させるよう社内保安教育を実施を行った。また、今後の社内保安教育の事故事例としてハット事例研究に今回のケースと腐食配管の腐食状況がわかる写真、動画を含めて実施する。 ・事故報告の提出を指導
2022/3/5	北海道士別市	C2級	漏えい	共同住宅	14:35	その他(警署)	落雪によるメーターガス栓の破損による漏えい	2022年3月5日(金)14時35分頃、消費者のガス警報器がなったので、ガス販売事業者が現地に到着して、空き室となっている部屋の扉裏からの落雪がメーターが破損しているのを、容器バルブを閉止し、消閉に連絡した。急激な気温上昇により扉裏からの落雪でメーター側の雪が溶け込み、メーターガス栓に衝撃が加わり配管が破損したと推定される。 原因は、扉裏からの落雪によるメーターガス栓の破損によるものと推定される。	中間ガス栓	不明	不明	(株)ひまわり燃料	・ガス放出防止器なし ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・空き室のためガスメーター及びガスメーター栓を撤去し、軒下でプラグ止めを行済み。 ・LPガス協会に連絡し、管内のLPガス販売事業者に警備の対策をするよう指導済み。
2022/3/7	北海道札幌市	C2級	漏えい	飲食店	20:03	その他(警署)	落雪による供給管の損傷による漏えい	2022年3月7日(月)19時52分 消防に通報人からガス臭がするとの通報があり、消防隊が出動した。消防隊が現場に到着し、容器収納庫(以下、「収納庫」とい)、付近でガスの臭いと検知液を確認した。収納庫シャッターの鍵が無く、解錠できなかった。消防の現場要請により保安機関の職員が現場に到着した。職員が所持した鍵で解錠を試みたが、解錠できなかった。保安機関職員が販売事業者に事故の発生及び鍵の所持について連絡した。販売事業者が所持した鍵により消防隊が収納庫のシャッターを解錠した。併せて、扉内のガス検知器、容器のバルブの閉止及び留置したガスの排出作業を実施した。販売事業者により容器を撤収した。 原因は、積雪により収納庫外の供給管が損傷し、ガスが漏えいしたことによるもの。	供給管(白管(本管(露出部)))	不明	不明	イワタニセントラル北海道(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器あり ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・空き物件のため、今後未供給の容器は速やかに引き上げを実施する。 ・当該事故箇所への警備防止対策を講ずるよう指導した。
2022/3/7	愛知県岡崎市	C2級	漏えい	飲食店	12:45	一般消費者等	配管の腐食による漏えい	2022年3月7日(月)12時45分 検針時ガスメーターにてBPR表示を確認。3月11日(金)18時00分 漏えい検査を実施したところ、厨房内ガス配管で検知器で確認できる場所の調査を行うも漏えい箇所を特定できず。一箇所ずつ接続部にプラグを差し確認したところ、厨房内の20Aフレキ配管で漏えいが止まったため、フレキ配管の交換を行った。3月7日(木)交換したフレキ配管を調査した結果、配管部分に腐食があり、検知液で廊下も膨らむ程度の漏えいを確認した。 原因は、フレキ配管被覆部分が割れており、そこから水分が入り、配管が腐食し変化したものと推定される。	配管(配管用フレキ管(本管(露出部)))	不明	不明	(株)エネアーク中部	・ガス放出防止器あり ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器あり ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・2022年3月11日(金)、漏えい箇所のフレキ配管を交換し、交換後は漏えいがないことを確認した。 ・飲食店の店主に対し、ガスの配管には衝撃を与えないこと、配管に水がかからないよう注意してもらうことを依頼した。 ・事故層書の提出を指導。
2022/3/8	愛知県稲沢市	C2級	漏えい	一般住宅	17:15	他工事業者(外構工事業者)による埋設供給管の損傷による漏えい	他工事業者	2022年3月9日(火)17時15分、集合供給住宅において外構工事(住宅門扉の新設取付工事)を実施していた他工事業者の作業員がコア抜きで掘って埋設ガス配管を損傷し、販売事業者へ緊急連絡。同時に、外構工事作業員が自らのガス設備工事業者へ電話連絡した。通報を受け、販売事業者担当者が7時40分に現場到着し、損傷状況の確認及び周辺住民の安全確保を実施。この時点で、先に到着していたガス設備工事業者が供給設備のバルブを閉止しており、ガス漏えいは止まっていたと推定(ガス漏えい量約10kg)。その後、販売事業者が損傷部を撤去して配管修繕の上、漏えい検査を行い、安全が確認されたため、19時30分に現場内のガス供給再開した。 二次原因は、他工事業者の作業員が、外構工事中にコア抜き機で埋設ガス配管に接触させ、損傷させたことによるもの。 二次原因は、他工事業者から販売事業者へ外構工事の事前連絡はなかった。また、販売事業者担当者が工事作業員に確認したところ、LPガス集合供給住宅の認識がなかったことによるもの。	供給管(ポリエチレン管(本管(埋設部)))	不明(平成6年施工)	不明	大一ガス(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンSなし ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・外構工事中に事故が発生したことを受けて、今後はLPガスの集合供給住宅において、中継物の仲介業者や住人に対し、集合供給していることの周知徹底を図る。 ・事業者に対し、事情聴取を行うとともに、事故報告の報告を求めた。
2022/3/8	北海道札幌市	C2級	漏えい	一般住宅	7:34	その他(警署)	落雪による配管の損傷による漏えい	2022年3月8日(火)7時34分、消防に「落雪でガスが漏れたようだ」との通報があり、消防隊が出動した。消防隊が現場に到着し、落雪によりLPガスの容器が埋まっていたため、除雪作業を実施した。ガス臭を確認したため、消防隊によりLPガス容器のバルブを閉止した。消防の現場要請により保安機関の職員が現場に到着した。保安機関が販売事業者に事故の発生について連絡した。保安機関により、建物床下のガス検知作業を実施したところ、検知が認められたため、滞留したガスを排風機で排出した。販売事業者により、損傷した配管部分、調整器及び高圧ホースを交換し、また、漏えい検査を実施して漏えいが無いことを確認した。 原因は、落雪により供給管と調整器の間の継手損傷し、ガスが漏えいしたことによるもの。	配管(白管(継手部(露出部)))	不明	不明	(株)久慈商店	・ガス放出防止器あり ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・配管の施工を見直すことで、配管強度の増加を図る。 ・当該事故箇所への警備防止対策を講ずるよう指導した。
2022/3/8	北海道札幌市	C2級	漏えい	共同住宅	18:14	その他(警署)	落雪による調整器の損傷による漏えい	2022年3月8日(火)18時14分、消防に「扉外でガスの漏れた音」がしてガス臭がするとの通報があり消防隊が出動した。消防隊が現場に到着し、積雪によりLPガスの容器が埋まっていたため、除雪作業を実施した。ガス臭を確認したため、消防隊によりLPガス容器のバルブを閉止した。消防の現場要請により保安機関の職員が現場に到着した。保安機関職員が販売事業者に事故の発生について連絡した。販売事業者により、調整器を交換し、また、漏えい検査を実施して漏えいがないことを確認した。 原因は、積雪重なりにより調整器フッターに負荷がかかり、自動切替調整器と調整器の間の接続部が損傷して、ガスが漏えいしたことによるもの。	調整器(自動切替式)	(株)桂精機製作所	HL-20BPU	札幌第一興産(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ連動) ・CO警報器あり ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・調整器フッターの固定金具について、強固な取付を実施する。 ・供給設備の積雪状況の確認と除雪を実施する。 ・当該事故箇所への警備防止対策を講ずるよう指導した。
2022/3/8	愛知県春日井市	C2級	漏えい 火災	その他店舗	6:05	一般消費者等	回転釜の器具栓の経年劣化による漏えい、火災	2022年3月8日(火)午前5時40分頃、1F厨房内のガス回転釜に調理するため点火する際、回転釜のガス栓から出火。従業員が消火器を使い午前5時50分頃消火した。午前6時5分に緊急出動の連絡があり、午前6時30分に到着した。ガス回転釜を点検し、漏えい箇所を特定したことを確認した。当該回転釜を修理完了するまで接続部のガス栓を取り外し使用禁止した。 二次原因は、ガス回転釜に付いている器具ガス栓が経年劣化により破損したため、ガスが漏えいしたことによるもの。 二次原因は、前回の定期消費設備点検時はガス回転釜に付いている器具ガス栓には異常はなかったが30年近く使用している業務用厨房機器であるため付属品のメンテナンスが必要であったと推定される。 (バルク貯槽980kg×1基)	器具ガス栓	不明	不明	(株)フセ田ガス 日産器業	・ガス放出防止器あり ・マイコンEあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・今後この様な事故が起こらぬようガス消費機器のメンテナンス点検を推奨に行い劣化が見られる箇所は早急して修理・交換等を行う。 ・事故原因を提出するよう指示した。
2022/3/8	秋田県大館市	C2級	漏えい	一般住宅	10:20	その他(警署)	落雪による調整器および容器バルブの腐蝕による漏えい	2022年3月8日(火)10時20分頃、扉裏からの落雪(大きな音)に気づいた近隣住民が警報を確認したところ、容器からガスが噴出している事を確認し、販売事業者と消防へ連絡。販売事業者社員が緊急出動し、10時30分到着。容器と接続されている多段調整器のPOL金属部が折損しガス漏れが発生していた。また、容器バルブも損傷していたことからバルブを閉めることができないため、チューブ部分を容器接続口を含むバルブ全体に巻き付け、ガス漏えいを遮断。容器からのガス漏えいがない事を確認し、11時15分、販売事業者社員が配管にて充填施設へ運搬し、11時29分、風通しの良いところへ容器を移動し、安全確認を行い7巻きかけたチューブ部分を巻く少づつガス方の大気放出を行い、19時頃容器内の残ガスを全て放出させた。その間、事故現場にてガス漏えい箇所周辺にガスの滞留箇所があったため、消防にて送風機等の機材を使用、滞留ガスの拡散を行い11時40分頃消防士検知器にて残ガスを確認した。事故の影響により、ガス配管が破損し、使用できなくなったが、新たな落雪の恐れもあったため、消費者と相談の上、復旧作業は塵埃の量が少なくなつてから行うとした。ガス漏えい量は不明。 二次原因は、容器バルブ及び調整器の腐蝕によるもの。 二次原因は、扉裏からの落雪により、雪塊が容器及び調整器に当たったためと推定される。	①調整器 ②調整器	①不明 ②(株)桂精機製作所	①不明 ②SKL-5BS (2014年6月)	イワタニセントラル東北(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・直接落雪等の影響を受けやすい場所への容器及び供給設備の移動と、消費者へ落雪等の協力依頼、警備防止周知を行い再発防止とする。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/3/11	北海道札幌市	C2級	漏えい	一般住宅	5:49	その他(雷害)		2022年3月11日(金)5時49分、消防にガス警報器が作動し、室内でガス臭がするとの通報があり消防隊が出動した。消防隊が現場に到着し、落雪によりLPガスの容器が埋まっていたため、除雪作業を実施した。ガス臭を確認したため、消防隊によりLPガス容器のバルブを閉じた。消防の指導要領により保安機関(当該消費者と契約関係にない)の職員が現場に到着した。保安機関が販売事業者から緊急時対応を委託されている保安機関に事故の発生について連絡した。当該箇所は雪庇や積雪が多いことから、保安機関により配管を調査した。また、建物内に小型容器(8kg)を仮設して供給を再開した。その結果、落雪によりマイコンメーター及び当該メーターの継手部が損傷による漏えい	①ガスメーター ②配管(銅管(継手部))	①失崎電業(株) ②不明	①SY25MT (2018年8月製造 2.5㎡/h) ②不明	カウパ(協和産業(株))	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・容器の設置場所の移設を検討する。 ・当該事故箇所への警音防止対策を講ずるよう指導した。 ・業務主事者の職務及び保安業務を行う義務を満たしていないため、当該事業者者に立入検査を実施し、口頭及び文書による指導を行った。
2022/3/12	北海道恵庭市	C2級	漏えい	一般住宅	18:30	その他(雷害)		2022年3月12日(土)18時30分頃、事故発生場所の消費者よりガスが出ないと、緊急時連絡先の事業者に入電あり。昼間に落雪があったとの事緊急時対応先(保安機関)へ出動を依頼。現場到着後、供給設備を確認したところ無落雪の屋根の雪庇から容器収納庫に落雪した箇所があった。状況から容器収納庫の屋根が当該庫内の屋根より高く、全土コンクリートへの立ち上がり部で容器のエルボ継手に負荷が掛かりねじ込み部が折損。安全装置がない箇所での漏えいのため、設置容器の残ガスはないことを確認。付近のガス滞留は無く拡散された状態であった。19時35分に保安機関から完了連絡が入る。容器バルブ・ガスメーターの閉止を行い処置を完了。容器引き上げは3月14日(月)に2号業務委託先の保安機関に依頼。3月13日(日)9時30分頃販売事業者にて現場訪問し、漏えい箇所を確認。例年雪庇は北、北側に容器を設置。3月14日(月)容器引上げし、残ガス量0.0kg。配達間使用量より、推定漏えい量 30.3kg。3月16日(水)供給設備位置はそのままで、漏えい箇所改善。容器収納庫も撤去し、降雪状況により雪庇を設置し落雪の影響を受けないよう措置する。原因は、落雪により供給管のメーター立上り部根元のエルボ継手のねじ込み部が折損したことによるもの。	供給管(塩化ビニル被覆銅管(継手部(露出)))	不明	不明	札幌アポロ(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・容器収納庫を撤去し、降雪状況により雪庇を設置し落雪の影響を受けないよう措置する。 ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・当該事故箇所への警音防止対策を講ずるよう指導した。
2022/3/12	北海道札幌市	C2級	漏えい	その他店舗	1:03	その他(雷害)		2022年3月12日(土)1時03分、消防に「落雪後に屋外ホースからガスが漏れて、漏えい音と臭いがある」との通報があり消防隊が出動した。消防隊が現場に到着し、落雪によりLPガスの容器が埋まっていたため、除雪作業を実施した。高圧ホースの損傷を確認したため、消防隊によりLPガス容器のバルブを閉じた。消防の指導要領により保安機関(当該消費者と契約関係にない)の職員が現場に到着した。保安機関(当該消費者と契約関係にない)の職員が販売事業者に事故の発生について連絡した。販売事業者より、高圧ホースの交換及びガス漏れ検知器等による漏えい検査を実施し、漏えいがないことを確認した。併せて、緊急連絡先のスタッフへの救助を実施した。なお、当該店舗は、飲食物の店内調理及び販売を行っているが、販売事業者から聴取した。原因は、落雪及び氷塊の落下に伴い、高圧ホースの接合部が折損し、ガスが漏えいしたものである。	高圧ホース	富士工業(株)	NA6P (2021年5月製造)	(有)トール井金物産店	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・供給設備及びマイコンメーターの上部の箇所へ、警音防止用の木製合板を設置した。 ・当該事故箇所への警音防止対策を講ずるよう指導した。
2022/3/14	北海道豊前市	C2級	漏えい	一般住宅	20:00	配達事業者		2022年3月14日(月)10時00分 容器配達業者が消費者宅の容器を交換。20時00分 ガス漏えいを消費者が認知。消費者が消防、警察に通報。消防が容器バルブ閉止。警察より連絡を受けた販売事業者(当該消費者の保安機関)ではない。警察から連絡を受けたため対応、消火施設設置と低圧ホースのつなぎ目からの漏えいを確認。当社社員が現場へ再検視。高圧漏えい検出で原因が不明なこと、警音がないことを確認し、供給設備を、当該消費者の販売事業者社員が現場へ到着。状況確認。その後、販売事業者代表取締役が現場へ、消費者と連絡し、消費者と連絡を説明。3月15日(火)AM 容器配達業者が漏えい容器を交換し、処置完了。 一次原因は、容器バルブに接続している単段調整器の下流側の低圧ホースの接続部が容器交換時に緩んだことによるもの。 二次原因は、容器交換作業において濡れに気づくことができなかったことによるもの。	その他(単調整器と低圧ホースとの接続部)	不明	不明	(株)新四国肥料	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・販売事業者は社員全員で事故の内容を共有し、配達受託事業者に対しても事故の再発防止を求めた。 ・配達受託事業者は、「内容で事例の周知、共有を行うこと」、「マニュアルを用いて、社内研修時に交換作業の再確認を図ること」、「交換作業の実地確認を図ること」とした。 ・販売事業者に対し、事故情報の報告を求め、立入検査を実施した。
2022/3/17	東京都江東区	C2級	漏えい	事務所	14:50	他工事業者		修繕会社が2階フロアを修繕リフォーム工事中に事前に販売事業者に連絡なく、LPガス配管埋設配管確認を怠って施工を進めたため、コンクリートの底に埋め込まれていた配管(エルボ)に穴を開けてしまい漏えいしていた。すぐ工事を中断しガス元栓を止め換気・安全確保したのち修繕会社より販売事業者に連絡した。 原因は、事前に販売事業者に連絡なく、埋設配管を確認せずに施工工事修繕リフォームを進めたことによるもの。	配管(白管(埋め込み部))	不明	不明	ミライフ(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置不明 ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・今後、同じような事故がないよう消費先に対し、周知徹底を図って事前に連絡をとることを事業者へ指示。 ・事故届書提出を指示。
2022/3/17	神奈川県横浜市	C2級	漏えい	一般住宅	12:02	不明		2022年3月16日(水)11時13分頃、定期検診に訪問した検針員から販売事業者に調整器(自動切替式)のシグナルが赤表示(予備調整器からガスを供給している状態)であり販売事業者(当該消費者の保安機関)ではない。翌12時04分、配達担当者より電話にて通報した。12時40分、販売事業者が現地へ到着し状況を確認したところ、高圧ホースに最大12mmの損傷があることを確認した。また、損傷状況から小動物に齧られたと推定した。その後、高圧ホースを交換し、自己責任方針(電気式)及び発泡液を用い漏えい検査を実施し、漏えいがない事を確認した。消費者とともにLPガスが正常に使用できるか確認し18時05分に復旧完了した。 なお、漏えい量は、直近の配達時の指針と今回の配達時の指針を比較し、約23.2kgと推定される。 原因は、高圧ホースに最大12mmの損傷があり、損傷状況から小動物に齧られたと推定される。	高圧ホース	失崎エナジーシステム(株)	RHS-600S	アストモリスエナジー(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・容器交換時供給設備点検の際、より慎重に確認を実施していく。 ・事故届の提出を指導した。
2022/3/21	宮城県多賀城市	C1級	漏えい火災	飲食店	18:50	一般消費者等		2022年3月21日(月)18時50分頃、ラーメン店において店員がスプーンの仕込みのために鍋物コンロを着火してその場を離れた後、低圧ガスホースが離脱(全コンロ数7箇のうち1箇所が当該不具合発生してLPガスに引火し、低圧ホース、内釜、テレビを焦がす小火が発生した。18時25分頃、消防が119番通報を受け、現場に急行した消防隊による放水により消火。店内設置のガス警報器の鳴動はなかったことから、消火活動時の消防隊員によるガス元栓閉鎖によりガス漏れ防止と判断(ガス検知器による検知は未実施)。 一次原因は、鍋物コンロに接続する低圧ホースの劣化によるガス漏れによるもの。 二次原因は、コンロ着火後に調理員が現場を離れた無人の時間が発生した際に発生したことによるもの。	ゴム管	不明	不明	(株)普井商事	・ガス放出防止器あり ・マイコンEあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・2022年3月22日(火)に現状復旧のため低圧ホースを交換、翌23日(水)から営業再開。その際に、販売店から消費者に対してLPガスの取り扱いについて再啓発して再発防止に努めた。
2022/3/22	新潟県妙高市	C2級	漏えい	学校等	14:00	販売事業者		並列設置されているバルブ貯槽において、片方へ液移動が発生し過充状態になった。そのため気相ラインへ液が流れ圧力が上昇したため、二次側(低圧)調整器の安全弁から漏えいしたものと見られる。その際、二次側(低圧)調整器と三次(低圧)圧力計が破損したため交換した。なお、過充状態になっていたバルブ貯槽は、2022年3月30日(水)に抜き取り作業を実施し、適正とした。バルブ貯槽がな並列(液相ライン)で接続されており、液移動が起こった原因は不明。	①バルブ貯槽 ②調整器	①不明 ②失崎エナジーシステム(株)	①不明 ②PL-302 (2020年12月)	(有)イワキ	・ガス放出防止器なし ・マイコンEあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・2022年3月25日(金)第一報を受け、原因究明及び事故・異常時に早急に連絡することを事業者に指示した。事業者から、当分の間毎日設備を確認するとの報告を受けた。 ・3月29日(火)事業者から、バルブ貯槽が過充状態(充満量が貯槽の80%程度)となっていると連絡を受けた。過充状態を解消し、適正な充満量にすることを指示した。 ・3月30日(水)事業者の対応報告(作業写真)にて、適正な充満量であることを確認した。 ・原因が不明であるので、液移動防止のため片側のバルブ貯槽のみでの供給とする。 ・ペーパーライザー用の温水配管を、定期的に洗浄する。
2022/3/22	神奈川県家野市	C2級	漏えい	一般住宅	11:30	販売事業者		2022年3月22日(火)、保安業務の委託先である保安機関の点検・調査時に配管(埋設部)に漏えいが発生していることを確認し、連絡を受けた販売事業者担当者が現場に急行し、漏えい検査を実施した。しかし、調査部からの漏えい箇所は無く、漏えい箇所の特定に至らなかった。そこで、ガスの使用を禁止すると原因は、配管(埋設部)が白管のため、腐食が進み、漏えいに至ったと推定される。 <法令違反> 高圧ガス保安法第69条及び液化石油ガス保安規則第96条に基く事故の発	配管(白管(埋設部))	不明	不明	(株)ジョイン	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・配管に白管を使用しており、設置後30年以上経過している消費者(対象320件)に配管の入替を促す資料を届出し、交渉を行うこととした。 ・なお、配管の入替に当たっては、消費者に費用負担が生じるため、承諾を得た消費先から早急に対応していくこととする。 ・事故状況の情報収集 ・販売事業者に対する対策実施の指導
2022/3/24	長野県長野市	C2級	漏えい	一般住宅	16:00	販売事業者 ガス工事業者		戸建て平屋の賃貸物件(全11戸)に対し、50kg容器8本(供給側4本、予備側4本)から集中供給を行っている。そのうち一軒の供給管(埋設部)が腐食・劣化しガスが漏えいした。集中供給設備に設置の親メーターで「圧力減少漏えい警告(BR表示)」が発生したので、3月24日(水)に調査員が現地検診を行ったところ同メーターで「流量式減少漏えい警告(BR表示)」が発生していた。緊急時対策として、担当職員が出動し、ガス検知器で供給管を検査したところ漏えい箇所を特定した。当日の夜工事、翌日(木)にガス管に養生養生工事を行った。 一次原因は、ネジ式配管継手のネジ部分に腐食・劣化し穴が開いたことによるもの。 二次原因は、配管継手のネジ部に防食処理(防食テープによる保護など)がされていなかったことによるもの。	供給管(白管(継手部)(埋設部))	不明	不明	(株)セリタ	・ガス放出防止器あり ・マイコンEあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり複数種類 ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・4月までに埋設配管による集中供給から、各戸に容器を設置し供給する方法へ変更する。 ・事故状況の情報収集 ・販売事業者に対する対策実施の指導

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/3/25	愛知県一宮市	C2級	漏えい	一般住宅	10:51	他工業者	他工業者(解体工業者)による配管の損傷による漏えい	2022年3月25日(金)10時51分 解体業者から連絡あり、建物一部埋し工事中に埋設ガス管を損傷したとの連絡、出動手配。11時18分 現場到着。解体業者によりバルブ閉止済み。メーターが止まらず、復帰後にメーターに配管接続し模様。11時54分 工業者現場着。 14時06分 埋設部配管プラグ止め措置。工事完了後真空試験、漏えい試験検査、検知器反応なし。現場完了。撤去。 二次原因は、3月23日(水)現場にて販売事業者が解体業者・施工と撤去内容・日程について打合せ済みで、3月28日(月)に当該箇所を撤去作業と工事業者立会いにて予定していたところ、解体業者が日程を前倒して作業を実施したことによるもの。また、3月23日(水)の打合せでは当該箇所は撤去対象となっていなかった。	配管(強化ビニル被覆鋼管(本管埋設部))	不明	不明	東洋流化ガス(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・他工事(特に埋設ガス配管と干渉する場合)打合せの際はガス配管の位置を充分に周知。 ・工事内容の範囲が生じないよう記録して共有するとともに、工事内容、工事日時が変更になった場合は必ず連絡するよう業者に周知。事故報告を提出するよう指示した。
2022/3/26	宮城県仙台市	C2級	漏えい	共同住宅	1:18	販売事業者保安機関	埋設供給管の腐食・劣化による漏えい	事故発生現場付近の住民からガス臭がするとの119番通報より告知。消防の消防隊が出発。現地における漏えい検査(漏えい検知器と漏えい検知液による検査)の結果、LPガス容器に接続してある供給立上り配管埋設部からLPガスの漏えいを確認した。消防隊及び販売事業者により漏えい防止措置(供給立上り配管の漏えい発生箇所に対応用テープを巻く、供給バルブを閉鎖)が行われ、漏えいは停止した。発生原因については、配管の腐食・経年劣化によるものと推定されたことから、当日のうち販売事業者により交換対応が行われた。本事業による人的被害及び物的被害はなし。 二次原因は、地下埋設配管の地立上り部分の腐食・経年劣化によるもの。 二次原因は、地下埋設配管の腐食・劣化状況の確認が不十分であったことによるもの。	供給管(白管(本管埋設部))	不明	不明	(有)今野燃料店	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり対置 ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・当該配管の漏えいが発生した不具合箇所については、販売事業者により告知当日中に交換対応済。また、今後は配管の経年劣化状況について確認を行う注意喚起を行い、必要に応じて予防措置を行うなど、維持管理の強化を図る。
2022/3/28	大阪府四條畷市	C2級	漏えい	一般住宅	14:00	他工業者	他工業者(解体工業者)による供給管の損傷による漏えい	建物解体時に解体業者がLPガス配管も解体し、LPガスが漏出したもの。通報より消防隊が出発し、ガス検知器にて測定を実施し可燃性ガスを確認する。災害発生時のLPガスの保安機関が現場到着し、応急的にガスを止める。その後、販売事業者が現場到着する。原因は、解体業者がポンペからガスメーターまでガスが供給されていないと認識していたことによるもの。(解体業者と販売事業者との情報共有不足)	供給管(白管(露出部))	不明	不明	大阪マルカガス(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり複数種類 ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・販売事業者への事情聴取
2022/3/28	兵庫県姫路市	C1級	漏えい爆発 漏えい爆発 火災	共同住宅	11:05	不明(事故を起こした給湯器をメーカーにて調査中)	給湯器の点火不良による漏えい・爆発	2022年3月28日(月)11時05分 消費者より保安機関へ、お湯を出したときにベランダに設置してある給湯器から大きな音が出たため、見に行くと給湯器の前部カバーが脱落しているとの連絡があり、ガス臭はないとのこと。緊急出動依頼。 11時25分 出動者が現場到着。 11時42分 配管等漏えい調査の結果、異常なし。給湯器本体内部のガス漏れ検知器反応なし。点火不良により、給湯器内部に滞留したガスが引火、爆発する火を起こして、給湯器前面カバーが変形したと思われる。給湯器の使用禁止措置を行い、仮設給湯器設置の手配を行なう。 11時58分 消防へ被害を報告。消防から現場確認に行くので現場で関係者の待機の手配を受ける。 12時55分 消防隊員が現場到着。現場確認を行い、火災原因にはならないとの報告を受ける。 13時14分 事故を起こした給湯器を撤去し、仮設の給湯器を設置。漏えい試験及び火テストで問題ない事を確認し作業完了。なお、撤去した給湯器は、メーカーに渡して原因を確認中。 二次原因は、点火不良により、給湯器内部に滞留したガスに引火したと推定される。 二次原因は、機器の経年劣化による不具合によると推定される。	屋外設置型ガス給湯器(FF式)	パナソニック(株)	TP-S0164R-1(1995年4月製造)	(株)エネアーク関西	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・機器に不具合を感じた時は、販売事業者に連絡を預けるよう、消費者に周知を行う。また、製造年月が古い機器(10年超)自取自置に関しては、取り替える推進を行う。 ・原因究明と恒久対策の徹底
2022/3/28	長野県須坂市	C2級	漏えい	一般住宅	19:21	不明	容器と高圧ホースの接続不良による漏えい	消費者宅に設置した20kg容器2本のうち、予備側容器と高圧ガスホースの接続部に緩みが生じ、漏えいが発生した。漏えいは、付近の住民がガス臭がするとして消防へ通報したところにより発生し、出動し消防隊員が到着してバルブ閉止し漏えいは停止した。販売事業者が到着するまでガスを使用しないよう依頼した上で、緊急出動。8時55分頃、現場到着し、ガス栓が閉止されていることを確認し、ガス配管に漏えい検査を実施し、漏えいがないことを確認した。 二次原因は、2019年2月18日(水)の定期保安点検時に設置されていたガス警報器が未設置となっていたことによるもの。未設置となった経緯については不明。 なお、被害は消費者が右手首及び右足に軽い火傷を負っており、また、排気筒のエルボ及びトッパが外れていた。	高圧ホース	矢崎エナジーシステム(株)	RHS-600H(T)	(株)リビック長野	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり複数種類 ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・2022年4月29日(火)に容器交換時供給設備点検を委託している保安機関の社員と合せて保安検査を実施。 ・容器接続時の点検確認を徹底。 ・事故状況の情報収集 ・販売事業者に対する対策実施の指導
2022/3/29	栃木県宇都宮市	C1級	漏えい爆発 軽傷1名	その他店舗	6:10	一般消費者等	消費者による業務コンロの点火ミス	2022年3月29日(火)8時10分頃、販売事業者へ、消費者から業務コンロを点火させたところ爆発発生したとの連絡があった。販売事業者が到着するまでガスを使用しないよう依頼した上で、緊急出動。8時55分頃、現場到着し、ガス栓が閉止されていることを確認し、ガス配管に漏えい検査を実施し、漏えいがないことを確認した。 二次原因は、業務コンロ点火前にバーナーコックに消費者の体の一部が当たり、バーナーコックが開きになり、ガスが漏えいし、その後、ガスが漏えいし、爆発したことに起因すると推定される。 二次原因は、2019年2月18日(水)の定期保安点検時に設置されていたガス警報器が未設置となっていたことによるもの。未設置となった経緯については不明。 なお、被害は消費者が右手首及び右足に軽い火傷を負っており、また、排気筒のエルボ及びトッパが外れていた。	業務コンロ	(株)タチバナ製作所	TS-330(2016年4月製造)	堀川産業(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・業務コンロの点火方法を消費者に再指導した。 ・ガスが漏えいした場合は、ガスの使用を禁止し、喚起を行い、安全確認を行った後には点火を行うよう、周知した。 ・ガス警報器を設置し、ガスメーターと連動させた。 ・販売事業者に対し事故原因の提出を指示し、ヒアリングの上、再発防止策の徹底を指示した。また、ガス警報器などの機器については、保安点検の他にも機会を見て、設置状況を確認するよう伝えた。
2022/3/29	宮城県仙台市	C2級	漏えい	共同住宅	13:20	販売事業者	埋設供給管の損傷による漏えい	事故発生現場である集合住宅の消費者からマイコンメーター遮断(BCPガス止め)の電話連絡が入り販売事業者が緊急時対応した。販売事業者が現地到着後にLPガス充填容器を確認したところ、ガス切れを確認。容器の配込を依頼し、供給側の露出部を点検(圧力検査を実施したが、漏えいは確認されなかったことから、埋設部(PLV管76mm)を点検したところ、漏えいの疑いがあることが確認された。埋設部の露出部を点検し、漏えい検査を実施したが、漏えいは確認されなかった。4月4日(火)13時00分頃、飲食委員会担当者立会いの下、修理内訳の打合せを行い、担当者より圧力計を取り外すよう指示があった。 15時頃、圧力計を取り外しキップを取り付けた後、漏えい検知器で漏えいがないことを確認。供給を再開した。 二次原因は、3月16日に発生した福島県沖地震及びその余震により埋設部配管が損傷を受けたものと推定される。 なお、3月16日の地震発生後においても、当該集合住宅の消費者がガスを利用してできたのは、ガス漏えいの規模がガスマイコンメーターの自動遮断が作動しない程度の微量漏えいであったためと考えられ、ガスの残量がなくなっており、BCP自動遮断が作動したものと推測される。	供給管(強化ビニル被覆鋼管(本管埋設部))	不明	不明	ENEOSグループエナジー(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・ガスの本復旧にあつては、地震の影響を少なくするための埋設配管から露出配管に変更予定。(2022年4月13日(水)に工事実施、完了予定)
2022/3/30	石川県金沢市	C2級	漏えい	学校等	10:37	その他(経年劣化のため)	回転蓋に接続される金属フレキシブルホースからの漏えい	消費者から販売事業者にガス臭いとの連絡が入り、社員が現場へ緊急出動した。現場で漏えい検査を実施し、圧力が下がっていたため、漏えいが発生している事を確認。その後、回転蓋に接続されている金属フレキシブルホースの漏えい箇所を確認。特定。金属フレキシブルホースを交換し、漏えい検査に問題ないことを確認したうえで供給を再開した。 原因は、器具は固定器具だが振動が発生するために、金属フレキシブルホースが金属疲労を起こし、劣化したためと推定される。	金属フレキシブルホース	日立金属(株)	不明	(株)エネアーク中部	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・緊急時対応として、金属フレキシブルホースに即日交換。2022年4月15日(金)までに低圧ホースに交換予定。 ・再発防止に努めるよう指導した。
2022/4/2	秋田県大仙市	C2級	漏えい	学校等	9:50	一般消費者等販売事業者	バルブ貯槽による漏えい	2022年4月2日(土)9時50分頃、学校職員より「バルブ貯槽設備周辺からガスが漏れている」と通報を受け、現場に出動。 10時15分頃、販売事業者従業員1名が現場に到着。圧力計部分から音がしていたため、目視でLPガスの漏えいを確認。バルブ貯槽のバルブを全て閉止しガスの漏えいを止めた。 4月4日(月)8時30分頃、販売事業者従業員2名が漏えい箇所の修理報告のため現場を確認。その後、学校より教育委員会へ報告。 15時頃(火)13時00分頃、飲食委員会担当者立会いの下、修理内訳の打合せを行い、担当者より圧力計を取り外すよう指示があった。 15時頃、圧力計を取り外しキップを取り付けた後、漏えい検知器で漏えいがないことを確認。供給を再開した。 二次原因は、重みにより一次側圧力計が損傷したことによるもの。 (バルブ貯槽980kg×1基)	供給管(白管(露出部))	その他	その他	(株)本間	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり(対置) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・気化装置に接続した圧力計と同じ圧力を示す圧力計が取り付けられているため、破損した圧力計の取り外しを行った。 取り外し後、検知器・検知液を使い目視で漏えいがないことを確認した。 ・今後は被害再発防止のため、圧力計の取り付けは行いません。
2022/4/3	大阪府堺市	C2級	漏えい爆発 軽傷1名	飲食店	10:31	一般消費者等	<法令違反> 液石法 規則第44条	喫茶店内の西側に以前から使用していない業務コンロ、東側には一口コンロがある。飲食店オーナーがコンロを使用したところ、業務コンロ方向へ火が走り建物西側で爆発が発生した。 原因は、発災後の業務コンロ付近の部品が壊れておいたこと、火災の発生した西側の業務コンロの方向へ火が走ったこと、また業務コンロが長年使用しておらず故障の劣化が原因と推定されたこと、東側の業務コンロからLPガスが漏れたこと、東側コンロの火が引火したこと等事故が発生したと推定される。 なお、コンロ等の損傷が激しい発災前の状態が不明であり、また建物倒壊の危険性があり建物内に立ち入る者への調査が出来ないため推定される。	業務コンロ	不明	不明	(株)join-link	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・以前から供給設備点検及び消費設備調査を委託していたが販売事業者で実施し、点検調査の際に今回の事故事例を共有し、また消費機器及び配管の経年劣化等のお知らせ、取替の案内することで類似事故を防止する。 ・事故発生の原因調査及び再発防止対策を講ずるよう指示する。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策	
2022/4/16	鹿児島県鹿児島市	C1級	漏えい	一般住宅	11:30	ガス工事業者		消費者宅の外壁工事でガス管が露出した。配管撤去後経路を消費業者宅の供給元の都市ガス事業者へ依頼した。都市ガス事業者が2008年当時の残置管(圧力なし)と推測し、PLS埋設機を外したが、ガス漏れを確認できず、切断作業を開始したが、切断中ガス漏れを確認したため作業を中断した。切断により漏えいし、テープを巻着る応急処置を行った。 一次原因は、当該消費者宅隣地にLPGボンベ庫がある事の確認不足によるもの、残置管であるだろうと推測で作業を行ったことによるもの。 二次原因は、当該消費者宅隣地にLPGボンベ庫がある事や表示テープなどの販売事業者につながるものがあったため確認不足と推定される。 なお、現在、当該消費者宅は、都市ガス事業者が供給しており、販売事業者が因みにガス供給している事やわかれ物が当該消費者宅にはなかった。	供給管(ポリエチレン被覆鋼管(埋設部))	不明	不明		鹿児島島根事(株)	・ガス放出防止器不明 ・マイコン不明 ・ヒューズガス栓不明 ・自動ガス遮断装置不明 ・CO警報器不明 ・集中監視システム不明 ・ガス漏れ警報器不明 ・業務用換気警報器不明	・残置管がない状態で切断作業を行わない。 ・消費者宅の敷地内配管が確認していたため、近隣へも配管が通っていることは推測できたと考えられる。近隣宅も確認する必要がある。 ・火気厳禁等のボンベ庫表示があったが、表示を明確化する必要がある。 ・必要に応じて工事業者等と配管処理について調整を要するよう指導
2022/4/18	大阪府枚方市	C2級	漏えい	一般住宅	10:55	他工事業者		2022年4月18日(月)10時55分 解体工事業者から販売事業者へ、家庭解体中に重機で敷地内の埋設部のガス管を損傷したとの通報があり、テープ、ウエス等でのガス漏えいの応急措置を指示し、緊急出動した。 11時25分 販売事業者社員が現場到着。応急措置をおよび道路側溝から土壌からガス漏えいを確認した。 11時30分 たちまち貯蔵設備のガス栓を閉止するとともに、団地内の消費者にガス閉止を通知した。 12時00分 都市ガス事業者へ復旧工事を要請した。 12時40分 都市ガス事業者が現場到着。敷地内配管を修繕完了。 15時45分 埋設部は掘削工事が必要であるため、1階中の8月に20kg容器を設置し仮設供給を実施する。 18時30分 仮設供給が完了した。 一次原因は、解体工事業者が敷地内建屋解体中に、重機にて埋設ガス管を破壊したことによるもの。 二次原因は、解体工事業者が敷地内の埋設ガス管を事前に確認しない埋削工事を行ったことによるもの。また、販売事業者への事前照会もなかった。 なお、当該一般住宅は約4年前から空き家となっており、ガスメーターが雑草で覆われていたため解体工事業者は、敷地内のガス管について、確認を怠ってしまったとのこと。	供給管(プラスチック被覆鋼管(本管(埋設部)))	不明	不明		(株)エネアーク関西	・ガス放出防止器なし ・マイコンなし ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・敷地内の掘削前は、必ず販売事業者へ事前連絡を行うよう解体工事業者に周知する。 ・販売事業者に事情等聴取
2022/4/18	岩手県盛岡市	C1級	漏えい/爆発	学校等	12:33	不明		2022年4月18日(月)12時33分頃、保育園の廊下で、調理のため業務用レンジ(オープン付)を使用中に、ガス爆発があった。人的被害及び火災の発生はなかったが、物的被害(ガラス2枚破損、業務用レンジ(グリル付)破損等)があり、事故発生原因を含めて、消防で継続して調査中である。12時33分頃 保育園から消防へ通報があり、消防は12時45分頃、現場に到着した。12時45分頃、保育園から販売事業者へ連絡があり、販売事業者は社員1名を現場地に向かわせて、13時15分頃、販売事業者社員が現場に到着し、警備と整整整のハルブを渡し、メーター遮断していき現場を確認後、メーターガス止めにした。その後、消防、警察による現場検証で、保育園、販売事業者が立ち会った。13時39分頃、販売事業者社員2名が到着し、ガス検知器による検査もしたがガスの滞留等はなかった。16時05分頃、現場検証終了後、電気式圧力計で気密・漏れ試験等を行ったが異常はなかった。 原因は、現場検証に立ち会った保育園職員によると、業務用レンジで魚を焼いた後、オープンで調理していた際に、下部のオープン側に火が着いていない状態でレンジを閉じた。上部コンロにガスがたまって分岐点に後者がたまったことである。下部オープンに滞留したガスが引火し爆発したと推定される。消防にその後の爆発事故原因の調査状況について照会したところ、現場検証時に確認した以外の追加の情報は無いことである。そのため、当初の現場検証時に確認されたとおり、オープン下部内に滞留したガスに、上部コンロの火が引火したことによりガス爆発が発生したものと推測されることである。	業務用レンジ(オープン付)	(株)タニコ	D-TGR-120 (2008年9月)	(株)宮崎島高	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・業務用レンジ(オープン付)の使用に当たっては、ガス元栓の開閉は、必ず機器側のツマミを閉めた状態で行うなど、使用説明書に従った使用方法を徹底するよう指導する。	
2022/4/19	長野県長野市	C2級	漏えい	一般住宅	8:40	他工事業者		市役所発注の水路改修工事において、工事業者が水路脇の埋設管を掘削していたところ、つるはしで埋設配管を傷つけたと漏えいが発生した。その場で工事業者が掘れを止める応急措置をした。配管は、戸建て平屋賃貸物件の全11戸に対し、50kg容器8本から集中供給を行っていた埋設部であった。販売事業者が、現場でガス供給を停止して破損配管を撤去し、パイプ配管による接続工事を実施したが、試験等を実施して供給を再開した。後日、埋設管から漏れが復旧確認し、切り替えた。 一次原因は、販売事業者が、現場付近の水路の改修工事のため、つるはしで埋設管を掘削していたことによるもの。 二次原因は、ガス販売事業者による工事がある旨の連絡がなく把握できなかったこと及び、埋設管の老朽化が進んでおり、外部からの刺突により簡単に破壊し易い状態にあったことによるもの。	供給管(白管(本管(埋設部)))	不明	不明		(株)セリタ	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり複数種類 ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・本物件は、2022年3月24日(木)に埋設管の老朽化により漏えい事故が発生しており、4月2日(水)には埋設管による集中供給を止め個別供給をするための工事を予定していた。 ・現在は、予定外工事を実施し、埋設管の使用を止め、個別供給に切り替わっている。 ・事故状況の情報収集 ・販売事業者に対する対策実施の指導
2022/4/19	富山県魚津市	C2級	漏えい/火災	一般住宅	10:30	販売事業者(外構工事業者)による供給管の切断による漏えい/火災		当該一般住宅において、ガスの使用停止に伴い、ガスメーター手前の中間ガス栓を閉止するとともに、ガスメーターを撤去した。 2022年4月19日(火)10時30分頃 現場でメーター一般取換の際において、外壁工事を実施中に土より供給管を他工事業者が切断したところ、発生した火花がガスに引火した。発生した火花については工事業者が土を被せて鎮火した。同日11時頃 保安機関が消防からの連絡を受け、保安機関の職員が現場に向かい、集団供給用バルブ貯槽の元弁を閉止した。切断した立上り供給管をプラグで塞ぎ、ガスの漏えいを確認して安全を確認し、ガスの供給を再開した。 原因は、中間ガス栓まではガスが供給されていることを知らず、他工事業者が土より供給管を切断したことが直接的な原因と推定される。 二次原因は、ガスを使用停止し、ガスメーターも撤去済みであるものの、中間ガス栓まではガスが供給されていることが周知していなかったことによるもの。 (バルブ貯槽495kg×1基)	供給管(白管(露出部))	不明	不明		(株)八八	・ガス放出防止器なし ・マイコンなし ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・集団供給によりガス供給を行っている団地内の閉栓中の顧客に対し、供給管でガスが供給されている事再度周知するとともに、改築工事等を行う際には事前に連絡を要するよう案内を実施する。 ・供給管の危険確認を徹底し、集団供給によりガス供給を行っている団地内の顧客の供給管の異常や異音や異臭を注意喚起を行う。販売事業者に対して、以下のとおり行った。 ①高圧ガス保安法第3条に基づく事故届を提出すること ②再発防止策について報告すること
2022/4/21	北海道札幌市	C2級	漏えい	一般住宅	12:29	不明		2022年4月21日(木)12時29分、消防に「外壁が落ちてLPG容器に接触し、ガスが漏れい」との通報があり、消防隊が出動した。消防隊が現場に到着時、現場建物北側の外壁が割れて落下し、20キロの容器2本のうち、1本が落下した外壁に接触し、高圧ホースが離脱していた。ガスが漏れいしているのを確認したため、容器的元栓を閉止した後、現場建物西側玄関前に移動した。消防隊により可燃性ガス測定器でガス検知活動を実施したが、ガス検知はなかった。消防局の現場要請により保安機関の職員が現場に到着した。販売事業者により容器を撤去した。 原因は、建物老朽化によるモルタル外壁の剥離によるもの。	①高圧ホース ②ガスメーター	①富士工器(株) ②東洋計器	①MA-6P ②STK25MTT1	北海道エナジティック(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・家主の要望で容器撤去(未使用) ・当該建物で再度供給開始をする際は、設置場所を検討するよう指導した。	
2022/4/22	福岡県福岡市	C2級	漏えい	その他(介護老人福祉施設)	13:15	他工事業者		2022年4月22日(金)13時15分 消費者からガス漏れの通報あり。供給設備のガス栓閉止を依頼し、閉止される。 13時30分 販売事業者社員が現場到着。ガス栓の閉止を確認。状況を確認し、追跡業者が消費者先の庭に新たに数本木を植え、事前作業として彼の株の株中に打ち付け木束を埋め込んで確認していた。追跡業者が確認する際の作業と思われるし、埋設ガス管に鉄棒が刺さり管が破損。ガス漏れが発生したことが分る。 14時06分 販売事業者が下請け工事業者に修繕を依頼 15時45分 修繕完了 原因は、造園業者による埋設ガス管の破損によるもの。 (バルブ貯槽980kg×1基)	配管(ポリエチレン管(本管(埋設部)))	不明	不明		ENEOSグループナジエ(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓不明 ・自動ガス遮断装置あり複数 ・CO警報器不明 ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・ガス事業者から工事業者や消費者に対し、工事を施工する際は必ずガス管等についてガス事業者と確認するとともに、ガス管を見つけた場合はガス事業者へ連絡することを周知する。 ・団内販売事業者に対して、工事業者や消費者が工事を施工する際は販売事業者と連絡を取る体制を整えることを周知した。
2022/4/25	長野県茅野市	C2級	漏えい	共同住宅	15:30	販売事業者		集合住宅管理会社社員が作業中に容器庫の方からガスが漏れている音があったので扉を開けたところ、ガス漏れと漏れ音が続いた。2022年4月25日(月)15時30分、発見した社員が販売事業者と連絡し、出動した販売事業者が供給設備(50kg容器18本の供給側の容器1本の安全弁が作動し、ガスが漏れいしている)を発見した。該当容器を屋外の安全な場所に持ち、付近を立入禁止としてしばらく監視した。現場の容器庫庫内の残ガスが漏れいすることを販売事業者と消防で確認した。17時4分漏れいした容器の安全弁からのガス漏れいはいかなる程度であったため、交通量の少ない経路を選択し、途中容器を確認しながら充満所へ持ち込んだ。 原因は、液体と気体の2つの配管がある設備で、18本の容器のうち供給側2本の容器が液配管だけ接続されていたり、気体配管が接続されていなかったことによるもの。 なお、供給開始以降、問題なく稼働していたが、2021年12月30日(木)に蒸発器が故障したため、液配管は蒸発器手前のホースケックバルブ及び容器渡りバルブで閉止し、気体配管のみで供給していた。バルブを閉めた時、気付かなかったが、液配管のみ接続の2本の容器の液配管が脱落し、既に充満状態の状態で、その後、暖かくなって気圧が上昇し、1本の容器の安全弁から漏れいが発生した。	容器	不明	不明		(株)豊島屋	・ガス放出防止器なし ・マイコンなし ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・供給側すべての容器を回収し新たな容器9本を設置する。 ・気相ラインに接続していない2本の容器は、気相側の高圧ホースの1か所に連絡管(テック)非無接合型)を入れて気相ラインを接続する。 ・庫庫内蒸発器の更新 ・当該事故事例の社員への情報提供及び研修・販売事業者への聞き取り調査 ・今後、ガス配管(コンシ等)が干渉しないようにガス配管をやり直し、ガス配管が変動しないように壁に固定する。 ・接続部分は緩んだことが原因と印をつけておき、従業員にチェックしてもらうよう周知する。 ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし
2022/4/26	北海道岩見沢市	C2級	漏えい/火災	その他店舗	14:00	販売事業者		2022年4月26日(火)、14時30分頃埋設部の消費者(従業員)から専用コーナーの湯沸器をつけたら漏れいしていたガスに火がつき一瞬燃えた。消防と保安機関へ連絡が入り、直ちに保安機関従業員が現場に向かったところ、現場には消防が到着しており、火は鎮火していた。給湯器と配管の接続部が腐んでおり、そこから漏れいを確認したため、すぐに接続部を締め込んだ従業員がガスの臭いを感じて確認したところ、ガスの臭いももガス警報器も鳴っていないことがあったことである。 一次原因は、専用コーナーの開閉式湯沸器とガスフレキシ管の接続部からガスが漏れいしており、湯沸器の着火時に引火したことによるもの。 二次原因は、ガス配管を固定する物がなく、シンクの水切り部分から穴を開け、ガス配管を通しておりシンクの使用時等、振動が生じた際に干渉し少しずつ緩んだと推定される。	瞬間湯沸器	パロマ	PH-5BX	北燃商事(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・今後、ガス配管(コンシ等)が干渉しないようにガス配管をやり直し、ガス配管が変動しないように壁に固定する。 ・接続部分は緩んだことが原因と印をつけておき、従業員にチェックしてもらうよう周知する。 ・販売事業者に対し原因を調査して報告し、対策を講じるよう指導した。	

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/4/27	静岡県静岡市	C1級	漏えい火災 軽傷1名	病院等	5:20	一般消費者等		2022年4月27日(水)5時26分頃、病院内廊下で業務用回転扇、業務用回転扇を消費者(当該器具の担当者)が使用した際に点火の確認を怠り、プロパンガスを漏れさせた。その後、器具の故障により、長時間燃焼し、ガスが不十分で燃焼が留まっていたプロパンガスに引火したものと推定される。なお、この事故により消費者(当該器具の担当者)1名が右手と顔に火傷した。 (時系列) 2022年4月27日(水)5時23分頃 消防に緊急事態として119番通報があり、通報内容から消防も危険排除のため出動 5時42分 救急隊が現場到着、活動を開始 5時54分 消防隊が現場到着、活動を開始 6時01分 救急隊、消防隊の活動終了 7時00分頃 消費者から販売事業者へ連絡(午後現場確認を依頼) 14時00分頃 販売事業者、消防局予防係保安が現場確認 一次原因は、消費者(当該器具の担当者)が、電子着火器(ライター)使用後の点火確認を怠り、ガスを漏れさせてしまった。また、その後、換気が不十分なまま火気を使用したことによるもの。 二次原因は、消費者(当該器具の担当者)が経験1ヶ月で器具操作が未熟であり、安全な操作方法をしっかりと理解していなかったことによるもの。	業務用回転扇	不明	不明	静岡県プロパンガス事業協同組合	・ガス放出防止器なし ・マイコン3入り ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・00警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・販売事業者は器具等の取扱い方法について再度周知し、厨房ベランダ作業員から、単人作業員に対して点火の事項と安全な操作方法を再教育するよう指導した。 ・現地に意向(関係者)から事故状況の聞き取りを行った。
2022/4/27	神奈川県座間市	C2級	漏えい火災	共同住宅	22:00	一般消費者等		2022年4月27日(水)22時00分頃、アパートの管理会社から販売事業者へ連絡があった。販売事業者から消費者に電話連絡し、到着するまでガスを使用しないよう依頼した。22時30分頃、販売事業者が現場に到着し、ふろがま(BF式)の前面パネルが外れていること、末端ガス栓が閉止されていることを確認した。販売事業者が消費者に対し、安全確保のためふろがまは使用できないことを説明した。また、ガス配管に対し漏えい検査を実施し、漏えいがないことを確認した。 一次原因は、種火が点かっていたにも関わらず、滞留したガスに着火・爆発したことによるもの。 二次原因は、ふろがま(BF式)の経年劣化と推定される。	風呂釜	(株)ノーリツ	GBSQ-612	福川産業(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコン3あり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・00警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・当該消費者に対して、ふろがま(BF式)を屋外給排気器に交換することを提案する。また、同様のふろがま(BF式)を使用している消費者に対し、ふろがまの交換促進を図るとともに、種火等の再点火時の注意事項を十分に説明・周知を行うこと。 ・事故届の提出するよう指導した。
2022/4/27	宮崎県宮崎市	C2級	漏えい	共同住宅	8:30	販売事業者		2022年4月27日(水)8時30分、バルク貯槽の交換作業のため、マルチバルブからの配管撤去作業中にガス漏れが発生した。マルチバルブの六角ナットと配管接続フクロナットの供回により、マルチバルブから台座が外れ、ガスが漏れた。一時は、付近の住民に対して消防から待避指示があった。ゴム板、角材、焼き番線、ラチェット式閉鎖機を使用してバルブを押し当てると漏えいが停止した。その後、バルク貯槽から50kg容器へのガス取り作業を行い、14時00分に完了した。 (バルク貯槽998kg×1基)	バルク貯槽附属機器	不明	不明	(有)宮崎マルキプロパン	・ガス放出防止器あり ・マイコン3あり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・00警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・LPガス販売事業者が、ゴム板、角材、焼き番線、ラチェット式閉鎖機を使用してバルブを押し当てると漏えいが停止した。同日11時00分頃では漏えいが停止した。その後、バルク貯槽から50kg容器へのガス取り作業を行い、14:00に完了した。 ・バルブ交換の交換作業における安全確認を徹底し、再発防止を図るよう改めて指示した。
2022/5/3	千葉県栗原市	C2級	漏えい	一般住宅	13:40	その他(隣の家)		消費者の隣の家において、原木を切断していたところ、切断した木が消費者宅の供給設備に当たり、強力高圧ホースの根本が引き抜けLPガスが漏れ出した。また、薪割により調整器の切替バーが損傷した。その後、消費者が自ら容器バルブを閉鎖した。消費者から連絡を受けた販売事業者が確認したところ供給配管の残量が無い状態だった。配管システムでの計算による供給残量がある計算であることからその量が漏れ出したものと推定される。 原因は、消費者隣の家の人が木を切った際、倒れた木の方向の目を誤ったため、倒れた木が接触したことによるもの。	高圧ホース	I-T-O(株)	AXS-8C	日東エネルギー(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコン3入り ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・00警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・木の伐採等でガス設備にものが当たると想定される場合は事前に連絡をするように周知を行う。 ・事故届の提出を指示。
2022/5/3	埼玉県越谷市	C2級	漏えい火災	共同住宅	19:30	一般消費者等		2022年5月3日(火)19時54分頃、消費者より監視センターに警報が入る。20時20分、販売事業者社員が現場に到着、パラソル式風呂釜が爆発し、破損していることを確認。機器回りにガス漏れが無いことを確認し、風呂釜と配管を分離、元側をプラグ止めで対応。処置後ガス漏れが無いことを確認。うまく点火しないため再度点火を試みた結果、誤着火、爆発が発生した。 なお、この部類は2019年8月に入居、2022年3月から2021年7月までガスは不使用。2022年5月1日(日)からガス供給を再開していた。 一次原因は、パラソル釜が古くなったと使用しなくなった期間が長かったため、経年劣化が進んだものと推定される。 なお、使用の際にメーカーの使用注意事項事項の使用であったにもかかわらず点火したため、再度点火を試みた。再度点火したためではないかと思われる。また、器具内に滞留していた未燃焼のガスに着火したものだと思われる。 二次原因は、経年劣化による経年劣化による交換を促すことができていなかったことによるもの。	パラソル式風呂釜(BF式)	ライナイ(株)	RBFB-65HD	富士産業(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコン3あり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・00警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・安全にご使用いただくために、器具の年数等問わずガス開閉時はガス器具の使用方法と注意事項を周知する。また、点検等での訪問時や管理等で古い器具が設置されている場合は、事故防止のため器具の交換を促していただくようお願いし、安全な交換を実施する。 ・事故報告書の提出を指導
2022/5/6	千葉県佐倉市	C2級	漏えい	その他店舗	16:27	器具メーカー		消費者からガスが出ないとの連絡があり、販売事業者が確認したところ50kg容器2本が空となった。10kgポンペを仮設置し、ガスを出したところ調整器からガスの臭いがしたため、検知器(感度設定1)を用いて調整器からのガスの漏えいを確認した。その後、新品の調整器に交換し、検知器により漏えいがないことを確認した。 なお、当該調整器はリコール対象品であり、当該調整器製造会社が調査した結果、中圧キョップ部分からのガス漏れとの結果であった。 一次原因は、調整器の安全弁シール部に異物がみ込んだことにより、漏えいしたことによるもの。 二次原因は、当該調整器はリコール対象品であり、製造不良によりスレープを取り付けの際に隙間が大きくなっており、隙間を通過した異物が調整器内部に侵入したことによるもの。	調整器(自動切替式)	I-T-O(株)	AXS-8B-2TS	(株)エネライフ	・ガス放出防止器あり ・マイコン3入り ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・00警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・リコールについては製造業者が主体となって対応しており、当該販売事業者の管轄範囲内においては、6月中に全数が交換予定。 ・販売事業者からの情報収集及び事故原因の提出を指示。 ・販売事業者に対し、事故が発生した際の速やかな連絡について指導。
2022/5/11	東京都世田谷区	C1級	漏えい火災	飲食店	14:46	販売事業者 保安機関		2022年5月11日(水)14時46分ごろ、店舗オーナーより「店舗で爆発があり、窓ガラスが割れたようだ」と連絡があり、販売事業者社員が訪問し現場状況を確認したところ、厨房内の排気口3台の内、1台のコンロのゴム管がコンロ側のホースエンド口から外れた状態になっていた。ゴム管が外れた状態にガスがで出続けていたため、他のコンロの火が引火燃焼したと思われる。ガス警報器は設置されていたが鳴らなかったこと。また、厨房内で排気口にガスが漏れていたという他の情報も、従事者に伝達された。原因となった末端ガス栓を取り直し、新しいヒューズガス栓を設置。ゴム管も新しいものに交換した。また、取り外した末端ガス栓とゴム管は消防で検査するということで引き渡した。その後、検査が終わったということで引き取りに来てほしい旨連絡があり、その際に検査結果を聞いたところ、ガス栓には特に異常は見られなかった。ゴム管が少し劣化が見られたと口頭で言われた。文書による結果報告や通知は出さないこととなった。 一次原因は、排気口コンロに接続されていたゴム管先端が熱と油の影響を受け、膨張状態になりコンロ側接続部から外れた。かつ、末端ガス栓がヒューズガス栓でなく、可とう排気口コンロホースエンドを取り付けたものであったため過流出安全機構がないためガスが出続けたことによるもの。 二次原因は、2019年9月に新規設備工事を行った際に消費者が用意した三菱コンロがホースエンド接続タイプであったため、ヒューズガス栓でゴム管接続すると容量に過流出安全機構が作動しガスが出なくなるのではないかという慮からホースエンドを取り付けた可とう管ガス栓を設置したと推定される。また、定期保安調査時に末端ガス栓の設置状況の確認と販売事業者として取り決めていた定期保安調査時にゴム管の状態を確認し必ず交換する作業を怠ったことによるもの。	調整器(自動切替式)	①ダウロップ ②不明	①不明 ②不明	富士瓦斯(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコン3入り ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり複数種類 ・00警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・2022年5月19日(木)、消防による当該店舗への立ち入り検査が行われ、立ち会った。店舗に対しては、いかなる防火対策を講じるように指導があり改善指示書を出す旨の連絡があった。当該に対してはゴム管を短くするようとの指導で指示されたのみであったが、新しいヒューズガス栓を設置し、排気口コンロに接続されているゴム管を全て取替(ホース)に交換した。また、ガス漏れ警報器1台コンロ付近に増設した。 ・今後の対策としては、定期保安調査時には末端ガス栓と接続管の状況確認(ゴム管を必ず交換する)という自主基準を徹底して行っていただくこととする。 ・社内保安教育を行う。 ・事故届を提出するよう指導
2022/5/12	新潟県新潟市	C2級	漏えい	飲食店	9:00	販売事業者 器具メーカー		2022年5月12日(木)午前9時頃、容器付近から臭気するとの連絡で消防隊が出動。9時30分に販売事業者が到着し調査の結果、調整器の通気口からのガス漏れを確認した。なお、人的及び物的被害はなかった。 一次原因は、液化石油ガスの再液化現象の影響により、調整器内部において、ダイアフラムに異常な圧力が加わった結果、ダイアフラムの経年劣化が原因と推定される。また、アラン化の影響により、ダイアフラムに異常な熱が加わり、ダイアフラムが膨張し、破損したと推定される。 二次原因は、液化石油ガスの再液化現象やアラン化といった複合的な要因による特徴的な現象。液化石油ガスの再液化は容器と調整器・集合管の間で2℃以上の温度差が生じた場合に発生する現象である。しかしながら、当該事故発生現場において、日光による温度差は均等であり、かつ排気口の熱は調整器・集合管の側からと想定されることから、再液化の要因特定は困難である。アラン化については、温度の高さが原因として挙げられる。しかしながら、当該事故発生場所は、土居製に該当しないため、同様に原因特定は困難である。	調整器(自動切替式)	富士工業機	RF-15U	(株)丸新	・ガス放出防止器あり ・マイコン3入り ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・00警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・販売事業者が当該調整器を交換した。その後、供給及び消費設備のガス漏れ点検・検査により漏れがないことを確認した。また、製造による調査結果を受け、調整器・集合管の上に金属板を置き、排気ダクトの逃げが行くようにした。 ・原因究明及び再発防止を指示。
2022/5/14	福岡県鞍手郡鞍手町	C1級	漏えい火災 軽傷1名	その他(キッチンカー)	11:00	一般消費者等	<法令違反> 家庭用保安規則第44条	8kgボンベの交換時、消費者がガス調整器を取り出し新しいボンベを容器に取り付けた際、調整器の締め付け不足によるガス漏れが発生した。ライター一点火時に漏えいたガスに引火し、火傷を負った。事故後、消費者が自宅へ帰ると、緊急要請を行ったため事故が発生した。 原因は、ガスボンベと調整器の接続不良によるガス漏れによるもの。	調整器(単体式) ①ガスライター	①(株)桂精機製作所 ②不明	①SKL-5B ②不明	名神産業(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンなし ・ヒューズガス栓不明 ・自動ガス遮断装置なし ・00警報器不明 ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・消費者がガス器具を交換する際、容器交換時に調整器を締め付け接続部分に圧縮水等でガスの漏れが無いが自認確認を徹底するよう要請し、事故の再発を防止する。 ・ガス充満時、消費者が容器交換する際、調整器の取り扱いの注意喚起を周知文書にてご連絡する。 ・2022年6月28日(火)販売店への立ち入りを実施。 ・今回の事故を踏まえて消費者に対しては、保安業務の不備は見られなかったが、別の重量ガスを行っている一部の消費者の消費設備調査には未実施の項目があった。 ・重量販売における保安業務について現状を確認し、技術上の基準に適合するよう指導を行った。

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/5/20	宮城県石巻市	C2級	漏えい	一般住宅	13:00	他工事業者	他工事業者(リフォーム業者)による配管の損傷による漏えい	一般住宅の改修(リフォーム)工事中、施工業者が誤ってガス配管の一部を切断したことで液化石油ガスが漏えいしたもの。ガスメーターの安全装置が作動し供給遮断された。販売事業者が緊急時連絡の通報を受け、LPガス容器のバルブ閉鎖と室内換気を実施し、引火・爆発には至っていない。その後、販売事業者の職員が現地へ赴き、ガスの漏えいやけが人のないことを確認し、近隣への避難や交通規制の必要ななどないことを判断した。また、その他の影響がないことを確認して供給配管を修繕し、当日中にガスの供給を再開した。原因は、リフォーム施工業者の配管等の確認及び作業ミスによるもの。	配管(塩べい部)	不明	不明	全農東北エネルギー(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・販売事業者を通じ、施工業者に安全確認し作業するよう指示した。 ・2022年5月20日(金)15時20分頃、販売事業者より電話通報を受け、けが人のないこと、火災発生の危険性が低いことを確認し、共に電話連絡することともに、事故発生報告第一報を送付した。
2022/5/24	愛知県刈谷市	C2級	漏えい	飲食店	16:35	一般消費者等	埋設配管の立ち上がり部の腐食による漏えい	2022年5月24日(火)16時35分 消費者から、ガス警報器が鳴ってガスが出ないとの通報。16時58分 販売事業者社員現場到着。ガスメーター遮断(低圧側)を確認。漏えい試験を実施し、ガス漏えいあり(2.8kPa、30秒で0kPa)。厨房内の埋設白ガス管立上り部分でガス漏れを発生。メーターガス栓を閉止。中間圧ガス設備のガス漏れ無しを確認。5月25日(水)0時45分 漏えい箇所の埋設配管ルート変更し露出配管に入替完了。漏えい試験を実施し、漏えいが無いことを確認。原因は、厨房内、埋設白ガス管の立上り部の腐食し漏えいしたことによるもの。	配管(白管(本管(露出部)))	不明	不明	東邦液化ガス(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ連動) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・厨房内の埋設配管を露出配管へ変更。 ・事故箇所の提出を指導
2022/5/24	広島県呉市	C2級	漏えい	一般住宅	11:20	販売事業者	埋設配管の腐食による漏えい	2022年5月24日(火)、集中監視にて微量漏えい(BR)警報を受信確認したため、同日調査へ赴く。消費者宅にてデジタルマノメーターでガス漏えい検査を実施した所、2分間で約0.1kPaの圧力低下が認められたため、ガス検知器で漏えい箇所を調査。ガス検知器による調査の結果、地下埋設部より漏えい反応を検知し、漏えい箇所を特定。消費者へ説明の上、供給を一時的に停止した。原因は、低圧部消費管(埋設埋設白ガス管)の管体部分にての腐食・劣化によるもの。	配管(白管(本管(埋設部)))	不明	不明	広島ガス興販(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・漏えい箇所の埋設管を露出部に配管の引き替えを行い、施工後のデジタルマノメーターによる気密試験にて圧力低下傾向(ガス漏れ)が解消した事を確認した。 ・当該販売事業者を訪問、過去に当該事業者から報告のあった事故について説明し、今後、同様事故の防止に係る対策の検討を要請。
2022/5/26	広島県広島市	C1級	漏えい火災	共同住宅	17:30	一般消費者等	ゴム管の末端ガス栓からの脱着による漏えい火災	料理中にガス栓の辺りから火花があがり、水で消火。レンジフードのフィルターを一部燃焼した。なお、ガス栓の所でゴムホースが抜けていた。一次原因は、ゴムホースとガス栓がしっかりと接続できていなかったことから、ホースが抜け、ホース内のガスに着火したことによるもの。二次原因は、コンロ付近の洗浄のため、頻繁にガス栓からゴムホースを脱着していたことによるもの。	①ガス栓 ②配管(ゴム管)	①光陽産業 ②不明	①不明 ②不明	有限会社 西木屋	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ連動) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・点検時等に、ホースの脱着の正しい手順の周知を徹底する。
2022/5/27	愛媛県松山市	C2級	漏えい	一般住宅	16:00	他工事業者	他工事業者(外構工事業者)による埋設配管の損傷による漏えい	2022年5月27日(金)16時過ぎ、外構工事業者から販売事業者へ消費者等の敷地内LPガス配管を損傷させたとの連絡が入った。同日16時30分、販売事業者が当該消費者等宅に到着して状況を確認したところ、マイコンメーターによりLPガス供給は遮断(遮断)されており、また、調整元バルブを外構工事業者が閉止していたことによりLPガスの漏えいはいは収束していた。マイコンメーターにより、LPガス供給が遮断されたことから、LPガス漏えい検査装置(消費電量の約1/20)にて消費電量等15A×長さ16.1mm(3.27リットル)と推定される。当日、外構工事業者は、消費者等の敷地内にカーポート建設のため、コンクリート床面にカーポート基礎埋設用のコア抜き作業を行っていたこと、埋設LPガス管を切断してしまった。外構工事業者から事前に、販売事業者への工事実施の連絡、LPガス配管位置等の開合はなかった。なお、LPガス漏えい修理後、埋設配管への通断もなく、2022年6月1日(水)に事故現場を消防機関へ提出されたことにより事故が発覚したものの、LPガス漏えい修理後、埋設配管のコア抜き作業中にLPガス埋設配管の損傷によるもの。一次原因は、カーポート支柱基礎埋設のコア抜き作業中にLPガス埋設配管の損傷によるもの。二次原因は、販売事業者と外構工事業者との情報共有不足によるもの。	配管(塩化ビニル被覆鋼管(本管(埋設部)))	不明	不明	アストモステクノロジー(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・ガス供給配管周囲でコア抜き作業等を行なう際は、関係業者と情報共有を行ない、可能な限り離れた位置で作業を行う。 ・事故発生時の早期通報及び再発防止の徹底を指導する。
2022/5/28	茨城県ひたちなか市	C2級	漏えい	一般住宅	19:40	保安機関	高圧ホースのOリングの亀裂による漏えい	2022年5月28日(土)19時40分、消費者からガスが出ないとの連絡を受け、販売事業者が現地確認。20kg容器が4本とも空となっており、高圧ホース取付け部のOリングの亀裂から漏えいしたことが判明。単段式調整弁を仮設し復旧。2022年6月1日(水)本復旧。一次原因は、Oリングに亀裂が入っていたことによるもの。二次原因は、容器交換時のOリング劣化の確認不備によるもの。	①高圧ホース ②調整弁(自動切替式)	①不明 ②桂精機	①株式会社ホースCABA ②	(株)エネライフ	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・容器交換時に、Oリングの劣化状況確認を確実に行うとともに、容器交換後の漏えい確認を必ず実施する。 ・今後、第1報が遅れたことについて、販売事業者内で事故発生時の報告を即座に行うよう再度徹底する。 ・販売事業者に対し、今後、遅滞なく第1報を報告するよう指導。
2022/5/31	愛知県安城市	C2級	漏えい	一般住宅	0:00	他工事業者	他工事業者(外構工事業者)による埋設配管の損傷による漏えい	2022年5月31日(火)午後 外構工事会社が防草シート敷設作業中、シート固定ピン(長さ20cm)を地面に打ち込んだ際、埋設ガス管(フレキ管)を損傷しガスが漏れいた外構工事会社は気づかず。2022年6月2日(水)9時30分 容器配達時に事故現場のマイコンメーター遮断を確認。販売事業者へ連絡が入る。14時00分 販売事業者社員が、現地到着。漏えい検査の結果、ガス漏れと判断。シート固定ピン打ち込み箇所、配管損傷を発見。18時00分 埋設箇所の埋設ガス配管に入替完了。原因は、消費者の敷地内で外構工事会社が、埋設ガス配管の経路を確認せずに地面にシート固定ピン打ち込んだことによるもの。	配管(配管用フレキ管(本管(埋設部)))	不明	不明	東邦液化ガス(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・消費者へガス配管の埋設してある箇所を説明し、ガス配管の埋設付近で作業をする場合や、リフォーム工事を行う際は、ガス会社へ連絡するように周知した。 ・事故箇所の提出を指導
2022/6/2	福岡県大牟田市	C2級	漏えい爆発・火災	飲食店	15:19	一般消費者等販売事業者	供給管の腐食による漏えい	業務用施設の際において、コンロ下配管接続部より漏えいしたガスに引火し、爆発火災に至ったもの。漏えいした箇所は、埋設部よりプラスチック被覆管で立上り、継ぎ目管を使用。その継ぎ目接続部が腐食のため、ガスの微量漏れがあり、閉鎖にガスが溜り、近くにあるガス検知器の爆発火が引火となり、爆発火災となった。担当が到着後、ガスメーターを確認すると遮断しており、可能性としては、ガス漏えいの引火・爆発した勢いで当該接続部より漏えい量が増加したためと考えられる。また、ガス警報器は、消費者にて誤作動等が多いためコンセントより外されており、ガスが漏れていることを感知することが出来なかった。一次原因は、プラスチック被覆管と管使用継ぎ目の継ぎ目部分に腐食していたため、微量漏れが発生していたと推定される。二次原因は、ガス警報器が、消費者にて誤作動等が多いためコンセントより外されており、ガスが漏れていることを感知することが出来なかったことによるもの。また、定期消費設備調査を期限内に実施していなかったこと(保安機関への委託漏れ)、そのためガス配管の腐食・劣化状況を把握できていなかった。	配管(プラスチック被覆鋼管(本管(露出部)))	不明	不明	達辺イロコトガス(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ連動) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・厨房施設のガス配管(埋設・露出部)の目視点検の徹底 ・ガス漏れ警報器の定期点検の確認 ・法定調査とは別に定期的自主点検調査を実施 ・新規の委託と供給契約があった場合には、保安機関への委託漏れが生じないよう変更チェックを徹底 ・事故発生時の情報共有(現地調査を実施(2022年6月6日(月)) ・販売事業者に対し入換検査を実施(2022年6月13日(月)) ・定期消費設備調査未実施の消費者について、早急に調査を行うよう指示
2022/6/3	神奈川県中部大磯町	C1級	漏えい爆発・火災	飲食店	9:08	一般消費者等	ピザ焼窯への点火ミスによる漏えい爆発	2022年6月3日(金)午前9時9分頃、飲食店に設置されたピザ焼窯に消費者(従業員)が点火しようとしたところ滞留していたガスに引火し、点火作業中の従業員がピザ焼窯内に火災を発生させた。午前10時頃に飲食店から販売事業者にピザ窯の点火時に引火したと連絡が入ったため、販売事業者の担当者が現場へ急行した。到着後、自記圧力計により漏えい検査を開始し、漏えいがないことを確認した。なお、ガスメーターに連動しているガス漏れ警報器を設置していたが作動した形跡はなかった。その後、ピザ焼窯の使用再開のため、販売事業者の担当者が点火作業に立ち合い、点火は問題なく完了した。点火前は器具を含めて再度漏えい検査を行い、漏えいがないことを確認している。また、点火操作を行った者に点火手順を確認したところ、手順通りであったが、明確な回答が得られなかった。事故当日は焼窯担当の従業員が休みのため、不慣れた消費者(従業員)が焼窯の点火を担当した。※ 手順: 窯へ薪を収めてから新聞紙に火を付けて窯に入れる。火が消えていないことを確認した後、ガス栓を開けて点火する。一次原因は、操作ミスにより滞留したガスに引火したことによる。①(ガス漏れ)検査を実施したが確認していないこと。②ガスメーター連動型のガス漏れ警報器に作動した形跡が無いこと。③事故当日は不慣れた従業員が操作しており事故発生時の点火手順も記憶が曖昧なことから、上記原因と推定される。二次原因は、当該施設では事故が発生したピザ焼窯の操作手順が特殊なものであったにもかかわらず、従業員に周知徹底されておらず、手順書やチェックシート等も完備していないため、口伝により手順が継承されており、正しい操作手順を認識しづらい環境であったことによると推定される。	配管(プラスチック被覆鋼管(本管(露出部)))	不明	不明	ピザ焼窯(CF式)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ連動) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・当該施設側へ従業員用のピザ焼窯操作時のチェックシート作成と全従業員への周知を依頼した。 ・当該施設に設置されたガス機器の点検を実施している点も同時に点検している。 ・今回の事故を踏まえ全支店において業務用施設への年1回の周知の際、従業員に対し正しい操作手順が周知されているか、又はマニュアル化されているかの確認を行っている。 ・事故箇所の提出を指導した。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/6/4	滋賀県守山市	C2級	漏えい	その他 (一般住宅・共同住宅)	10:10	他工事業者	他工事業者(下水道工事)が造成地(下水道管の延長工事を行っていた)を、掘削作業中にLPガス供給管(当該埋設管を破壊させ、破損箇所よりガスが漏えいた。他工事業者(下水道工事)がガスが漏えいに気づき、都市ガス事業者へ連絡し、都市ガス事業者が現場へ向かいガス漏れ箇所を確認したところ、都市ガスの導管(配管)でないことが判明し、他工事業者が近くのプロパン(LPG)供給設備の管壁を見て販売事業者へ通報し、緊急出動して対応、措置を行った(修理)。 なお、ガス導管の埋設は、テープで押さえる対応は、都市ガス事業者が行った。 原因は、他工事業者(下水道工事)が造成地付近は都市ガスのエリアかと思ひ込み、都市ガス事業者には事前協議、工事照会を行っていたが、販売事業者には事前協議、工事照会を行なわなかったことによるもの。	供給管(ポリエチレン管(本管(埋設部)))	不明	不明	坂本油化(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・新橋の消防署及び警署への連絡 ※通報者は、一般ガス事業者(信州ガス会社) ・付近住へへの避難誘導や交通規制等は必要なし ・当日漏えい箇所の修理を行なった。	
2022/6/8	福島県須賀川市	C2級	漏えい	一般住宅	16:40	販売事業者 配線事業者	容器と高圧ホースの接続不良による漏えい	2022年6月8日(水)16時40分頃消費者からガス漏れ音とガス臭がするとの通報を受けた。ガスをとめるためにポンペのバルブを閉めるよう依頼した後、17時より現場へ到着して確認したところ高圧ホースと容器がつかない状態であった。容器とホースを接続し、漏えい検査を実施してガス漏れが止まったことを確認した。 原因は、直前に行われた容器配線業者による作業において接続不良が発生したと推定される。	高圧ホース	(株)桂精機製作所	CABA付属ホース(2014年12月製造)	福島県川口ガス販売(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・高圧ホースと容器の接続後に漏えい検知液を使用した漏えい検査を確認する。 ・事故届の提出を指示した。
2022/6/16	三重県亀山市	C2級	漏えい	一般住宅	13:45	器具等メーカー	高圧ホースのOリングの劣化による漏えい	2022年6月16日(水)13時24分頃、消費者宅の定期点検時に、点検担当が高圧ホースよりシューと音が鳴っていることに気づき、ガス漏れを確認。早速バルブを閉め、ガス供給を停止し、業務主任者に連絡。その後、高圧ホースと調整器を交換。検知液による漏えい試験により、漏えいが無いことを確認後、ガス供給を再開。取り付けた高圧ホースと調整器について、メーカーに検査を依頼。 一次原因は、Oリング切粉状の異物(真鍮片)が付着しており、Oリングの弾性で気密が保持されていたが、経年劣化によりゴムの弾性が劣化し、気密が保持できなくなったと推定される。 二次原因は、製造時にエアローリー等により、異物の除去を行っているが、Oリングに切粉状の異物(真鍮片)が付着したまま組み付けされたことによるもの。	①ITO ②調整器(自動切替式)	①MABP ②CA8	(株)ミネアーク中部	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・メーカーでの製造時の異物除去の指導徹底。 ・作業環境の見直し、異物混入防止のため、部品ケースや作業環境の清掃・整備を徹底する。	
2022/6/18	岐阜県高山市	C2級	漏えい	その他 (空き地)	15:00	他工事業者	他工事業者(造園業者)による埋設供給管の損傷による漏えい	2022年6月18日(土)15時頃に造園作業を行っていた業者が、敷地の一部を手掘りして掘削したところ、埋設配管を発見し作業に邪魔になるため掘り切込みを入れたところ、配管からガスが漏れ出した。掘削部位をテープで巻き応急措置を実施したが、6月20日(月)にもガスが漏れが継続していたことから、消防に通報した。消防で現場確認を実施し、埋設配管の損傷部分から微量なガス漏れを確認し販売事業者へ連絡する。販売事業者は12時20分に現場到着し現状を確認後、直ちに供給を停止し、配管修繕措置を実施し安全が確認できたことから14時00分にガスを供給し復旧完了となる。特定供給設備(10L)供給戸数2戸で埋設配管で埋設。供給していた引き込み管を破壊させたもの。 一次原因は、造園業者が埋設ガス管(ポリエチレン製ガス管)を掘り壊されたことによるもの。 二次原因は、施工敷地内配管が埋設されている旨は、消費者には告知されていたが、施工業者には伝わっていないかったことによるもの。 (バルク貯槽983kg×1基)	供給管(ポリエチレン管(本管(埋設部)))	不明	不明	菱本石油(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・販売事業者は2022年6月20日(月)22時に現場到着して、破損した埋設配管の修繕を実施。ガス漏れがなくなり確認し14時の分に復旧完了した。 ・販売事業者は消費者に対しお詫び及びお願いの文書、チラシを配布し消費者に対し周知を実施する。供給配管(ガスメーター入口配管)には、表示プレートを設置してガス配管がある旨の表示を実施。今回の液状化被災した原因は、保安機関ではない(他の造園業者であったが、保安機関に対し周知の方法について再検討する指導した。 ①販売事業者は消費者に対しお詫び及びお願いの文書、チラシを配布し消費者に対し周知を実施。 ②供給配管(ガスメーター入口配管)には、表示プレートを設置してガス配管がある旨の表示を実施。 以上、2項目についての事故再発防止策の報告を受ける。
2022/6/20	北海道札幌市	C2級	漏えい	共同住宅	9:00	販売事業者	バルク貯槽の調整器と遮断バルブの検知装置間の接続不良による漏えい	2022年6月20日(月)9時00分、消防に「屋外でガス臭」との通報があり、消防隊が出動した。消防隊が現場に到着時、バルク貯槽プロテクター付近でガスが検知された。配管からガスが漏れ出した。掘削部位をテープで巻き応急措置を実施したが、6月20日(月)にもガスが漏れが継続していたことから、消防に通報した。消防で現場確認を実施し、埋設配管の損傷部分から微量なガス漏れを確認し販売事業者へ連絡する。販売事業者は12時20分に現場到着し現状を確認後、直ちに供給を停止し、配管修繕措置を実施し安全が確認できたことから14時00分にガスを供給し復旧完了となる。特定供給設備(10L)供給戸数2戸で埋設配管で埋設。供給していた引き込み管を破壊させたもの。 一次原因は、調整器と遮断バルブの検知装置間の接続不良による漏えい。 二次原因は、調整器と遮断バルブの検知装置間の接続不良による漏えい。	調整器(単段式)	矢崎エナジーシステム(株)	RMLBF35AHL	(株)杉山燃料センター	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・大型調整器交換作業工程表を作成し、事前準備及び打ち合わせを入念に行う。 ・作業は入念に行うための項目を設けて、工程表に基づいて作業にあたる。施工完了後の再確認を実施するよう指導した。
2022/6/22	神奈川県南足柄市	C2級	漏えい	一般住宅	16:00	その他 メーカー	容器溶接部のピンホールからの漏えい	2022年6月22日(水)、容器から白煙のようにガスが噴出している旨、消費者から販売事業者へ連絡があり、販売事業者の担当者が急行した。担当者が確認したところ、20kg容器下部の溶接部にピンホールがあるのを認めた。そのため、当該容器を撤去した。(当該容器については、ピンホールをテープで塞いで、販売事業者の充填所へ運ばれ、ガスを取り除かれた) 一次原因は、20kg容器下部の溶接部にてピンホールが生じたことによるもの。 二次原因は、容器メーカーによるX線モニター検査の結果、漏れ箇所がピンホールが認められたことから、容器製造時の溶接作業の際、溶接部が付着している油膜が原因で発生した。二酸化炭素のガスが残留し気泡が生成され、この気泡が溶接部の冷却時に溶接部内に閉じ込められ空洞となり、ピンホールが生成されたものと推定される。	容器	不明	不明	(株)古川	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・販売事業者においては、容器交換時に目視にて異常がないか確認するよう配達員に指示した。 ・メーカーに対しては、プロパンホールの直接的な原因と考えられる油膜等での付着について、線部プロセス形状について着り油を落とすために行っている洗浄工程の洗浄液の管理を確実に行うよう指示するとともに、シールドガス不足にならないよう作業時のシールドガス流量の確認及びシールドガス回収してガスメーターへの供給を必ず行うよう「徹底した」。 ・事故届及び容器メーカーからの報告書提出するよう指導した。
2022/6/25	東京都羽村市	C2級	漏えい	一般住宅	8:27	販売事業者	容器の過充填による安全弁作動	一般住宅に設置された50kg容器の予備側容器からガスが噴出した。元から過充填状態であったと考えられる。 二次原因は、気道の上昇により過充填されていたボンベ内の圧力が上昇し、安全弁が作動したためと推定される。 一次原因は、充填工場では、容器重量、残ガス量、充填量の管理を容器ごとではなく複数本の容器をひとまとめでとして充填量を出すなど、管理体制が不十分であったために過充填となったと推定される。	容器	不明	不明	川原実業(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対置) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・容器ごとの重量の管理、充填後の重量再確認を実施する。事故届書提出を指導。 ・充填所の所管である飛に指導。
2022/6/25	埼玉県加須市	C2級	漏えい	一般住宅	10:06	販売事業者	液移動による容器安全弁作動による漏えい	2022年6月25日(土)午前10時6分、元消費者(2022年4月1日(金)にガス閉栓済)から母屋の容器からシュー音を伴いガスが噴出しているとの連絡を販売事業者が受ける。同日10時25分、販売事業者の所員が現場に到着。設置されている4本の20kg容器のうち、1本の容器の安全弁よりガスが噴出しているのを確認。当該容器を取り出し自力で移動させる。ガス噴出による容器壁及び内部物の温度低下によって内圧が下がったことにより超安全弁が閉じてガスの噴出は止まった。点検の結果、供給側2本のうち、ガスが噴出したのは予備側の1本であることを確認した。まだしばらくは(ガス再開時の予定は無い)ことからガス容器は4本共に取り外し回収。回収後、4本の容器については重量測定を行うため販売事業者が持ち帰り、秤で容器重量を測定して内部物LPGの重量を換算。 一次原因は、事故発生当日の高気圧と直射日光によりLPGが熱膨張し、完全な液封状態あるいはそれに近い状態になったことで容器内圧が2.0kgを超過した結果、容器安全弁が作動してガスの噴出(漏えい)が発生したと推定される。 二次原因は、2022年4月1日(金)のガス止め時容器バルブは閉止していたが、2021年11月に消費者宅に設置したツイントホースにより連結された20kg充填容器間で既に生じていた液移動により、噴出容器については4月1日(金)の時点でほぼ液封状態であったと推定される。これにより事故当日の高気圧・直射日光による熱膨張により、元から封じられていた状態であった事も相まって比較的大量の液移動が生じたものと推定される。 なお、液移動については、当該現場で使用していたツイントホース(チェックホース)には液液の逆流防止弁がついているものの、容器間の温度差で生じる内圧差による気体の移動まで完全に防止することはできないことが考えられる。また、容器間の温度差も極短時間で生じるものでは無いことから、長時間にわたって徐々に高温容器から低温容器へガスが移動し、移動したガスは低温容器で再び液を凝り返すことにより低温容器側が過充填状態になったものと推定される。	容器	不明	不明	川原実業(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対置) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	【消費者宅での対応】 当該消費者宅については「当初の予定とは異なる予定と当分の間、ガスの使用予定は無い」とのことであったため、事故当日に供給側、予備側双方の20kg容器系を本を回収することで「設置容器無し」とし、また、再開時(ガス)の再使用の際にはツイントホースは使用せずヘッダーを介し独立した高圧ホースを使用する。1系統複数容器設置から1系統1容器の設置へと変更する。供給設備(埋設)は液状化被災したため、埋設設備へ移動設置することについて需要と協議の上で対応することとする。 【業者(事業者)としての再発防止策】 1系統複数容器設置の供給設備がある需要家について、事故発生需要家での特設と同等、直射日光を避けるための遮蔽物の設置、供給設備(容器)の移動が可能である場合には必要家の了承を得た上で移動工事の実施、特に使用量が少ない需要家においては1系統複数容器設置を改めて1系統1容器の設置とする。1系統複数容器設置を改めて1系統1容器の設置とする理由は、ツイントホースを使用しない1系統複数容器の場合だと液移動が生じる可能性が高いが、1系統1容器の場合は、自動切換型調整器の構造上、容器内圧高→低のガス移動が無いためである。また、ガス閉栓中の空室等でLPG容器が液状化の現象が起きていないかの確認を行い、手探しの現場があった場合には即時回収を行う。
2022/6/27	千葉県八千代市	C2級	漏えい・爆発	共同住宅	18:19	一般消費者等	風呂釜の点火ミスによる漏えい・爆発	消費者が給湯付き風呂釜でシャワーを出したがお湯が出ず、連続で着火レバーを回したところ風呂釜内部で爆発し変形した。販売事業者が漏えい検査でガスの漏れがないことを確認した後、接続管を外してコックをフラグ止処置し、再度漏えい検査でガスの漏れがないことを確認し処置完了した。 風呂釜は使用禁止とし、2022年7月1日(月)に回収した。 一次原因は、点火しづらいう状態の着火レバーを連続で回したことにより、風呂釜内にガスがたまりその状態で着火したことによるもの。 二次原因は、老朽化で点火しづらいう状態だった風呂釜の使用を続けたことによるもの。	風呂釜	リンナイ(株)	RFB-65H	富士産業(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・消費者に古くなったガス器具の交換を促す。 ・販売事業者に事故届書の提出を指示。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/6/29	愛知県一宮市	C2級	漏えい	共同住宅	15:15	不明		2022年6月29日(水)15時15分頃、共同住宅の消費者(入居者)より、バルク貯槽付近でプシューという音がすること及びガス臭がするとの通報。現場に到着し確認したところ、バルク貯槽プロテクター内の液取出弁のバルブが少し開閉しており、かつガス放出防止器のキャップも少し開いた状態で、キャップよりガスの漏えいが発生していた。直ちに液取出弁のバルブの閉止及び放出防止器のキャップを閉め、漏えいは収まった。液取出弁及びガス放出防止器のキャップは、バルク貯槽への充填時や設備の点検等に使用することはないため誤って開閉したとは考えにくい。また、常に確認されているが、第三者的視点でも考えられない。バルク貯槽メーカーの担当者に確認したところ、キャップの組み立て経年劣化等が発生することはないため、人的要因以外では考えにくいとの見解のため原因は不明である。 (バルク貯槽498kg×1基)	バルク貯槽	不明	不明	カニエJAPAN(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンもあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・O2警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・バルク貯槽の定期点検時に確実にバルブ及びガス放出防止器のキャップの閉止確認を行う。 ・また、充填委託先にも情報共有を行い、充填時の確認の強化依頼する。 ・事故報告を提示するよう指示した。
2022/6/30	岡山県倉敷市	C2級	漏えい	一般住宅	14:08	販売事業者		2022年6月29日(水)に、メーター及び調整器の交換作業を実施。検知液にて漏えい検査確認後、弊社、消費者によると、昨夜及び午前中は異常は感無かったが、6月30日(木)、14時8分頃、コンロを使用したところ外のボンベの所でシューと音がするので、容器バルブ閉止後、当社へ通報(14時11分)。販売事業者担当者が、14時38分現着。容器バルブを開栓した所、調整器継手と容器バルブの接合部から、少量のガス漏えいを音で確認した。その後、調整器継手を若干干渉めしめると音が止まり、検知液にて漏えいがないことを確認した。再度、容器バルブおよび調整器継手を外し、リングの異常や異物混入のないことを確認し再度接続し、消費者に説明し謝罪したのち、コンロを使用していただき、異常ないことを確認した。 一次原因は、メーター、調整器交換作業後の、調整器継手の容器バルブへのねじ込み不足と推定される(検知液にて確認したが、その時は反応せず)。また、漏えいの音も感知していない。しかしながら、翌日午後、気温上昇に伴い容器圧が上がり、少量漏れたのではないかとと思われる。調整器継手を増しめしたところ、若干締め込みで、少量の漏れは止まったもののリングに異常がない、異物混入も無かったことから。 二次原因は、施工後の確認不備、検知液での確認が行ったが、目視の方法が不完全であったことによるもの。また、高圧部であることから調整器継手ハンドルを増しめすべきであった。	調整器バルブ ①調整器(自動切替式)	①不明 ②矢崎エンジニアリングシステム㈱	①不明 ②ASBEA-L(株)はまたや	・ガス放出防止器あり ・マイコンもあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・O2警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・施工後の確認作業の完全化を保安教育にて徹底する。 ・低圧部の気密、漏えい検査と高圧部の漏えい検査方法を協会制作のDVD等を使用して、ヒューマンエラーを起こさないように、職員全員に再教育。 ・事業者に事故届出書の提出及び再発防止の徹底を指示。	
2022/7/1	鳥取県鳥取市	C2級	漏えい	一般住宅	12:30	他工事業者		2022年7月1日(金)12時30分ごろ、消費者宅の浄化槽から下水配管への切替工事の掘削作業中、掘って埋設のLPG引込管(ポリエチレン管)を重機にて引っかけた直後、同日、12時45分ごろに此業者名が現地へ到着し、破損箇所の確認とともに仕切りバルブを閉鎖した。当該場所は集団での作業であるため周辺の消費者へ連絡し、仕切りバルブ上流側には影響がないか調査のため供給を停止し確認するとともに、破損箇所の修繕作業の準備を行った。仕切りバルブの上流側の異常は確認されなかったため、当該場所以外の供給を再開し、改めて消費者へ説明を行った。破損箇所のポリエチレン管を切断し、新たに敷設により修繕した。修繕作業終了後、漏えいの有無を確認し、異常は確認されなかった。 原因は、下水工事に切り掛かる直前、図面の確認等がない目測による掘削作業であったことによるもの。また、掘削に関する事前調査及び連絡もないままでの作業であったことによるもの。 (バルク貯槽498kg×1基)	供給管(ポリエチレン管(本管(埋設部)))	不明	不明	管研石油(株)鳥取	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置ありガス漏れ ・O2警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・今回は、引込の目的でなし、仕切りバルブを、目視でもガス管がわかる様に対策済であったが、肝心の事前打ち合わせがない状態での作業であったため事故に至った。改めて埋設管の該当する消費者に、ガス以外の外構工事にガス管等の有無を確認してご連絡頂く様通知するとともに、他工事業者へは事前確認を行うて頂くよう指示した。 ・情報収集及び営業保安監督員への報告 ・再発防止について指導
2022/7/1	神奈川県相模原市	C2級	漏えい	共同住宅	16:42	販売事業者		2022年7月1日(金)15:42頃、消費者から「今朝から容器取替庫からガス漏れのような音とガス臭がする」と販売事業者へ入電があり、販売事業者の担当者が現場に急行した。同日16:00頃、販売事業者の担当者が現場に到着したが、既に消防署の職員により容器バルブを閉止し、ガス止めを行っていた。販売事業者の担当者が現場の確認を行ったところ、集合装置フランジ部のナットが緩んでいることを確認し、締め直したところ漏えいは停止した。ガス検知器及び発泡剤にて漏えいがない事を確認することに加え、集合装置から分岐バルブまでを圧力保持による美ガス漏えい検査を実施し、問題がないことを確認した。その後、容器バルブを開けガス供給を再開した。 原因は、何らかの要因で集合装置のフランジ部ナットが緩み、ガスが漏れ出したと推定される。	集合装置	不明	不明	日本瓦斯(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンもあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・O2警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・販売事業者において、容器交換時等供給設備点検における確認を徹底する旨を配達員に周知した。 ・事故届の提出を指導した。
2022/7/4	埼玉県東松山市	C2級	漏えい爆発	飲食店	15:55	一般消費者等 ガス工事業者		消費者が厨房機器を修理するために業者に引き取られたが、末端ガス栓の処理がされていなかった。その状態で消費者がガス栓を誤って開けてしまい、厨房の着火源にて漏えいした引火、爆発した。消費者はその場を離れていたため人的被害はなかった。 なお、ガス漏れ警報器は2021年12月に消費者が取り外していたため作動しなかった。 一次原因は、ガス栓の誤開閉によるもの。 二次原因は、他業者による施工不完全(ガス栓の未処理)によるもの。	ガス栓	不明	ネジガス栓	北日本物産(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・O2警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器あり	・2022年7月4日(月)販売事業者が対象ガス栓を撤去し、使用できないようにした。あわせてガス警報器の重要性を説明し設置した。 ※元々警報器を設置していたが、2021年12月に消費者が外してしまったこと。なお、2021年3月6日の定期調査では設置済との記録あり。 ・事故報告の指導 ・ガス漏れ警報器の設置状況の確認
2022/7/5	兵庫県明石市	C2級	漏えい	共同住宅	9:55	販売事業者		事故対象家の隣家がガスの臭いを感じ、販売事業者に連絡が入り、調査した結果、腐食劣化した埋設白管の一部から漏えいを確認した(埋設管の一部が地盤下より一部露出)。 原因は、埋設白管の腐食劣化及び地盤沈下による埋設管の一部露出によるもの。	供給管(白管(本管(埋設部)))	不明	不明	ENEOSグループエナジー(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置不明 ・O2警報器不明 ・集中監視システム不明 ・ガス漏れ警報器不明 ・業務用換気警報器不明	・供給側埋設白管の縁切り、新たに露出配管にて供給側配管を新設(7月5日実施)。 ・3棟(6戸・2戸・2戸)への集合供給から各棟へ供給設備を新設し、各棟ごとの個別供給を新設したが、2021年12月に消費者が外してしまったこと。 ・集中監視設備設置による早期対応。 ・対策防止策を徹底するよう指導を行った。
2022/7/5	福岡県糸島市	C2級	漏えい	一般住宅	15:15	他工事業者		複数の戸建住宅に集合供給している小規模団地において、解体事業者が重機で解体作業を行っていたところ、ガス配管(露出部)に重機が接触し破損させた。連絡を受けた販売店が急行し、供給側立ち上がり配管の損傷を確認、直ちに漏えい箇所をプラグ止め処理にて修繕を実施した。 2022年7月5日(火)15時15分頃 販売事業者へ連絡あり 15時25分頃 現地到着後修繕実施。 15時50分頃 ガス検知液にて漏えいなきことを確認。 16時29分頃 本管の漏えい試験後、漏えいのない事を確認。 一次原因は、建物解体の際、重機先端のハケットが立ち上がり配管に接触し破損したことによるもの。 二次原因は、現場状況確認不足と作業者の注意不足によるもの。 (バルク貯槽975kg×1基)	供給管(強化ビニル被覆鋼管(本管(露出部)))	不明	不明	ENEOSグループエナジー(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・O2警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・他工事業者に対する周知の徹底。 ・事故発生状況の聞き取りを実施。 ・集合供給に係る地区の代表者等に事故の再発防止のための周知を徹底するよう求めた。
2022/7/6	愛知県豊橋市	C2級	漏えい	一般住宅	9:20	他工事業者		住宅の外構工事により掘削していたところ、ガス管を損傷し漏えいが発生した。 一次原因は、他工事業者による埋設ガス管の損傷によるもの。 二次原因は、埋設配管の調査不備によるもの。	配管(プラスチック被覆鋼管(埋設部))	不明	不明	(株)エナーク中部	・ガス放出防止器あり ・マイコンもあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・O2警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・2022年7月6日(水)応急復旧(損傷した管は使用せず閉止)。 ・2022年7月8日(金)再発防止のため埋設ガス配管にせず、新設にて建物の基礎壁面部へ両サドル面定金具を使用しガス用ステンレス鋼フレキシブル管(フレックス)を配管。
2022/7/8	兵庫県加古川市	C2級	漏えい	一般住宅	12:29	他工事業者		床下の階下部分に敷設していた消費配管(配管用フレキ管)が他工事業者により損傷を受けガス漏えいが発生した。原因は、排水配管を移動していた他工事業者が、新しい配管経路を作るために穿孔作業を行った際に、LPGガス消費配管と接触し損傷したことによるもの。	配管(配管用フレキ管(本管(階下))	不明	不明	ENEOSグループエナジー(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンもあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・O2警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・消費者に対しフォームや修繕工事の際に販売事業者へ声を頂き立て直しに安全対策をおこなう。 ・消費者への自宅のガス配管経路を説明したうえで、付近の工事を行う際は確認するよう周知を徹底する。 ・工事関係者への周知徹底等、再発防止に努めること。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/8/20	長野県大 田市	C2級	漏えい	一般住宅	16:40	一般消 費者等	消費者による 供給管の損傷による漏えい	2022年8月20日(土)18時40分消費者からガス検出器でシュートという音とガス臭がするとの連絡があり、バルク貯槽(185kg)からガスメーターの間の 低圧バルブ管に傷ができて、保護下シースまで穴が開いており、その部分からガスが漏えいしていた。連絡時に消費者によってバルク貯槽出口弁が 閉止された。8月15日(月)に消費者宅主人が周辺を草刈り機で草刈りをしていたら、フレキ管に傷つけたと考えられるが、ガス臭に気が付いたのは連絡時 であったガス漏えい量は133.4kgと推定。 二次原因は、バルク貯槽周辺での草刈り中に、フレキ管を損傷したことによるもの。 (バルク貯槽185kg×1基)	供給管(配管 用フレキ管 (本管(露出 部)))	不明	不明	大町ガス(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス検あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・2022年8月20日(土)出勤後、破損したフレキ管の交換と気密検査、漏えい 検査を実施し、異常がないことを確認。 ・8月22日(月)再調査し、消費者に対しガス設備周辺での草刈り等の作業を 行う場合は配管等から距離を取るなどの指導を受けた。依頼した。 ・事故調査及び事故届出依頼
2022/8/21	熊本県熊 本市	C2級	漏えい	共同住宅	19:33	一般消 費者等	消費者による埋 設供給管の損 傷による漏えい	(消費者による事故) 8月21日(日)19時33分 消費者より販売事業者へ埋設管を損傷したとの連絡が入る。販売事業者は現場へ出動し、応急措置として穿孔箇所をテープ で巻きガスの漏えいを止め、翌22日朝前に損傷した供給管部分を交換した。 一次原因は、消費者が共同住宅の敷地内において防草シートを固定するためのピンを地面に打ち付けた際に、ピン先が供給管に接触させ、損傷させたこと によるもの。 二次原因は、埋設管の位置が、地盤面から30cm以上の深さを確保できていなかったことによるもの。	供給管(ポリエ チレン管(本 管(埋設部)))	不明	不明	(有)大塚商事	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス検なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・販売事業者は当該共同住宅の埋設管で地盤面から30cm以上の深さを確保 できていない箇所については、埋め戻し等の埋設管の損傷を防止する措置 を実施する。 ・販売事業者は今後消費者宅を訪問する際は、「住宅工事等」によるガス事 故を防ぐために、等のチラシを配付するとともに注意喚起を促すこととした。 ・販売事業者に対し事故の状況及び原因等を説明し、今後同様な事故が発 生しないための改善策を実施するよう指導した。
2022/8/22	兵庫県播 磨市	C2級	漏えい	一般住宅	10:04	他工事 業者	他工事業者(リ フォーム業者) による配管の損 傷による漏えい	2022年8月22日(月)10時04分 リフォーム業者がユニットバス解体工事中、電動ノコギリで床面を切っている時に誤ってガスのフレキ配管を破損してしま ったと内容で販売事業者が発注。業者にて現場へバルク貯槽止め。ユニットバスと壁との間の空間にあるフレキ管となるため、埋設部ではない。 10時30分 販売事業者の担当者が現場到着。フレキ管の破損を確認。到着時ガス臭無し。 11時45分 販売事業者の社員1名が追加にて合流。破損場所の修復工事を行う。 12時55分 配管工事に終了。ガス検出器なし。漏えい状態解消なし。修理後、供給開始。 二次原因は、リフォーム業者がガス配管の取付無視を認められ、床面を削り取ったことによるもの。 二次原因は、消費者及びリフォーム業者が、ガス管がある可能性のある場所を工事前、販売事業者に連絡をなかったことによるもの。	配管(配管用 フレキ管(本 管(床下い 部)))	不明	不明	(株)エネアーク 関西	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス検あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・今後ガス管がある可能性のある場所を工事前は、前もって販売事業者に 連絡を要するよう、消費者及びリフォーム業者に注意喚起した。 ・対策を実行し、再発防止に努めるよう指導。
2022/8/23	広島県広 島市	C2級	漏えい	一般住宅	20:33	充てん 事業者 配管業者	容器ねじ部の損 傷による漏えい	住宅に設置しているLPガス容器(予備筒)のネック部分よりガス漏えいが発生し、ガス切れとなる。漏えい試験を行い、配管及び機器に異常がないことを確認 し、容器交換後、供給を開始する。容器検査時の報告書によると、容器バルブのネジ山が破損し漏えい点を確認された。該当容器は容器検査後所から戻っ て来て2022年6月2日(金)に充填し、そのまま第1回目の配送を行い容器交換時点検も異常なしとなっていた。その後、7月15日(土)に軒先から返送し、7月 18日(火)に充填したものを7月19日(水)に2日目配送により軒先設置している(容器交換時点検異常無し)。その後、8月24日(水)にガス切れとなり現場対応 を行った。容器設置から1ヶ月経過後ガス切れとなった。ネック漏れ(微小漏れ)が原因と見られるが、何らかの原因で起きるものではないかと考える。 原因は、容器再検査時に容器の差違を判断し使用するシャット玉が、ネジ部分に付着したまま、容器バルブを締め込んだため、容器バルブのネジ部 分及び容器側のネジ部分が損傷したことによるもの。 なお、容器検査上がり後の漏えい点検は異常なしとなっている。容器交換時等の点検時も異常無しを確認済み。	容器	不明	不明	太陽日酸エネ ルギ一(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス検あり ・自動ガス遮断装置あり ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・現場作業の確認を行うとともに容器配送時の点検を強化していく。 ・検査上り内容は漏えい点検を怠っていたが、今後は時間を掛けて念 入りにチェックを実施する(二重チェック等)。
2022/8/23	秋田県鹿 角市	C2級	漏えい	その他店 舗	14:10	他工事 業者	他工事業者(機 体工事業者)に よるバルク貯 槽の安全弁の損 傷による漏えい	2022年8月23日(火)14時15分 隣接する建物の解体作業時に、ガスが漏えいしたとの連絡を受けた。14時25分 現地到着し確認したところバルク貯槽安全 弁補充元から漏れしていることを確認。14時45分 消防及び警備へガスが漏れていることを連絡し、直前へ火気の使用禁止及び交通規制を おこなった。14時50分 漏れが止まっていること第1報連絡をおこなった。16時00分 ガスの漏えいを止めるためのバルク貯槽に緊急措置として、安全 弁ネックに木栓を押し、消防・警察と今後の対応についての協議を開始した。20時30分頃LPガス設備業者が到着するまで専門的意見を聞いて今後の 対応を協議することとした。20時40分 LPガス設備業者到着後、バルク貯槽の残ガス処理を水置換でおこなうことを消防・警察と協議し決定した。20時45 分 貯槽の残圧が徐々に減り減圧が入るが流出がなくなったため、残圧を下げたことを優先し、消防・警察と協議の上大気放出することとした。その後2時間 おきに周辺ガス濃度をガス検知器にて確認作業をしながらおこなった。 9月24日(水)04時20分 貯槽の内圧が下がったため水置換を開始した。その後貯槽内が水で満たされ貯槽からのガス漏れが止まったことを消防・警察と供 給業者で確認し、05時00分 原因調査及び検出器の点検を実施し、濃度上昇警報が働いたことを確認できたことで、消防が道路規制及び警戒を解除すると の最終宣言を受けた。06時20分 バルク貯槽の水抜きが完了したため、設備業者が用意したユニット貯槽し搬入手続のため移送をおこなった。06時 25分 共に撤去完了の報告をした。 二次原因は、解体業者がLPガスが入っているバルク貯槽の撤去作業を行い、撤去時にバックホーで引きずり出したところ、バルク貯槽の安全弁補充元から ガス漏れが発生したことによるもの。 二次原因は、解体作業発注時及び解体作業開始時に発注者、販売事業者、解体業者間でLPガス施設がある旨の協議が不足していたことによるもの。 (バルク貯槽980kg×1基)	バルク貯槽	不明	不明	(株)ニエモ	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス検なし ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・LPガス施設近隣等で工事が行われる際に工事業者と十分な協議と認 識の共有を行い、LPガス施設等に関するリード等の措置を講じ事故防止を行 う。
2022/8/24	京都府城 陽市	C2級	漏えい	一般住宅	14:52	他工事 業者	他工事業者(機 体業者)による 供給管の損傷 による漏えい	2022年8月24日14時52分 都市ガス事業者から情報提供で受け、空家の解体中に敷地内ガス供給管の破損、都市ガス事業者はすでに現場へ出動して いるとの内容。販売事業者の供給先物件のため、担当者が現場へ緊急出動。 15時00分 都市ガス事業者が現場に到着し応急措置を開始した。 15時00分 販売事業者の担当者1名が到着し、ガスメーターの立上り管付近の埋設ガス管の破損を確認。 16時09分 都市ガス事業者により、破損部のガス管撤去、上流側にフック止めを行い修理完了。 なお、当該空家は、2007年8月に閉鎖し、メーターガス検をプラグ止めでいた。 二次原因は、解体工事業者が埋設埋設ガス管を損傷したことによるもの。 二次原因は、作業前に敷地内のガス管を確認しなかったことによるもの。 なお、解体工事業者は販売事業者に事前連絡又は照会していなかった。	供給管(本管 (埋設部))	不明	不明	(株)エネアーク 関西	・ガス放出防止器なし ・マイコンなし ・ヒューズガス検なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・業務用換気警報器なし	・2022年8月28日(日)に敷地内に残置していた埋設ガス管の撤去工事を実施 した。また、同地内の道路に埋設管表示シール、敷地内の露出管に注意 喚起シールを貼付することとした。
2022/8/25	神奈川県 大和市	C2級	漏えい	共同住宅	16:30	販売事 業者	供給管の腐食 による漏えい	2022年8月25日(木)16時12分、住民から「ガス臭い」との連絡を受けた管理会社から販売事業者に連絡があり、販売事業者の担当者2名が直ちに現場へ 急行した。同日16時40分に現場に到着し、自記圧力計、ガス検知器等で調査した結果、ガスメーターへの立上り供給管(地盤面付近)から漏えいが発生して いることを確認した。直ちにガスの供給を停止し、設置していた容器を回収し、外観等確認したが、底部を含め漏えい等の異常はなかった。撤去日からの 検計情報及び受力の重から、漏えい量は約30kgと推定される。 なお、4世帯中1戸にのみ発生し、他世帯へは発生を認めず、応急措置として個別供給を行った。 9月6日(火)、貯蔵設備を50kg×2本から20kg×4本に変更し、供給管を全て露出管に切り替え、既存の埋設供給管をガス供給から切り離し、キャップを施 し残置する工事を行った。その後、気密試験により漏えいがないことを確認した上で個別供給を解消し、再び元の集合供給として供給を再開した。 二次原因は、供給管(白管)径縮減及び立上り部が経年劣化により腐食し、漏えいが発生した。 二次原因は、当該物件は2020年4月に集中監視化、流量検知器・切替型漏えい検知装置は未設置だが、埋設部漏えい検知の措置としてメーターによる監視 を続けてきた。7月19日(火)にBR表示(圧力微少漏えい)が、保安機関から(FAX)で報告されたことだったが、当該情報が受信・認識されていなか った。その後調査したFAX機の変換記録が自動で上書きされており、当時画面かどうかの確認ができなかったことにより、今回のガス臭発生と緊急出 動対応に至った。	供給管(白管 (露出部))	不明	不明	(株)エネアーク 関東	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス検あり ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・露出管への切替えをした。 ・今後の対策として、当社で全件設置を進めているLPWPA等の集中監視によ るガスメーター異常表示等の情報が、確実に届き、認識され、次の対応に速 やかに移行することで被害拡大を抑え込めることができるよう、集中監視セ ンサーとの情報交換の流れを改めて協議し、漏れのないよう仕組みを構築 する。 ・事故届の提出を指導した。
2022/9/1	千葉県流 山市	C2級	漏えい	一般住宅	14:45	他工事 業者	他工事業者(機 体業者)による 埋設供給管の 損傷による漏えい	2022年9月1日(木)PM2時45分ごろに都市ガス事業者より、販売事業者のガスメーターセンターへ解体事業者が解体中にガス配管の一部を損傷したよう なので対応してほしいとの連絡があった。都市ガス事業者にて損傷した配管に緊急措置(テープ巻き)の対応がされていた。15時15分頃に販売事業者の社員 が現場に到着し、ガスメーター立上り配管(供給部)の埋設部エルボが損傷していたため、ガスを停止し、供給部ガス管一部撤去、応急措置で復旧工 事を実施した。気密試験を実施し漏えいがないことを確認した。 二次原因は、解体業者が空家物件の解体工事を実施するにあたり、重機により埋設されたガス管を損傷したことによるもの。 二次原因は、メーター付近等に閉鎖孔(連絡先)が見当たらず、建物の解体作業をすることを解体業者から連絡をもらうことができなかったため、ガス埋設 配管があることを解体業者へ周知することができなかったことによるもの。	供給管(ポリエ チレン管(埋 設部))	不明	不明	ミライフ(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンなし ・ヒューズガス検あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・他工事による事故を防止するよう「他工事事故防止チラシ」を同地内の供 給先へ配布、案内し事前に連絡がくるよう定期的に周知を行う。 ・空き家物件にも定期的に訪問して閉鎖孔が外れていないかなど、他工事 の際に販売事業者へ事前に連絡がくるようガスメーター付近へ閉鎖孔(連絡 先等)標示を取り付けて、ガス埋設管があることを知らせるようにした。 ・販売事業者に事故報告書の提出を指示した。
2022/9/2	新潟県新 潟市	C2級	漏えい	一般住宅	11:40	他工事 業者	他工事業者(駐 輪場施工業者) による埋設供給 管の損傷による 漏えい	建築中の一般住宅において、駐輪場施工業者が道路からの引込管を重機により誤って損傷させ、損傷した配管より液化石油ガスが漏えいした。販売 事業者が現場を確認し、他に埋設部を切断し、配管をプラグ止し修繕した。 二次原因は、重機による配管の損傷によるもの。 二次原因は、駐輪場施工業者が引込みガス管の存在を認識していなかったことによるもの。	供給管(ポリエ チレン管(埋 設部))	不明	不明	新プロ産業 (株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンなし ・ヒューズガス検なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・販売事業者が工事施工業者に、工事開始前にガス管についての注意を促 すこととした。 ・原因究明及び再発防止を指示。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/9/2	三重県津市	C2級	漏えい	共同住宅	11:00	他工事業者	他工事業者(下水道工事業者)による埋設供給管の損傷による漏えい	当該物件の下水道工事に伴い、設備業者が排水管敷設ルートのアスファルトにカッターを入れた際、地中を掘削していた埋設ガス配管を切断しガス漏えいした(発生2022年9月2日(金)11時00分)。設備業者は直ちにガス漏えいを即座に確認し鎮静器下の中継ガス栓を閉止して漏えいを停止した。ガス漏えいに伴う災害は発生していない。設備業者が連絡が入り、販売事業者社員が11時20分現地到着。現地状況を設備業者立会いのもと確認し、在宅の2階(2)カ所供給停止を通知した。工事業者と配管修繕の打ち合わせを実施したのち、工事業者が到着(12時20分)、修繕を開始する。気密検査及び漏えい試験、入居者の最終検査を完了して終了した(13時2分)。 原因は、設備業者が排水管敷設ルートのアスファルトにカッターを入れた際、アスファルトの厚さを十分に確認せず、ガス配管の埋設深さを越えられたことでカッターの刃の深さを設定し、作業にあつたことによるもの。	供給管(塩化ビニル被覆鋼管(本管(埋設部)))	不明	不明	(株)JNAアーク中部	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・他工事事故対策にあり、経済産業省発行の「LPガスをお使いの皆様へ」リーフレットを2021年7月に消費者に向けてポスト投函した。 ・今後も他工事事故防止を継続して啓蒙する。 ・周知の徹底を指導した。
2022/9/2	神奈川県相模原市	C2級	漏えい・爆発	共同住宅	10:30	販売事業者	風呂釜への点火ミスによる漏えい爆発	2022年9月2日(金)10時30分頃、販売事業者社員が供給開始時点検・調査の際、風呂がまの点火確認を行ったところ着火しなかったため、繰り返し点火操作を行った。その着火火し、シャワーにてお湯が出たことを確認。消火後、爆発音が出て風呂がま側面に変形した。事後、メーカーが風呂がまの燃焼室での圧力保持による漏えい検査を実施し異常が無いことを確認した。当該燃焼室は接続部を外し使用停止するとともに回収した。ガス機器製造メーカーに調査依頼をかけた。調査したところガス機器本体に異常は認められなかった。原因は、繰り返し点火操作を行った為、器具内部に未燃焼ガスが溜まり、異常着火したものと推定される。	風呂釜(BF式)	パナソニック(株)	TP-A85K	日本瓦斯(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・社員に対して、着火しない場合は繰り返し点火操作せず、確実に時間をあけてから10〜20秒程度操作するよう教育を実施した。 ・屋外式設備への取付を促進した。 ・事故原因を指導するよう指導した。
2022/9/4	鳥取県倉吉市	C2級	漏えい	飲食店	14:00	販売事業者	気化器の安全弁からの漏えい	2022年9月4日(日)14時 付近の歩行者より、ガス臭がして広い煙が見えると警察に通報あり。14時15分 警察署の連絡で、販売事業者が現場に到着すると、気化装置の安全弁よりガスが放出しているを確認した。安全弁バルブを閉止しガスの放出を停止した。14時20分 現場の警察官と消防士にガスの放出が止まったので、危険がないことを相互確認して、警察官と消防士は撤収。バルク貯槽の液取り出し弁を閉止。気相にてガス供給した。14時30分 応接の社員1名が合流し、屋外の配管類のガス漏えい及び滞留残ガスの有無を確認する。15時30分 敷地内が異常のないこと、バルク貯槽液取り出し弁閉、気化器入りバルブ閉、を確認し撤収。原因は、気化器本体の、気化圧力調整弁の異常により、気化装置内の圧力が上昇し、安全弁設定圧力0.96MPaを越えてしまい、ガス流出に至ったもの。なお、何故、気化圧力調整弁の異常になったのかは不明。(バルク貯槽498kg×1基)	気化器	先端エナジーシステム(株)	VP-S30W	鳥取瓦斯産業(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ運動) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・気化器は、2013年11月に使用開始。その後、バルク供給設備点検時(9ヶ月毎)にバルクの貯槽の点検に合わせて、気化器の各種ゲージ類数値異常の有無をチェックしている。 ・2017年9月メーカーの点検検査を受けている。 ・2019年に、今後の店舗増に対応するため、容量30kgから50kgへの入替を検討したが、コロナ禍の影響で需要が減少し始め、入替を先延ばしにしていた。 本気化器は製造から来年で10年となるため、これを機に新しく入れ替えることとする。 ・事故情報収集と産業保安監督部への報告 ・再発防止等について指導
2022/9/5	三重県伊賀市	C1級	漏えい・火災 軽傷1名	飲食店	6:53	一般消費者等	燃焼器用ホースの接続不良による漏えい・火災	事故前日に消費者がフライヤーに接続された燃焼器用ホースを外して洗浄し、乾いてから再度フライヤーに接続してその日は帰宅した。事故当日、当事者が出勤し、フライヤーを使用するため、ガス栓を付けて5分程度放置したのち、点火ツマミで点火したところ、フライヤーの左下部燃焼器用ホース接続部から火出し、操作していた当事者が右手に軽いやけどを負った。火は2、3秒後には鎮火した(ガス警報器作動によりガスメーターの遮断が機能したと思われる)。なお、ガス栓を付けて5分放置していた時に、当事者はガス臭いことには気づいており、ガス警報器も鳴っていたが当事者はガス警報器の音は気づかなかったとのこと。一次原因は、消費者が事故前日にフライヤーに接続された燃焼器用ホースを接続したときに、接続状態がよくなかったことによるもの。二次原因は、消費者が、事故当日にガス臭いことに気づきながらも点火ツマミを回してしまつたことによるもの。	燃焼器用ホース	日東工業(株)	不明	(株)JA全農みえサービス	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ運動) ・CO警報器あり ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・器具の使用方法について、店長らによる従業員教育を実施。 ・消防本部に火災認定の有無を確認(火災認定なし)
2022/9/6	長野県長野市	C2級	漏えい	一般住宅	13:48	一般消費者等	消費者が対し漏れで除染作業中に誤ってガスフレキシブル配管を損傷し、ガスが漏えいした(推定漏えい量0.8m)。換気箇所はガスメーターの下流で、消費器具(給湯器、トイレインコ、ファンヒーター等)へ繋がっている配管である。配管損傷後すぐに消費者が調整器下の弁を閉止した。また、販売事業者へは圧力低下通知の連絡が入り異常を告知したので、消費者へ電話連絡及び現地を訪問し、在宅中であった消費者に経緯を確認すると共に現場の状況を確認した。原因は、消費者が対し漏れで除染作業中に誤ってガスフレキシブル配管を損傷したことによるもの。	配管(配管用フレキシブル管(露出部))	不明	不明	(株)セリタ	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・消費者が目視しやすいよう、ガス配管を従来の位置より高い位置に設置した。 ・事故状況の情報収集 ・販売事業者の再発防止対策の確認	
2022/9/7	埼玉県春日部市	C2級	漏えい	一般住宅	13:20	他工事業者	他工事業者(解体業者)による埋設供給管の損傷による漏えい	2022年9月29日(月)空家の解体工事にあたり解体工事請業者からの要請により現地確認・打合せを実施。ガスメーターの取り外し、埋設管位置の確認(道路打ち込みの埋設管位置表示を基準に埋設管の引込箇所と敷地内立上り箇所を説明)、作業(基礎部解体時は事前連絡をいたし、立上りを行う旨を説明した)を待った。9月2日(金) 販売事業者社員が巡回に行った際、外国人作業員が建物の解体作業を実施していた(事前連絡なし)。販売事業者社員が状況を見て危険を察したため、作業員に再度埋設管位置を確認してもらい、当日の作業が完了するまで立上りを行う。解体工事請業者に連絡し状況を説明。基礎部解体の際には「事前連絡」を要請し、立上りを行う旨を説明して再度了承を得た。9月7日(水) 10時00分頃 解体工事下請業者の外国人作業員より販売事業者へ、9月8日(木)午後早めでの現場立会の要請の連絡あり。13時50分頃 販売事業者社員1名が現場到着。破損箇所の確認(敷地の埋設管(引込管)立上り部のメカニカル継ぎ手部分が破損していることを確認。解体工事下請業者の作業員により応急処置が行われていたが、完全にガスが止まっていなかったため、小規模専管供給地域全体の供給停止を判断。14時00分頃 応援のため販売事業者社員2名が現場到着。破損箇所の再確認後に供給設備内の容器バルブ等を開閉して供給停止を実施。供給停止を判断後、破損箇所でのガス漏えいが止まった事を漏えい検知液及びガス検知器にて確認した。一次原因は、解体業者(他業者)による掘削作業(建物基礎部解体作業時の作業ミスによるもの)。 ・埋設ガス管位置未確認下での作業開始 ・要注意箇所(上水道管・ガス管敷設範囲)での手振り未実施(機械掘りのみ) 二次原因は、事前協議により、解体実施期間と立上り日時、ガス管理設備の確認まで実施していたにもかかわらず、実際に解体工事を行う下請業者には十分に情報が伝わつたこととより解体業者(掘削)下請け共に埋設ガス(活管)の危険性についての認識が著しく低く、かつ、他業者との取り決めについて軽視する自己都合優先傾向にあったことによるもの。	供給管(ポリエチレン被覆鋼管(本管(埋設部)))	不明	不明	河原実業(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンなし ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・本件事故事例を含め、他工事事故の発生状況について改めての保安教育の実施 ・本件事故事例情報について販売事業者内での共有化並びに他工事事故に関する保安教育の実施 ・他工事業者に対して埋設ガス管の危険性についての周知徹底 ・事業地域での巡回頻度を強化し、他工事実施予定状況可能な限り事前に把握するよう努める ・事故報告書の提出を指導
2022/9/9	滋賀県栗原市	C2級	漏えい	飲食店	15:52	一般消費者等 ガス工事業者	消費者による配管の損傷による漏えい	消費者の動きによりエアコンドレン管を切断しようとして配管用金属フレキシブル管(25A)を損傷させガス漏れが発生した。EBメーターが圧力低下遮断しLPガスからの発報を集中監視センターが受信し販売事業者に連絡があり出勤した。原因は、消費者による動きからの配管損傷によるもの。	配管(配管用フレキシブル管(露出部))	不明	不明	(株)東山	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・消費者へのガス配管経路の周知及びガス配管への「LPG配管」の表記
2022/9/9	滋賀県近江八幡市	C2級	漏えい	飲食店	5:00	一般消費者等	表線ガス栓の閉め忘れによる漏えい	近所の方がガス警報器が鳴っていることと消防へ連絡。2022年9月9日(金)5時00分事故発生。2022年9月12日(月)に消費者より連絡を受け付け用目録の分別処理依頼書。3台設置であるガス警報器1台が作動。1台は通報後手付け付近のため不作動。消費者が消防の立ち合いのもと室内に入り確認すると建物コンロツマミが微小開放状態で微小漏えい。ガス臭は感じられなかったこと。17時00分以降は無人員である。ヒューズコックを閉め忘れ調査中の清掃中コンロのツマミに触れたような記憶があるとのこと。一次原因は、ヒューズコックの閉止忘れによるもの。二次原因は、燃焼器(建物コンロ2基)バルブ閉閉ツマミの誤開閉によるもの。	表線ガス栓(2口ガス栓(使用側))	(株)藤井舎金製作所	不明	日本ガス工業(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ運動) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・消費者への安全確保対策の徹底、警報器の位置変更や取り外しはしないよう注意、設備済ガス警報器の点検指導 ・ガス警報器の位置変更、使用状況にもよるがガスメーター交換時に4号メーターへ仕様変更し加減設定などで対応予定。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/9/22	栃木県宇都宮市	C1級	漏えい爆発	共同住宅	23:25	一般消費者等		2022年9月25日(日)23時25分頃、販売事業者に、消費者から瞬間湯沸器を点火させたところ爆発着火したとの通報あり。販売事業者が到着するまで、ガスを使用しないよう依頼し、出動。同日23時50分頃、現場到着。瞬間湯沸器本体の前面カバー及びパイプシャフト内に設置する瞬間湯沸器の前面の一部変形していることを確認。ガス配管の漏えい検査を実施し、漏えいがないことを確認。瞬間湯沸器とガス管の接続を外し、ガス管にプラグ止めを行い、瞬間湯沸器を使用できないようにした。 9月28日(月)、瞬間湯沸器の製造メーカーに、原因究明のため、調査を依頼した。 10月20日(木)、製造メーカーから調査結果の報告あり。機器自体には、明確な問題は確認できず。 一次原因は、瞬間湯沸器が点火不良を起こし、爆発発生したと推定される。 二次原因は、瞬間湯沸器の経年劣化(1993年1月製)によるもの。	瞬間湯沸器(屋外式)	パーバス(株)	TP-SQ160R-1(1993年1月)	(株)エネコル	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・経年劣化した燃焼器具(製造から10年以上経過している燃焼器具を所有している消費者)による点検の不足を行う。 ・販売事業者に対し事故後の提出を指示し、ヒアリングの上、再発防止策の徹底を指示した。
2022/9/25	愛知県豊田市	C2級	漏えい火災	共同住宅	16:00	一般消費者等		消費者がガステーブルで調理を始めると、家庭ガス栓であるロヒューズガス栓の使用法を間違っていた。ガステーブル左右のバーナーを使用するにあたり、右バーナーを使う時は右のガス栓を開き、左のバーナーを使う時は左のガス栓を開いて使用していたと思われるが外国の方で日本仕様と誤解していた。未使用の左側ガス栓にゴムキャップおよびガス栓カバーは無く、ガス栓出荷梱包時にある様な保護キャップが付いていたのみ。その状況でガス栓を開いたためロヒューズも動かし、微量のガスが漏えい、テーブルコンロの火に引いた。発火後は消費者が消火器で鎮火。その後ガス栓も閉止した。 一次原因は、ガステーブル使用時のロヒューズ、未使用方法の誤解によるもの。 二次原因は、未使用方法にガス流出を防ぐ術が無く、ガスが流出したことによるもの。	末端ガス栓(2口ガス栓(未使用側))	(株)日豊	不明	三河商事(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・現場対応時にガス栓を1口へ変更すると同時にON/OFF式に交換。 ・事故後の提出及び再発防止の指示
2022/9/29	鳥取県鳥取市	C2級	漏えい	一般住宅	10:30	他工事業者		2022年9月29日(木)10時30分頃、外構工事中にガス管を掘って重機で引っかけ破損させた連絡が入る。同日10時40分ごろ従業員1名が現場へ到着し破損箇所の確認。埋設配管(ポリエチレン管)の末端キップ付近からガス漏れを確認した。直ちにスワイズオプによりガスを遮断し、破損箇所の修理を手配した。11時ごろに修理完了。漏えいの有無を確認し作業を終了した。 原因は、外構工事から配管の埋設の深さ、打合せ等はないままの作業であったことによるもの。 なお、当該当物件は宅地造成の敷金返付で集団供給が行えるよう当該地区にガスの引込管を敷設していた地域だが、建築の際オール電化の住宅も多量あり、自宅敷地内まで供給配管の引込がなされている情報があるが、案件も引込はされているが、オール電化のためガスの供給開始はなかった。 (バルク貯槽990kg×1基)	供給管(ポリエチレン管(本管(埋設部)))	不明	不明	智頭石油(株)鳥取	・ガス放出防止器あり ・マイコンなし ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・今回は、引込の目印ピン等、目録でもガス管がわかる構図が作成されていたが、肝心の事前打ち合わせがない状態での作業であった為事故に至った。改めて埋設等の該当する一般消費者に、ガス以外の外構工事にはガス管等の有無を確認してご連絡頂くよう周知するとともに、他工事業者への事前連絡を行うべくご説明した。また、当該等地域のガス配管の引込についてはお知らせできない旨もご説明した。 ・情報収集及び発生後安全監督部への報告 ・外構工事等の場合は、他工事業者及び一般消費者等と綿密に連絡を行うよう指導した。
2022/10/3	愛知県西尾市	C2級	漏えい	一般住宅	16:00	他工事業者		2022年10月3日(月)16時頃、消費者宅内のスロープ工事中、コンクリート新り機で埋設ガス管15Aを破壊(約5mm程度)した。 16時10分 販売事業者へ外構工事会社から、ガス管をキズ付けたと連絡あり。 16時30分 販売事業者社員が現場へ到着。現地のガスメーターはすでにガス止め状態。 16時40分 修繕及びガス供給を再開し、復旧完了。 原因は、消費者の敷地内で外構工事会社が、埋設ガス配管の経路を確認せずに地面に新り機を使用したことによるもの。	配管(白管(本管(埋設部)))	不明	不明	東邦液化ガス(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・事故後の提出を指導
2022/10/6	長崎県佐世保市	C2級	漏えい火災	共同住宅	9:24	他工事業者		2022年10月6日(木)午前9時24分以下水道工事業者より販売事業者へ埋設管(供給/ポリエチレン管)を破損したとの連絡が入り現場へ急行。午前9:35分、販売事業者が現地到着し埋設管の損傷を確認。また、漏えいによる小規模火災が起きたが、販売事業者が到着時には他業者の消火活動により鎮火していた。 水道工事業者により、所轄消防・警察へ連絡。 一次原因は、水道工事業者が掘削作業中に重機で埋設管(供給/ポリエチレン管)に接触させ損傷させた事によるもの。 二次原因は、水道工事業者が掘削作業前に販売事業者に事前連絡していなかったことによるもの。 (バルク貯槽498kg×1基)	供給管(ポリエチレン管(本管(埋設部)))	不明	不明	(株)エコア	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・市水道局と連携して、掘削作業がある場合は、LPガス販売事業者への事前連絡を再度周知の徹底して掘削損傷事故を未然に防止する。 ・事故情報の収集及び工事発注者である市への事前連絡依頼について指示
2022/10/7	長野県伊那市	C2級	漏えい	共同住宅	15:30	販売事業者		集合住宅(アパート)の近隣住民からガス臭いと警報経由で販売事業者に通報があった。販売事業者が現場で確認したところ、調整器とガスメーターの間のエルボー継手部分から漏えいが認められた。販売事業者が漏えい部分について修理点検を行った。 原因は、不明。	供給管(保護白管(継手部(露出部)))	不明	不明	伊那燃料(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンEあり ・ヒューズガス栓不明 ・自動ガス遮断装置不明 ・CO警報器不明 ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器不明 ・業務用換気警報器不明	・点検調査を確実に行う。 ・事故後の提出
2022/10/10	広島県広島市	C2級	漏えい	共同住宅	11:30	他工事業者(水道工事業者)による埋設配管の損傷による漏えい		2022年10月10日(月)11時30分頃、水道工事業者が下水道作業中、ショベルにて掘削中にガス埋設配管(供給側白管15A)を引っかけたことが原因で、ガス漏えいが発生した。 [経緯] ・11時32分頃 保安機関へ連絡があったため、すぐさま通報者に連絡をし、容器バルブ閉止を指示。 ・11時55分頃 現場到着。損傷部品を確認。 ・12時50分頃 破損箇所復旧完了後、気密試験を実施。 原因は、会社及びオーナーから工事を依頼、販売事業者への事前連絡及び事前打合せが無かったことによるもの。 なお、容器検査上り後の漏えい点検は異常なしとなっている。容器交換時等の点検も異常無しを確認済み。	配管(白管(本管(埋設部)))	不明	不明	伊藤忠エクスポート(株)西日本	・ガス放出防止器あり ・マイコンなし ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・工事着工前に現場打合せを行うため、物件大家・物件管理会社・下水道局等へ周知・案内を行う。 ・工事業者については、市を通じて行う。 ・埋設配管についても経年数を確認し、露出配管に変更していく。
2022/10/12	福井県越前市	C2級	漏えい	共同住宅	9:08	他工事業者(舗装工事業者)による埋設供給管の損傷による漏えい		2022年10月12日(水)9時08分 舗装工事業者から販売事業者に電話が入り市営住宅の耐震工事でガス収納庫付下のカウンター切り込み作業中、ガス管を切ってしまったと連絡が入る。ガス収納庫扉の鍵が施錠してありガスを止められないため、所員2名を緊急出動。舗装工事業者や工事を発注した市から工事に関する事前連絡はなかった。 9時35分頃現場到着。カウンター切り込み部からガス漏えいしており供給停止の上、現在供給中の7戸の消費者に対して緊急のガス停止の説明。その後10時47分7戸の消費者の緊急ガス供給の準備の上、10月12日(水)中に7戸の消費者宅は別別供給とした。 11月2日(水) 市が修繕作業を行い、損傷箇所を復旧した。 11月9日(水) 販売事業者が修繕箇所の配管漏えい検査を実施の上、7戸の戸別供給のボンベを外しガス収納庫からの供給に戻した。 ※市はガス管が埋設されていること把握していたが、布設管の記録がなく具体的な埋設位置や深さは把握していなかった。業者にもガス管が存在するかどうかを伝えていた。ガスは市の上から約17cmの位置にあり、アスファルト・コンクリートにより10cm程度保護覆いを切開したため、管を破損した。 原因は、他工事業者による、埋設ガス管位置未確認によるガス管損傷によるもの。	供給管(ポリエチレン管(埋設部))	不明	不明	ENEOSグループエナジー(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・他工事業者や消費者に対し、工事を施工する前は必ずガス管等についてガス事業者と確認する事前の周知を徹底する。既に他工事周知を実施しているが、今回の市役所に対しては周知は対象先から外れてしまったので、今一度対象先を再通知し今後同様な事故が発生しないようにする。 ・市内販売事業者に対して、工事業者や消費者が工事を施工する際は販売事業者と事前に連絡を取れる体制を整えることを周知した。 ・販売事業者を通じて市役所に問い合わせを行い、来年度〜3月ごろにガス管の埋設位置を現在より深くする工事をを行うことを確認した。併せて、市役所で発生している事故について注意喚起を依頼し、事故の再発を防止するための切断工事を行う際は管のルート・土質について事前に調査することを確認した。
2022/10/14	岐阜県岐阜市	C2級	漏えい	学校等	11:00	一般消費者等		2022年10月14日(金) 11時00分 ガス警報器鳴動により、学校から販売事業者へ通報あり。 11時20分 販売事業者の社員が現場へ到着。 17時00分 定尺フレキを交換し、漏えいがないことを確認して復旧完了。 17時30分 自動金庫検漏の定尺フレキより、ガス漏れを検出。家庭ガス栓を閉止し、定尺フレキ取り外し後にプラグ止めにて一時的に処理。 17時40分 定尺フレキを交換し、漏えいがないことを確認して復旧完了。 一次原因は、回転釜に接続されている定尺フレキの振動疲労による亀裂発生により発生したものと推定される。 二次原因は、当該回転釜の経年不良(回転ドラフト不良)があり、通常発生しない振動が生じた可能性が推定される。	金属フレキシブルホース	タマフレックス工業	LMAS-200	東邦液化ガス(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンSDあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ検出) ・CO警報器あり ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・亀裂の発生した定尺フレキは交換済み。残り4口の回転釜の定尺フレキも早期に交換するよう学校で検討中。 ・処置完了後、情報提供があったため、措置なし。
2022/10/19	佐賀県佐賀市	C1級	漏えい火災	一般住宅	11:20	他工事業者		戸建集合供給している消費者の内、空き家になっている箇所リフォーム業者が供給配管を掘ってグラウンダーで切断。その際発生した火花に引火し、火災が発生した。 なお、販売店職員が現場について、既に近隣住民の方より集合設置のロックが閉められ、ガスの供給は停止していた。 また、消防・警察の現場検閲直前に一旦切断箇所をメタル加工し、供給を再開している。 原因は、リフォーム会社が確認せずの配管を切断させたことによるもの。	供給管(ナイロン被覆鋼管(本管(露出部)))	不明	不明	(有)末次石油ガス	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・空家であっても、ガス配管を変更する場合は連絡するよう改めて周知を行う。 ・情報収集、詳細な報告指示

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/11/3	神奈川県 大和市	C2級	漏えい	一般住宅	15:27	他工 事業者	他工 事業者(外 構工事業者) による埋設配管の 損傷による漏え い	2022年11月3日(水)、家庭用戸建住宅1戸において、ファン設置工事中の工事業者から、誤って重機で消費配管(埋設管)を損傷させたとの連絡が入った。販売事業者の担当者が現地に急行し現場確認を行ったところ、既に中間ガス栓が閉止されていた。工事会社による、誤って重機で消費配管を損傷させたこと、工事を中止し、即座に中間ガス栓を閉止したとのことであった。安全確認を行い、配管の損傷の復旧後、後日行方とした。 2022年11月8日、販売事業者の担当者が、損傷した配管を撤去し、新たに配管を施工した。 なお、ガス漏えい量は、0.0033分(約1分)と推定されている。 一次原因は、工事業者の重機の操作ミスによるもの。当該工事業者は、ファンの基礎を設置していたところ、誤って重機を当該配管に当て損傷してしまっ た。 二次原因は、消費者が工事を実施する際に、販売事業者への相談・照会をしなかったことによるもの。	配管(被覆銅 管(埋設部))	不明	不明	中央液化ガス (株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・消費者に対し経済産業省の啓蒙チラシを手交し、事故防止を周知する。また、可取限あり、場合によっては販売店の担当者が立ち会ふ方針とした。 ・立入検査中に、本品について告知したため、今後、LPガス事故について確實に第一報及び事故届を提出するよう指導した。
2022/11/5	広島県 呉市	C2級	漏えい	一般住宅	13:25	販売事 業者 保安機 関	販 売 事 業 者 保安機 関	2022年11月5日(土)にガスが付かないと販売事業者に対して電話があり、販売事業者が現地確認したところ、20kg×2本容器が両方とも空になっていた。自任圧力計で漏えい検査を行うとともにガス漏れ検知器でリークチェックを行うがガス漏れは確認されなかった。同日、20kg容器1本を撤去、11月9日(水)に残りの20kg×1本容器を取替、引き上げ容器は11月11日(金)に販売事業者の充填所へ移動。 11月16日(水)に販売事業者から引き上げた容器の内1本の容器バルブから、ガス漏れしているとの配送センターへ連絡があった。 11月17日(木)に配送センターから当該容器バルブからガス漏れが有ったと連絡があり、容器を詳しく確認したところ、容器と容器バルブのねじ接続部からガス漏れ箇所を確認した。 原因は、容器と容器バルブのねじ接続部からガス漏れが認められたため、容器バルブへの負荷・緩み・破損等によりガス漏れしたと推定される。 なお、容器検査時はガス漏れなし。	容器バルブ	不明	不明	広島ガス販 売(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・保安点検時にガス漏れ検知器でリークチェックを行う。 ・毎月検針時の臭気状況確認を再徹底する(二重チェックの導入等)。
2022/11/7	兵庫県 神崎郡 福崎町	C2級	漏えい	一般住宅	11:15	他工 事業者	他工 事業者(建 設工 事業者) による埋設供給管 の損傷による漏え い	一般住宅約40戸に1か所のボンベ庫からガス供給を行う分譲住宅地で、1件の家屋を解体していた建設業者より「ガス配管を損傷させてしまいガス漏れしているとの連絡を受け現場訪問。当物件は7～8年前からオール電化でガスを使用しており、ガスメーターも撤去済み。解体業者が行っていた作業員もガス配管の存在を認識しておらず重機により配管を損傷させてしまった。第一報を受けたおよそ20分後に販売事業者が現地訪問し、ボンベ庫の中間コックを閉めガス供給を止め安全を確保したのち配管改修作業に取り掛かった。約1時間半後改修、漏えい検査が完了し全戸へ再供給し作業終了した。 一次原因は、解体業者の不注意による配管損傷によるもの。 二次原因は、過去(7～8年前)にオール電化にされておりガスメーターを撤去、中間コック及びプラグ止めでガス閉止していたため解体業者がガス配管の存在を認識できていない事に関与しているもの。 なお、販売事業者の事務手続きもメーター撤去時にコード抹消、消費者各機一部破壊していたため、今後改善を要するとのこと。	供給管(白管 (継手部(埋設 部)))	不明	不明	三木産業(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンなし ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・40戸のうち約10軒がオール電化に伴いでガスを閉止しており、そのうち4戸がメーター撤去されているため、今後物件所有者変更や空家解体時にガス配管の存在がわかりやすいよう明記する手段を検討し実施していく予定。 ・対策を実行し、再発防止に努めるよう指示。
2022/11/7	広島県 広島市	C2級	漏えい	共同住宅	14:48	他工 事業者	他工 事業者(リ フォーム工 事業者) による配管 の損傷による漏え い	2022年11月7日(月)に、103号室の物件所有者兼入居者より販売事業者に対して、ガス臭がするとの連絡があり、現地確認を実施。103号室で漏えいを確認。ガス供給停止後に床下より給湯器ラインとコンロラインごとに漏えい箇所の経路を調査した結果、コンロラインで漏えいを確認。給湯器ラインの異常無しを確認後、コンロラインの配管の切り直しを行い復旧を実施。 11月8日(火)に、103号室でリフォーム工事を実施していたため、当該物件のリフォーム業者にて隠蔽部の配管確認のため、リフォームを行った場所の壁を叩き損傷を要。結果、2箇所タッカーで固定した際、フレキシブル配管を損傷させ数滴漏えいに至ったことが判明。損傷した配管を撤去し再施工を行い、気密・漏えい試験共に異常無しを確認し、完全復旧した。 原因は、他工事による配管損傷によるもの。	配管(白管(本 管(隠し部)))	不明	不明	ENEOSグ roup エナジー (株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・物件所有者、取引不動産会社及び取引建築会社への他工事事故防止の周知活動を実施。
2022/11/7	栃木県宇 都宮市	C1級	漏えい火災	一般住宅	1:03	一般消 費者等	ゴ ム管の亀裂による漏えい火災	2022年11月7日(月)1時03分頃、消費者がテーブルコンロの点火操作を行ったところ、ヒューズガス栓とテーブルコンロを接続するLPガス用ゴムの電線からガスが漏えいしコンロの火に引火、事故に至った。この火災により当該漏えい箇所近傍に設置されている硬質管が損傷し復旧が解消した。 原因は、LPガス用ゴムホースの経年劣化により表面に亀裂が発生しガス漏えいに至ったものと推定される。	ゴム管	不明	不明	日本瓦斯(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・LPガス用ゴムホースを新品のものへ交換し、傷損した硬質管の再配管を行った。併せてガスの使用者に対し、ガス栓・接続具・燃焼器具等は定期的に点検清掃や交換を行い、劣化や故障、異常を発生し際には使用止めで速やかに販売事業者と連絡するよう周知・説明を行った。 ・販売事業者に対し事故届の提出を指示し、ヒヤリングの上、再発防止策の徹底を指示した。
2022/11/9	愛知県小 牧市	C2級	漏えい	一般住宅	9:45	販売事 業者	調 整器と高圧 ホースの接続不 良からの漏えい	2021年11月7日(木)新接ガス供給開始に伴い、調整器交換を実施。その後、他物件から回収した、既に組み立ててある調整器(中古)を使用。施工後の検査は、供給開始時点検調査の電気式ダイヤフラム目視計による漏えい検査と、調整器全体を含むガス供給設備の検知液による点検を実施したが、異常はなかった。 2022年11月9日(水)9時40分 配送を委託している配送員より、調整器左側の高圧ホース接続部からガスが漏れしているとの連絡あり。同日10時00分現場へ緊急出動し点検を実施。その結果、調整器と高圧ホースの接続部からガス漏えいを発見した。その場で接続部を増し締めし、その後、改めて検知液で「漏えい無し」を確認。10時30分応了。当日以降の配達委託者からの異常報告では異常発生は無く、前日配達日から自由に至るまで、調整器と高圧ホースの接続が容器交換時の作業で緩み、ガス漏えいが発生したと考えられる。規定漏えい量(40kg、前日配達日(2022年4月19日(火))から当日までの期間は24日。 原因は、供給開始時点検調査時及び前日配達時点検においても異常はなかったが、前日配達時から当日に至るまでの間に、調整器と高圧ホースの接続が容器交換等の作業で緩んだ可能性があり、ガス漏えいが発生したと推定される。	①調整器(自 動切替式) ②高圧ホース	①(株)桂精機 製作所 ②(株)桂精機 製作所	①CABA(2019 年5月) ②不明(2019 年5月)	(株)エネア ク中部	・ガス放出防止器あり ・マイコンSBあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・今後、中古の調整器を使用する際は、高圧ホースを一度取り外し、再度接続する事によって、ホース接続部の緩みがないよう徹底する。 ・事故報告を提出するよう指示した。
2022/11/10	岡山県岡 山市	C2級	漏えい	飲食店	9:30	一般消 費者等 販売事 業者	業務用コンロの 器具コックの劣 化による漏えい	2022年11月9日(水)21時31分頃、消費者からの1週間ぐらいコックを閉めているのにガスが匂いするとの連絡があった。日中に点検に来て欲しいと連絡があり、11月10日(木)9時頃現場担当者が電話をかけ、9時過ぎ頃別の担当者が現場へ到着。9時15分頃担当者Aが合流して調査を開始した。消費設備の漏えい検査を行ったが圧力値が下がるので二重巻きコンロのヒューズガス栓を閉め再度計測した。結果、圧力値が低下しなかった。当該ヒューズガス栓を開き、二重巻きコンロをガス検知器で調査したところコンロの器具コックは閉めているのに器具の一次空気取り入れ口付近からガスの反応があったため、二重巻きコンロからの漏えいと判断し、当該ヒューズガス栓を閉め使用を止めよう消費者と説明をした。消費者はコンロは使わずが入ったところへ本日中に連絡して貰い替えるとのことでした。念のため、他消費機器もガス検知器で確認し入反応が無いこと確認して現場を離れた。(10時40分頃) 一次原因は、経年による器具の化により器具コックの閉まりが悪くなっていることと推定される。 二次原因は、長年使われていたため調味料等の影響で腐食が進んでいることによるもの。	二重巻きコン ロ	(株)マルゼン	不明	浅野産業(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンEあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ運動) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・年数が不明なほど古い器具については使用に負を付けてもらうことに加えて事故に繋がりやすいことなどを説明して早期の更新を進めていく。 ・情報収集
2022/11/11	愛知県日 進市	C2級	漏えい	一般住宅	10:00	他工 事業者	他工 事業者(リ フォーム業 者)による供給管 の損傷による漏え い	2022年11月11日(火) 10時頃、リフォーム業者が手摺り取付のため土間コンクリートに穴を開けたところ、埋設ガス管を損傷しガスが漏えい。 10時45分、リフォーム業者から販売事業者の営業所へガス管を損傷したと連絡が入る。 10時49分、連絡を受けた営業所より警報装置等に連絡が入る。 11時10分、現場到着。状況確認(ガスメーターは安全装置によるガス止め状態)。ガス工事業者を手配し18時に復旧完了。 原因は、消費者の敷地内でリフォーム業者が、埋設ガス配管の経路を確認せずに土間コンクリート穴開け作業を行ったことによるもの。	配管(ビビ ニル被覆銅管 (埋設部))	不明	不明	東邦液化ガス (株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・消費者へ、ガス配管の埋設してある箇所を説明し、ガス配管の埋設付近で作業をされる場合はガス会社へ連絡するように周知した。 ・リフォーム工事会社へガス配管の埋設付近で作業をされる場合はガス会社へ連絡するよう周知した。 ・事故報告書を提出するよう指示した。
2022/11/14	千葉県柏 市	C2級	漏えい	一般住宅	10:40	他工 事業者	他工 事業者(解 体工 事業者)に よる埋設供給管 の損傷による漏え い	2022年11月14日(月)集中配管方式で供給している地区にある、現在空き家となっている区画にて、家屋の解体業者が重機でガスメーターまでの配管に乗り上げて、ガス配管が宙吊り、エルボ部からガス漏れした。 10時40分 解体業者から埋設配管を引っ掛けず埋めたいと連絡が入る。 10時43分 販売事業者より出動。 11時08分 現場到着。ガス配管エルボ部からガス漏れを確認。漏えい箇所の修繕が行(粘土とビニールテープにて応急処置) 11時35分 漏えい試験を実施。漏れのないことを確認。 11時40分 供給(30分)へ直接供給を行い、ガス使用開始案内をして完了。 11月15日(火)14時00分 本復旧工事を完了。気密検査を実施。 一次原因は、重機で建物解体作業中に配管に乗り上げたため、ガス配管のネジ部に亀裂が入り、ガスが漏れしたという。 二次原因は、解体業者がフロンガスの個別供給と想定済み、シンナー撤去済みであると判断して販売店への連絡をしなかったことによるもの。	供給管(ポリエ チレン被覆銅 管(継手部(埋 設部)))	不明	不明	アイエスジ (株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンSBあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・各販売所に情報共有を行い、集中地帯等で工事業者等を見かけした時に工事内容のヒヤリングを行い各販売所で情報共有を行い事故防止の徹底を指示する。 ・「ガス閉栓(1)をガスメーターに取り付けて他工事と周知をする。 ・事故届書の提出を指示

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/11/14	栃木県 くま市	C2級	漏えい	一般住宅	11:00	販売事 業者 他工事 業者	他工事業者(下水道工事業者)による埋設配管の損傷による漏えい	2022年11月14日(月)11時05分、工事業者より販売事業者に、埋設管を損傷したためバルクの完栓を求めた連絡が入り、現場へ出勤した。(事前立会時バルク栓の閉め方を教えていた)11時20分、販売事業者担当者が現場に到着し、バルクの完栓が閉鎖されている事を確認。埋設配管(ポリエチレン管)を潰して損傷させていることを確認した。事故発生場所がある分譲地は、バルク貯槽最大貯蔵量980kg)による一括供給のため、埋設管による入宅へのガス供給となっている。(供給件数:2022年11月1日(火)現在供給件数12件)事故発生場所は、2009年2月ガス供給契約、2010年2月12日(金)オール電化へのガス供給開始(地盤内にもガス配管が敷設されている)の建物である。その後、非常時に使用する専有部へのガス配管は地盤内に敷いてあった。契約対象外より保安業務は実施していない。(記録無し)工事担当者からの聞き取りより、掘削作業中掘って重機のカットで埋設配管(ポリエチレン管)を押し潰し損傷させてしまったことを確認。漏れの程度は潰れた部分の角から微量で、屋外のガスが溜まる事がなかった。使用者から今後非常時に使用する事もあったため、埋設管修理を販売事業者に依頼、14時30分頃にポリエチレン埋設管の修復工事が完了した。 なお、バルクの完栓のため、同一バルク栓の完栓後にガス配管を埋め戻す事が必要であった。埋設管修理後、バルク栓の完栓作業中に、掘削機による掘削作業により、埋設配管が損傷してしまっただけで、埋設管と現状の敷地内の埋設管にズレがなかったため、掘削工事重機のカットで埋設管を破損してしまっただけによるもの。 (バルク貯槽980kg×1基)	供給管(ポリエチレン管(埋設部))	不明	不明	(株)JAエールポート	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・販売事業者は、事故防止の為、ガス埋設管周辺を掘削工事時、現場立会いを行うこととした。 ・販売事業者に対し、事故原因の提出を指示し、ヒアリングの上、再発防止策の徹底を指示した。
2022/11/17	宮崎県 都城市	C2級	漏えい	共同住宅	13:45	一般消 費者等	自動車の衝突による配管の損傷による漏えい	事故発生物件(共同住宅)の居住者が、駐車場で運転操作を誤り、バルク貯槽周囲に設置されたフェンスへ衝突した。その結果、フェンスが押され、その影響でガス配管及び付帯バルブが破損し、ガスが漏えいした。販売事業者が消防からの通報を受け、消防に対し、バルク側のバルブの閉止と、漏えい部(テーパーを巻く)を指示し、漏えいが停止した。 なお、ガス販売事業者が2022年11月17日(水)13時55分に現場に到着して補修を行い、14時45分に完了した。 原因は、自動車の衝突による配管の損傷によるもの。 (バルク貯槽498kg×1基)	供給管(白管(継手部(露出部)))	不明	不明	宮崎液化ガス(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・販売事業者が消防からの通報を受け、消防に対し、バルク側のバルブの閉止と、漏えい部にテーパーを巻くことを指示し、漏えいが停止した。 ・ガス販売事業者は13:55に現場に到着して補修を行い、14:45に完了した。 ・販売事業者に対し、設備の早期復旧を指示した。また、事故の詳細を聞き取り、産安保安監督部へ連絡した。
2022/11/19	富山県中 野川郡上 町市	C2級	漏えい	一般住宅	18:00	販売事 業者	器具ガス栓と燃焼器の接続不良による漏えい	2022年11月19日(土)16時00分 消費者宅のビルトインコンロの交換工事を実施した。 17時00分 施工完了後、漏えい試験を実施し、消費者へ引き渡した。 18時00分 消費者がコンロを使用したところ、ガス漏れ警報器が鳴動したため、消費者自ら器具ガス栓とガス栓を閉止した。 11月20日(日)18時05分 消費者から販売事業者(保安事業者)にガス漏れ警報器鳴動の連絡があったため、器具ガス栓の閉止を指示した。 18時30分 日直者が消費者宅に到着し、漏えい試験を実施した結果、器具接続部からの漏えいを確認したため、当該箇所の修繕工事を実施した。 19時00分 工事を完了後、漏えい試験を実施し、異常がないことを確認し供給を再開した。 11月21日(月)14時00分 弊へ事故発生連絡を受けた。 一次原因は、コンロと器具ガス栓の接続不良と判定される。 二次原因は、施工完了後の漏えい試験器具ガス栓を閉鎖したまま実施したため、器具接続部分に圧力がかかっていたため、漏えいを検知することができなかったことによるもの。	器具ガス栓	光陽産業(株)	不明	(株)リビック富山	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・消費者への引き渡しの際には複数人で確認を実施する。 ・販売事業者に対して、以下のとおり指示した。 ①高圧ガス保安法第33条に基づく事故報告を提出すること ②再発防止策について報告すること
2022/11/20	神奈川県 川崎市	C2級	漏えい	一般住宅	22:04	不明	容器バルブねじ込部分からの漏えい	2022年11月20日(日)22時04分頃、消費者から容器付近で「シュー」という音が聞こえていたとの連絡があった。販売事業者の担当者が現場へ急行し、同日22時22分頃現場に到着した。供給設備を点検したところ予備側容器から異音が出たため、容器バルブ及び高圧ホースとの接続部に漏えい疑いがあることを確認し、容器バルブのねじ込み部分に漏えいを確認した。予備側容器を回収し、新しい容器に交換した。翌日、回収した容器の残量確認したところ19.1kgだった。当該容器は、2022年11月10日に予備側容器として当該消費者宅に設置したものであり、10日間で9kgのガスが漏えいしたのと思われる。 なお、当該容器は2022年1月に耐圧容器検査を行ったものである。 原因は、何らかの要因で、漏えいが発生したと考えられるが、不明である。 なお、マニュアルあり、充填作業及び容器交換を実施したが、漏れは確認されなかった。 【充填作業のマニュアル】 ①容器を正しく(斜上)にセットし、充填バルブのアダプタを容器バルブにセットする。 ②容器バルブを開き充填し、充填中に容器バルブのグランドナット及びピストン部からの漏えいの有無を漏えい検知材でチェックする。この場合において、異常な音を検知する場合は、充填作業を中止し、漏えい検知材を交換し、再度充填作業を行う。 【容器交換のマニュアル】 ①予備側容器の残量確認及びバルブ閉止後に自動替装置の切替確認を行い、取り外す容器のバルブを閉止し高圧ホースを外す。取り外した容器は、水平な場所、敷石中央部に設置。 ②高圧ホースの接続と合わせ、Oリングの劣化を確認した後、容器充填口の異物を確認し高圧ホースを接続する。 ③スパナの締め付けを確認後、容器バルブを開閉し、転倒転落防止チェーンの取り付けを行う。 ④供給設備の漏えい検査(検知液使用)を実施する。	容器	不明	不明	三輪産業(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・充填作業時及び容器交換時の漏えい確認の徹底を配達会社に依頼した。 ・事故原因の提出を指導した。また、なぜ今回の漏えいが発生したのか、容器の不具合なのか、配達時の不具合なのか、設置後何者かによるいたずらなのかなど、どの過程で発生したのか不明であるため、今後、同種事象の発生について留意するよう促した。
2022/11/20	埼玉県川 越市	C2級	漏えい	共同住宅	9:30	不明	供給管の腐食による漏えい	【概要】アパート2階のコンクリート製道路の埋設部に設置されていた供給配管が腐食し、当該部から液化石油ガスが漏えいしていることを確認した。漏えい箇所はコンクリートに亀裂が入っていたことから、配管の隠へい部へ水が侵入し、配管の腐食が進行したものと推定される。 【経緯】2022年11月20日9:40頃に、販売事業者へ消防からガス臭と数少ない漏えいの事案への対応について連絡があった。同日10時25分頃に販売事業者が現場に到着した。消防からガス臭の発生及び漏えい検知装置で微量漏えい警報が出ているとの報告を受けたため、アパート戸建ての1階からガス栓及び充填器等全ての元弁を閉止して、ガスの供給を停止した。ガス検知器で漏えい検査するとともに、腐食箇所が一目で目視で現場確認したところ、アパート2階のコンクリート製道路の埋設部に設置されていた供給配管が腐食し、当該部から液化石油ガスが漏えいしていることを確認した。当日中に、損傷した供給管の損傷箇所を迂回するよう配管用フレキシ管を新設し、復旧工事を完了した。工事後、ガス試験で問題ないことを確認した上で、供給を再開した。 原因は、2階道路に敷設されている供給管の腐食・劣化によるガス漏えいによるもの。 なお、配管損傷部のコンクリートにひび割れが生じたことから、コンクリート内に雨水等が浸透して、その中の供給管を腐食させたものと推定される。	供給管(白管(埋設部))	不明	不明	昭和ガス(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・2022年11月20日(日)に、漏えい箇所は新たな供給管により復旧完了済み ・今後、今回の漏えい箇所の修理だけでなく、供給管全体を更新する予定。 ・事故報告書の内容を提出指導
2022/11/21	新潟県新 潟市	C2級	漏えい	共同住宅	17:15	販売事 業者	未使用側のガスメーターの取付位置による劣化からの漏えい	2022年11月21日(月)17時15分、店舗兼住宅において通行よりガス臭いと連絡入り出勤。建物2階建てで、1つの供給所より2か所ガスを供給する共同店舗兼住宅である。正面側から左側が隣の店舗、正面側から右側が隣の店舗が住宅という構造となっている。正面側から右側店舗は20年以上前に閉鎖し(メーターコック閉、メーター更新実施済み)、正面側から右側店舗兼住宅のみガスを供給している状態であった。 17時37分に現地到着。正面側から左側閉鎖中の店舗ガスメーター付近よりガス臭及び検知器で漏えいがあることを確認した。その際、閉まっているのはメーターコックが閉の状態であった。正面側から右側店舗の閉鎖しているガスメーターを取り外し、配管にプラグを挿入した上で気密検査を行ったところ異常はなかったため、正面側から右側店舗兼住宅の供給を行った。 一次原因は、正面側から左側の閉鎖していた店舗のメーターコックが何らかの要因で閉鎖、20年以上に閉鎖の切れているガスメーターカウンター窓枠部分より漏えいに至ったもの。経年劣化していたガスメーターを交換したことが原因と考えられる。 二次原因は、メーターコックが閉まっている状態であったため、経年劣化しているメーターであったとしても、メーター遮断し続けると思い込み維持管理を怠ってしまったことによるもの。	ガスメーター	東洋ガスメーター(株)	MST-2900 (1992年11月設置)	越後プロパン(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・ガス供給を行っている共同住宅等(1つの供給所より複数に供給する形態)において、閉鎖中メーターコックを閉めたとしても期限切れメーターは全て取り外し、プラグ止めを行う。 ・改善対象58件につきまして、2022年11月26日(土)全て改善した。 ・原因の究明と再発防止対策を指示した。
2022/11/22	山形県米 沢市	C2級	漏えい	共同住宅	8:30	他工事 業者	他工事業者(修繕工事業者)による埋設配管の損傷による漏えい	隣地の田んぼの水が、田んぼと共同住宅の間のブロック塀の隙間や地中を通して、共同住宅敷地内のアスファルトの上流れ込んできたため、他工事業者による修繕工事が行われた。 2022年11月22日(火)18時30分頃、修繕工事中に隣地付近を掘削して掘削したところ、掘削箇所周辺に配管が埋設されていることを認識。確認せずに作業を行ったため、埋設配管を破損し、ガスが漏えいした。ガスが漏えいしたため、掘削作業を中止し、復旧工事を完了した。 10時頃、販売事業者へ事故発生連絡が行われ、保安機関が現場に到着しコンクリートバルブを閉止し、修繕工事等が完了した。 10時頃、販売事業者が現場に到着し、既に復旧済みであることを確認した。 一次原因は、他工事業者が掘削箇所周辺にLPガス本管が埋設されていることを認識、確認せずに掘削作業を行ったことによる埋設配管の損傷によるもの。 二次原因は、関係業者間で工事前の情報共有が不足したことによるもの。	供給管(ポリエチレン管(本管埋設部))	不明	不明	(株)ガスバル東北	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器あり ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・他工事業者に対して、掘削工事を行う際のLPガス損傷防止を注意喚起済 ・グループ会社に対して、当該事故を共有した。地盤面下を掘削する際には必ず販売事業者まで連絡をいただいたよう注意喚起を払う。 ・地盤面下を掘削する工事は、販売事業者の社員が立ち会い、現場監督及び他工事業者に注意喚起を払う。 ・対策を適切に実施していただくよう販売事業者へ口頭指導を行った。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/11/22	東京都江東区	C2級	漏えい	飲食店	17:04	他工事業者	他工事業者(リフォーム業者)による配管の損傷による漏えい	消費者のリフォームをオーナー自身が知人の業者之手配り、リフォーム作業をスタートした。LPガス配管の損傷により増加量異常警報を感知し、販売事業者に通報FAXが届く。7号緊急連絡受付の保安機関からも緊急出動依頼の連絡が入り、緊急時出動対応となる。現地到着にて、室内の壁を解体を進める中、剥き出しとなった壁コンセント接続中のガス配管にリフォーム作業員が作業中にガス配管へ人的負荷をかけたため、ガス配管が破損した。販売事業者による改善作業を実施(配管経路にてプラグ止め)の作業完了後、気密漏えい試験を実施し、ガス漏えい漏れを確認した上で供開始となった。二次原因は、リフォーム業者が、室内リフォーム解体作業中に誤って壁コンセント接続ガス配管に人的負荷をかけたことで、ガス配管が破損した。なお、販売事業者によれば、ガス配管損傷状況より、作業機器によるガス配管損傷の可能性もあると推定された。二次原因は、販売事業者に対してリフォーム工事の事前連絡、配管経路についての確認もなされている中、リフォーム業者の作業ミスによるもの。	配管(白管(隠ぺい部、埋設部))	不明	不明	マイライフ(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ) ・CO警報器あり ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・社内で事故事例発生による再発防止に対する注意喚起、日々のユーザー訪問活動を通じたLPガス安全・安全供給・設備の維持管理を徹底し、LPガス供給ユーザーの安全確保及び他工事発生時の事前連絡確認の徹底と顧客周知活動を強化。 ・事故届書提出を指示
2022/11/22	宮崎県児湯郡高岡町	C2級	漏えい	その他(サッカー場)	15:04	他工事業者	他工事業者(水道工事業者)による埋設供給管の損傷による漏えい	スタジアムにおいて、他工事業者が水道工事を行う際、誤って埋設配管を破壊させ、ガスが漏れ出した。ガス販売事業者が通報を受け、水道工事業者に対してバルブの閉止を指示し、漏えいが停止した。水道工事業者が埋設配管の存在を認識しないまま開削を行い、ガス配管を破壊させた。	供給管(ポリエチレン管(本管(埋設部)))	不明	不明	(有)齊田商事	・ガス放出防止器なし ・マイコンなし ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・販売事業者が通報を受け、水道工事業者に対してバルブの閉止を指示し、漏えいが停止した。 ・販売事業者は15:20に現場に到着し、破損部及び閉栓の状況を確認した。2022年11月24日(木)10:00から、販売事業者が破損部の修繕及び気密試験を行い、ガスの漏れがないことを確認し、同日15:00にガスの供給を開始した。 ・販売事業者に対し、設備の早期復旧を指示した。また、事故の詳細を聞き取り、産業保安監督部へ連絡した。
2022/11/23	神奈川県横浜市	C2級	漏えい	共同住宅	8:54	ガス工事業者	設備工事業者による配管の損傷による漏えい	2022年11月23日(水)8時54分頃、消費者から、コンロ及び給湯器が使えないとの連絡が販売事業者であった。消費者がガスメーターの確認と復帰動作を依頼したが、C2級表示(赤点)増加量異常警報の表示になるため、販売事業者の担当者が現場に急行した。同日9時40分(現場)に到着し、消費者宅(201号室)ガスメーターの復帰動作をするが、再びC2級表示となった。消費者宅の屋内外においてガス検知器を用いたが、ガス漏れは検知できなかった。その後、自配圧力計を用いた検査をしたところ圧力がからなかった。そこで、消費者宅のコンロキャビネット内にある消費配管の根本キャビネット扉を開き、ガス検知器を当てると反応があった。コンロキャビネットを外す旨消費者へ伝え、消費者宅の下層室(101号室)でリフォーム工事が行われている関係があるとの連絡があった。そこで、本件物件管理業者に連絡し、101号室へ入室すると、ガス漏れが確認された。現場の確認と工事担当者へのヒアリングより、リフォーム内装工事において配管の切断・接続が行われたが、201号室メーターから下流の配管(101号室床下を通過)の切断箇所がプラグ止めされており、開放状態のためガスメーターで遮断されていたことが確認できた。ガス漏れは、復帰動作の繰り返しによりガスが漏れ出し、101号室室内に滞留していたことによると推定される。その後、プラグ止めされていない配管と、施工ミスをした201号室の配管を迂回し組み直した。気密試験及び漏えい試験を実施した後、消費者宅へ連絡を再開した。二次原因は、工事の施工ミスによるもの。なお、リフォーム工事においては、101号室のコンロ周りを改造する予定であり、101号室メーターの下流の配管を施工しなければならなかった。しかし、販売事業者の工事担当者には、誤って201号室メーター下流の配管(201号室内)に入る前に101号室の床下を通過している。を判断して、加工して、101号室のコンロ及びこれに付属する配管を、201号室に向かう配管に接続してしまっただけで、201号室の燃焼器と容器は管によりつながり、201号室にガスが供給されなくなった。二次原因は、販売事業者の工事会社の配管の確認不足※、並びに設備工事完了後の気密試験、漏えい試験及びガスメーター(全部屋分)の表示の確認不足によるもの。※配管の確認が不十分な状況で、リフォーム会社の指示に盲従と従って配管を切断してしまっただけで確認不足が認められる。	配管(強化ビニル被覆管(隠ぺい部))	不明	不明	三輪産産(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓不明 ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器不明	・毎月保安教育において、事例の紹介に加え、配管のプラグ止め及びホップ止めの教育の徹底 ・事故届書の提出を指示した。
2022/11/24	千葉県四国中央市	C2級	漏えい	共同住宅	14:30	他工事業者	他工事業者(設備工事業者)による埋設供給管の損傷による漏えい	容器交換時等供給設備点検の保安機関より設備工事業者が配管を損傷しガス漏れが発生しているとの連絡があり、現場確認に緊急出動した。臨場時には、消防と警察が現地に到着して、消防がガスの停止を行っていた。分譲住宅は戸建ての30軒程度の分譲住宅だが、一か所の容器貯蔵所から供給を行っている形態のため供給配管を埋設しており、設備工事業者がカーポートの交換工事中にコンクリートの新り作業中に埋設配管に気付きガスが漏れ出した。二次原因は、工事業者がカーポートの交換工事に伴う新り作業中に配管を損傷したことによるもの。二次原因は、事前に配管位置等の打合せ等がなされていなかったことによるもの。なお、本工事は居住者が独自で発注しており、販売事業者側には事前相談が無かった。	供給管(ポリエチレン管(本管(埋設部)))	不明	不明	うま農業協同組合	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・新りを伴う工事、埋設配管がある場合は事前に現地に工事内容の把握、配管位置の確認等を事前に行う。 ・事業者に対し、事情聴取を行うとともに、事故情報の報告を求めた。 ・本件に係る緊急保安教育の実施。 ・事故発生時の連絡先及び連絡方法について、周知・徹底を図る。他支店も同様に関安教育、緊急時対応訓練等定期的な教育訓練の実施。 ・発生当日に現地調査を実施し、対面により事故報告書の提出を指示。 ・今回の事故に対する社内教育(連絡方法、立会方法等)の再教育及び教育計画、年間教育計画の見直し及び実施を指示。
2022/11/25	福島県南相馬市	C2級	漏えい	共同住宅	6:50	販売事業者 他工事業者	販売事業者による配管の損傷による漏えい	2022年11月24日(木)に、バルブ供給(バルブ貯槽980kg×1基)からシリンダー供給(50kg×16本=800kg)への変更作業を実施した。当日に作業完了できなかったため、50kg容器4本のみ集合管に接続し、仮設状態で作業を終了した。翌25日(金)の作業予定となっていた屋根材(段ボール入り)、容器収納庫に立てかけて保管していた。強風等の影響で立てかけた屋根材が傾き、容器が接続されていない集合管の根本バルブに接触し、半開き状態になりガスが漏れ出した。二次原因は、集合管に立てかけた屋根材(段ボール入り)が強風等により傾き、集合管の根本バルブのうちの一つのハンドルに接触し、ハンドルを全閉状態から押し下げられる力が働き、根本バルブが半開きの状態になりガスが漏れ出したことによるもの。二次原因は、当該バルブには逆止弁機構があったが、バルブが半開きの状態となったためその機能が有効に動作せず、漏えいも続いたことによるもの。(バルブ貯槽980kg×1基)	集合装置	不明	不明	イワタニネット(株)福島(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対策) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・ボンベ庫内には容器以外の必要なもの以外は置かない。 ・容器が接続されていない状態の根本バルブにはプラグ止めをする。 ・本件に係る緊急保安教育の実施。 ・事故発生時の連絡先及び連絡方法について、周知・徹底を図る。他支店も同様に関安教育、緊急時対応訓練等定期的な教育訓練の実施。 ・発生当日に現地調査を実施し、対面により事故報告書の提出を指示。 ・今回の事故に対する社内教育(連絡方法、立会方法等)の再教育及び教育計画、年間教育計画の見直し及び実施を指示。
2022/11/27	千葉県松戸市	C2級	漏えい 火災	飲食店	8:36	その他(燃焼器具製造者サービスマン)	他工事業者による漏えい	2022年11月10日(水)にガスコンロに火がつかないとの消費者より問い合わせ、販売事業者が現地確認したが改善できず、器具メーカーに修理を依頼。11月11日(金)に器具メーカーが修理訪問、電源バルブユニット交換。11月27日(日)にガス漏れ火災発生。消費者が家庭用コンロを使用後、ガス点火スイッチをOFFにしたにも関わらず、バーナー付近より白い煙と少量の火花を確認。消火剤で鎮火し、販売事業者と連絡。販売事業者が調査したところ、外観に損傷は見つからなかったが、天板をとると内部で焼損が確認され、漏えい試験でも漏えいが確認されたので、当該器具の修理を指示し、使用を中止した。12月8日(木)燃焼器具製造者が当該器具を回収し、原因調査を実施し原因を特定した。原因は、11月11日(金)に燃焼器具製造者サービスマンが電動バルブユニットの元電磁弁を交換した際に、当該元電磁弁接続部の固定ビス3本のうちの1本の締め付けが緩く、近傍のハンクシ周辺にガスが残っていたことから、当該ビスの締め付け不足によるシール性の低下によりガスが漏れ出し事故に至ったと推定される。	家庭用コンロ	リンナイ(株)	RH571W31E1 3RCSTW	日本瓦斯(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・2022年11月27日(日)に当該器具への接続員を外し、ガス栓にプラグ止めを行い、使用禁止処置を実施。 ・11月28日(月)に家庭用コンロを交換。 ・12月5日(月)に燃焼器具製造者からサービスマン及びサービス会社に対して、電動バルブユニットの交換作業の際に電動バルブユニット単位で交換するよう指導。 ・事故届書の提出を指示。 ・メーカーの調査に専門員が関与するようあり、必要に応じて事故報告書の提出を指示。 ・調査終了後に確認で提出するよう指示
2022/11/29	東京都福生市	C2級	漏えい 爆発	一般住宅	16:00	一般消費者等	風呂釜の点火ミスによる漏えい 爆発	2022年11月29日(火)16時頃、消費者から風呂釜が点火しなくなりましたとの連絡が入る。消費者宅を訪ねたところ風呂釜側面の姿勢を確認、聞き取りを行ったところ、11月25日(金)に点火操作を行った際、風呂釜から大きな音が鳴り風呂釜側面が変形したとのこと。メーターガス栓から消費器具までの圧力保持による漏えい検査を実施し異常がないことを確認した。当該燃焼器具は接続部を外し使用禁止し、風呂釜を回収しメーカーに調査依頼をした。原因は、メーカーの機器調査報告書より、消費者が誤って返し点火操作を行った為、器具内部に未燃焼ガスが溜留し、点火操作時に引火し爆発燃焼したものと推定される。	給湯器付風呂釜(BF式)	(株)ノーリツ	GUQ-5D (2014年10月)	日本瓦斯(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器あり ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・2022年12月20日(日)、屋外式の給湯器へ交換済。 ・事故届書提出を指示
2022/11/30	長野県松本市	C2級	漏えい	一般住宅	16:30	不明	容器接続部のピンホールからの漏えい	2022年11月30日(水)12:00頃ガスコンロが着火しないとの消費者から電話があり、消費先へ訪問したところ容器が空になっていたため、17:30頃、50kg容器を空日、引き揚げた容器を調べたところ、LPガス容器上部にピンホールがあり、その部分から漏えいしていた。原因は、不明である。	容器	不明	不明	(株)サイサン	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ運動) ・CO警報器あり ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・今後製造20年以上経過するものは、廃棄処分し、再検査しないように徹底する。 ・事故届書提出依頼

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策
2022/11/30	福岡県北九州市	C1級	漏えい火災	一般住宅	13:00	一般消費者等		2022年11月30日(水)13時00分頃、消費者より連絡があり、寒くなってきたので久しぶりにガストーブをつけたところガス栓付近から炎が出たと言われ、そのため現場へ出勤。現場を確認したところ、ガス栓付近で漏えい検査を実施したところ異常なし。炎については消費者自身で消火を行った。消費者に聞き取りをしたところ、ホースとヒューズコンソントガス栓を接続する際にカチッという音がした。うまくなまっていたが、ガス栓が緩んでしまった。原因は、普段は通報者とは別の家族がホースの接続を行っているが、今回は通報者がホースの接続を行っており、うまく接続が出来ず、ガスが漏れ出してしまったと推定される。なお、ガスへの着火元については原因不明。	①末端ガス栓(使用前)②ガスストーブ(開放式)	①不明②リンナイ(株)	①不明②R-483PMS-401	ENEOSグループエナジー(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・安全のためにガス栓を交換し、事故の際に使用していたガストーブについては消費者に説明し使用禁止とした。 ・ガス器具の接続についての注意喚起を消費者に行うよう口頭で指導した。
2022/12/5	福岡県南相馬市	C2級	漏えい	共同住宅	16:00	販売事業者 他工事業者		隣接する集合住宅において、それぞれボンベ庫(計2カ所)があったが、これを1カ所に集約し、新たに駐輪場を設ける工事を土木業者が実施しようとした。片方のボンベ庫を販売事業者立会のうえ、ボンベ庫付近の埋設配管の状況を確認しながら外構工事を行っていた。販売事業者の立会い終了後に、土木業者が、販売事業者に説明してなかった掘削工事を始めてしまった。その結果、ガス配管を損傷させ、漏えいが発生してしまっ。一次原因は、土木業者が、販売事業者に説明してなかった掘削工事を施工した結果、ガス配管を損傷させたことによるもの。なお、土木業者はガス配管の埋設深度を、深い位置と推測してしまっていた。二次原因は、販売事業者も、全作業工程の確認及び埋設管の状況説明が不足していた結果、土木業者の推測による判断で、販売事業者に立会を求めず工事を行ったことによるもの。	供給管(ポリエチレン被覆銅管(埋設部))	不明	不明	イワタニセントラル福岡(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・販売事業者は、土木業者によるボンベ庫周辺やガス管理施設等危険箇所を全て説明すること。 ・販売事業者は、工事の全容をきちんと把握し、適切な現地立会を行うこと。 ・販売事業者は、本件に係る緊急保安教育を実施すること。 ・2022年12月5日(月)、対面により事故報告を受け、事故報告書提出を指示。 ・今回の事故における土木業者との打ち合わせは、全工程について打ち合わせ、立ち回りの実施を指示。 ・今回の事故に係る社内教育(連絡方法、立ち回り方法等)の再教育及び年間教育計画の見直し、実施を指示。
2022/12/5	茨城県稲敷郡阿見町	C2級	漏えい爆発	共同住宅	17:26	一般消費者等		2022年12月5日(月)17時26分頃、消費者が屋外大型湯沸器を使用しようとしたところ、屋外で爆発音が発生したため使用を中断。再度、使用したところ再び爆発音が発生。連絡を受け販売事業者で現場確認をしたところ当該湯沸器の外装(パネル及び側板)が変形していた。メーターガス栓から湯沸し器迄漏れ検査をしたところ漏えいは確認されなかった。尚、向中当該湯沸器を新品と交換し、原因調査のため製造メーカーに送付。二次原因は、向中の湯沸器が壊れたことにより、湯沸器内に異常な着火したと推定される。二次原因は、長期間の使用により湯沸し器の内部に異物が入り、弁体の動作に異常が生じたこと等で異常な着火に至ったものと推定される。	瞬間湯沸器(屋外式)	(株)長府製作所	GK-2003K(2000年3月製造)	日本瓦斯(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・販売事業者において、古い燃焼機器を使用している消費者を対象に、定期的な保守点検やより安全性の高い新型への交換を推奨する周知を行う。
2022/12/6	広島県呉市	C2級	漏えい	その他(特別養護老人ホーム)	2:54	販売事業者		2022年12月6日(火)2時54分に監視システムによりバルク用ガス警報器の受信があったため、宿直者2名が緊急対応として現場へ出勤した。緊急対応要員が到着後ガス漏れ調査を開始したところ、ガス供給設備付近でガス臭を確認したため、保安措置として供給設備を停止した。停止後の漏えい調査では、ガス検知器および発泡剤による方法で実施し、気化器のサーモバルブからのガス漏れを確認した。なお、当時、2日に1回の頻度で充填作業を実施しており、事故発生の前日にも充填作業を行っていたが、その際は異常が認められなかった。原因は、気化器のサーモバルブの劣化がガス切替によるもの。また、サーモバルブが新品に交換しガスを差すことで、当日中に修理完了した。(バルク貯槽980kg×1基)	気化器	不明	不明	広島ガスロパン(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ運動) ・CO警報器あり ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・現在、2日に1回のペースで実施している充填作業時の点検業務を引き続き確実に実施するとともに、二重チェックを実施する。
2022/12/7	京都府京丹後市	C1級	漏えい爆発 軽傷2名	一般住宅	15:20	ガス工事業者		ガスコンロからコンロへの動熱工事の際、消費者からLPガス設備工事を依頼された販売事業者が、ガス管の閉栓については、室内で作業を行う電気工事業者に依頼した。電気工事業者は、閉栓作業を実施せず、LPガスが室内へ漏れ出した。漏れ出したLPガスへ室内で使用していた石油ストーブの火が引火し、爆発が発生したと推定される。なお、爆発により、消費者と電気工事業者の2名が負傷し、建物の一部が破損した。原因は、可とう管ガス栓撤去キャップ止め作業を委託し、確認をせずLPガス閉閉バルブ操作を行ったことによるもの。	末端ガス栓(未使用)	(株)桂精機製作所	KUO-31K	(株)室野商店	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓不明 ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器不明	・可とう管ガス栓撤去作業、キャップ止め作業を委託せず販売事業者で責任をもち施工する。
2022/12/7	大阪府高田林市	C2級	漏えい	一般住宅	15:00	他工事業者		2022年12月7日(水)15時頃、販売事業者が管理する小規模団地(供給先2件、閉栓1件、解約8件)の解約先で解体工事が行われており、その際に解体業者が供給管を引き抜き漏えいが起こった。漏えいに対する処理として、解体業者が1人で応急処置を実施後に、15時49分頃に都市ガス事業者へ通報。到着後にさらに都市ガス事業者により油粘土で応急処置が実施された。都市ガス事業者の「漏えいガスは、都市ガスではない」との判断により、解体業者から17時04分に消防に通報(通報到着時刻17時13分)。消防より、LPガス設備へ連絡し、地域防災の事業者による現場立会いを依頼する(現場到着時刻17時59分)。消防より容器庫の南京錠を破壊、地域防災の事業者が直ちに庫内のバルブを閉止した。17時25分に地域防災の事業者より、販売事業者へ連絡し、17時45分に現場到着となる。19時56分の消防の現場引き上げ後、販売事業者より、閉栓供給先に対し20時40分頃から20kg容器1本(仮設供給)で供給を再開した。原因は、解体業者から都市ガス事業者に対して閉栓確認が取れていなかったためガス配管の撤去作業を行ったが、当該配管は以前に使用していたLPガス配管であり、現在も近接する容器庫からの集中配管としてガス圧力が掛かっていた状態で設置されていたため漏えいしたことによるもの。	配管(白管(本管(露出部)))	不明	不明	イワタニ近畿(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・小規模団地の解約時は、供給管に「ガス管注意」と、「事前連絡を行うこと」などの指示を行う。 ・販売事業者供給先付近で工事を確認した時には、引き続き注意喚起を行い、その他工事事故を事前に防ぐよう努める。
2022/12/7	千葉県松戸市	C2級	漏えい爆発	一般住宅	19:30	販売事業者		2022年12月7日(水)19時30分、販売事業者にて屋外ガス配管の修繕工事を実施。完了後に販売事業者が燃焼器具の点火試験として、風呂釜を点火しようとしたところ点火しなかった。他の器具が点火するか試すなど現地確認しつつ再度風呂釜の点火を試みたところ、風呂釜内に滞留していたガスに引火し、異常燃焼が起って風呂釜本体を歪め、パネルが破損した。原因は、時間を空けずに点火操作を行ったため異常燃焼したと推定される。	風呂釜(BF式)	リンナイ(株)	RBF-80SN-FU-L(1999年12月製造)	日本瓦斯(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・2022年12月7日(水)に風呂釜への接続を外し、配管にキャップ止めを仮設置して使用禁止とした。 ・12月18日(水)に風呂釜から屋外供給用風呂釜への交換工事を実施。破損した風呂釜について製造者と消防による合同調査を2023年1月23日に実施予定。 ・事故届書の提出を指示。 ・メーカーの調査に時間がかかるようであれば取り急ぎ中間報告を提出し、調査終了後に確認で提出するよう指示。
2022/12/9	長崎県南島原市	C2級	漏えい	病院等	14:30	他工事業者		2022年12月9日(金)14時30分、ガス供給先の病院にて水道設備工事の工事業者より、水道埋設管の掘削中に別の配管に当たったよう金属管が当たると連絡があった。(ガス管かどうかは不明だが、念のため確認してもらいたいとのこと)14時35分、ガスは使用していないが、工事業者がガス管の可能性もあるため、念のためガスメーター入口ガス栓と容器バルブの閉止を指示し、社員2名で出勤。16時30分、現場へ到着後、ガス栓と容器バルブが指示通りに閉止中であることを確認後、連絡があった箇所を掘削しガス配管であることを確認した。自記圧計による漏れ検査を実施したところ漏れがあったため、配管の防振テープ等を剥がし、漏れ箇所を確認(2mm程度の破損)。漏れ箇所を修理するため、換気設備を切った。事故発生直後に18時頃、18時30分、施工後、自記圧計にて配管の気密検査を行った結果、漏れ無し。その後、防食テープにて処理を行い完了。一次原因は、水道設備工事の掘削中に、ガス管に掘削器具をあて、ガス管に傷がついたことによるもの。二次原因は、販売事業者へ工事業者、消費者から今回の工事連絡が無く、立ち回り及び配管経路等の説明が出来なかったことによるもの。	配管(白管(本管(露出部)))	不明	不明	大陽日機エールギー(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・住人、オーナー、管理会社、工事業者へ工事の際は販売事業者へ連絡するよう、定期的に周知を行う。 ・配管経路の周知を行う。 ・詳細報告、再発防止対策検討を指示
2022/12/10	三重県鈴鹿市	C2級	漏えい	共同住宅	9:35	ガス工事業者		2022年12月10日(土)9時35分、保安機関よりマイコンメーターが復旧しない旨の連絡を受け、10時35分、消費者宅に到着。消費者から昨日ビルドインコンロの設置工事してもらったとのことだったので、調査の結果、後から立ち上がった暖房に接続する部分の片側ソケットにシールテープが巻かれておらず、手動での配管を切った。当該部分のソケットを修繕し、供給復帰。原因は、ガス機器販売事業者の施工不良によるもの。	配管(白管(継手部(露出部)))	不明	不明	(株)エネアーク中部	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器あり ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・販売事業者は、ガス機器販売事業者に対して、注意喚起を行った。県は、ガス機器販売事業者を呼び出し、厳重注意した。改善報告書提出させた。

2022年事故概要

年月日	発生場所	事故分類	現象 被害状況	建物用途	発生時間	原因者	事故原因 法違反の有無	事故概要	機種	メーカー	型式	販売事業者	安全器具等 設置状況	行政指導等 再発防止策	
2022/12/15	長崎県長崎市	C2級	漏えい	飲食店	14:30	一般消費者等 ガス工事業者	配管の腐食による漏えい	テールコンロ配管時に消費者(店主)から、ゆで麺器付近で一週間程度前からガス漏がするようになったと報告があり、調査をしたところ、ゆで麺器への配管(SGPテープ巻)よりガス漏えいがあり、当日配管の取替にて修理完了した。ガス配管の腐食による漏えいだった。確認時点でガス配管の腐食は速く、遠隔監視及びメーター等への異常の表示もなかった。 一次原因は、SGP防食テープ巻きの配管であったが、何らかの要因にて防食テープが剝離したところへ、シंकよりの水分が影響し配管が腐食、ガスが取り漏えいに至ったものと推定される。 二次原因は、防食テープが何らかの要因で剝離したことによるもの。 なお、施工不全が使用によるものかは不明。 (バルク貯槽498kg×1基)	不明	不明	九州ガス(株)			・ガス放出防止器あり ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(ガス漏れ) ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器あり	・今回の調査配管については緊急対応にてガス管の取替を実施。改めてガス配管を再度調査へ入り、腐食の進展を消費者と話し、工事日程調整の上後日施工予定。 ・ガス管取替に際しても来年が交換期限のため早急に交換する。 ・今回のガス管取替工事では、同じように水掛りの影響が想定される洗濯機系統のガス配管の入替も併せて行う。 ・再発防止策を指示
2022/12/17	奈良県葛城郡	C1級	漏えい 爆発 軽傷1名	飲食店	13:37	一般消費者等	金属フレキシブルホースの損傷による漏えい	2022年12月17日(土)13時37分、消費者(飲食店)より、「ガスがボンとしたのですぐ見てほしい」との通報あり。現場へ急行。メーターガス栓を閉じメーター遮断を確認し、状況確認と共に閉き取りを行ったところ、状況は金属可とう管の損傷と一部配管の壁の腐食が確認された。消費者独自でフライヤーを購入し「自身で交換しようとしたが、コンロ管を接続している金属フレキシブル管が当たって出せないのでコンロ管を外そうとしていたところ損傷し、ならんかの火が引火爆発したものと思われる。 なお、損傷箇所は即日取替を行ったが、使用は中止していた(土)日の管管中止を指示しガスも遮断状況を継続した。12月19日(月)18時30分より総点検原因は、金属可とう管の腐食によるガス漏れによるもの。 (バルク貯槽498kg×1基)	金属フレキシブルホース	不明	不明	(株)ヤスフ	・ガス放出防止器あり ・マイコンSあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器あり ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・設備の工事を行う時や、新しくガス機器を取り付ける時は取り外す時には連絡を頂くよう再三周知徹底していること。さらに独自に急ぎも書いてもらった。 ・設備の工事を行う時や、新しくガス機器を取り付ける時は取り外す時には必ず販売事業者と連絡をするよう周知徹底すること。	
2022/12/19	岡山県津山市	C2級	漏えい	一般住宅	18:30	一般消費者等 販売業者	ヒューズガス栓の劣化による漏えい	消費者より、部屋がガス臭いとの連絡があり(2022年12月19日(月)18時30分)、担当者が伺い(18時40分)メーターで漏えい検査を行ったところ、試験メーターが低下した。ガス検知器を併せて室内の消費設備を調査した。コンロに接続されている二口ヒューズコック(約20年前製造)の内未接続側のつまみ部分から、ガスを検知した(コックは閉じた状態)。二口ヒューズコックから一口ヒューズコックへ取替え、漏えいが無いことを確認して完了した。 一次原因は、経年による器具の劣化によりコックの内部閉塞が原因となっているものと推定される。 二次原因は、長期にわたり閉止状態であったため内部の劣化が進行したものと推定される。	末端ガス栓(2口ガス栓(未使用側))	(株)藤井合金製作所	不明(2001年製造)	浅野産業(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・経年のガス機器については詳細に調査を行うことし、二口コック等で未接続が確認される場合、一口コック等も取替更新を行うようとする。 ・情報収集	
2022/12/22	奈良県香芝市	C2級	漏えい 火災	一般住宅	8:15	他工事業者	他工事業者(解体工事業者)による埋設供給管の損傷による漏えい	2022年12月22日(木)8時15分頃、小規模団地(供給先41件、閉栓1件、解約7件)中の現在仮契約していない消費者宅にて解体工事が行われ、解体業者が供給管を重機で引き寄せ、近くで切断機を用いて鉄筋を切断していた為、火化で着火し漏えい火災発生。解体業者は土を被せ急務処置を実施。8時20分頃、解体業者より近くの販売事業者(供給販売事業者ではない)へ通報、8時23分消防へ通報。近隣販売事業者が現場後後まじら8時35分に消防へ通報が到着。近隣販売事業者より旧販売事業者へ連絡が入り、8時48分旧販売事業者より緊急対応班へ「漏えい火災の連絡あり即時緊急出動した。」 10時10分頃に近隣販売事業者よりボンベの扉を切断しガス供給を中止する旨の連絡が入り、了承し本管停止。8時15分頃、緊急対応班の担当者が到着し、漏えい火災箇所を確認。ガス漏えいは本管停止によりなし。火災は残ガスによる残火あり。8時40分頃安全確認し、消防、警報が引き上げ。8時45分頃緊急対応班2名を派遣し、残火もなくなり漏えい箇所も修理作業を開始し、11時20分頃に修理作業完了。11時28分、漏えい検査を実施し漏えい無しを確認後、ガス復旧作業を開始し13時頃に全戸へ供給再開を完了。原因は、解体業者がオール電化住宅であったと聞いており、ガス管が通っている認識が無く解体作業を行ったことによるもの。	供給管(白管(本管(埋設部)))	不明	不明	イワタニ近畿(株)	・ガス放出防止器なし ・マイコンなし ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・小規模団地の解放及び閉栓先へは、供給管にガス管注意と事前連絡をいただいた様子を報告する。 ・供給先付近で工事を確認した際には、引続き注意喚起を行い他工事事故を事前に防ぐよう務める。 ・他の販売事業者から引き継いだオール電化の家だったということだが、まだガス管が残っている場合はできる限り埋設線などで埋設管を知らせる工夫をする。 ・新規の埋設管には埋設表示シートや埋設線を使うこと。 ・消費者へは他工事をする場合も必ず販売事業者と連絡をするよう周知徹底すること。	
2022/12/22	愛知県碧南市	C1級	漏えい 爆発 軽傷1名	一般住宅	17:30	販売事業者	ビルトインコンロの修理ミスによる漏えい 爆発	2022年12月16日(金) 消費者よりビルトインコンロの火が保持しないと販売事業者にご連絡が入る。12月22日(木)14時30分～15時30分 販売店の液化石油ガス設備士資格者が故障原因箇所を交換。17時30分 消費者より夕食の食卓でコンロが爆発し、キッチン扉のガラスの破損、照明器具カバーが外れ、火傷と爆音で耳を痛めたことと販売事業者にご連絡が入る。 18時00分～20時30分 販売事業者が現地で、状況を把握。ビルトインコンロを調査。パッキンの取付に不備があったため、漏えいが発生し、着火したものと推定。再度、給立を行い、漏えい検査を行い、漏えい箇所を確認。 一次原因は、消費者がビルトインコンロを使用中に、漏えいしたガスに着火し、爆発したことになるもの。 二次原因は、部品を交換した際に、パッキンがズレたまま設置したのを気付かず、作業を終了したことによるもの。 なお、取付け作業後、点火試験のみを行い、検知器での漏えい検査を実施しなかったため、漏えいに気付かなかった。	ビルトインコンロ	(株)パロマ	PD-N60VW60CD	大浜燃料(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓なし ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・設備の修理等を行った際は、必ず漏えい検査を行うこととした。 ・また、漏えい検査の結果を保管することとした。 ・原因を説明し、今後事故が発生しないよう対策をたてるよう指導した。 ・たまたま対策、保安教育等周知するよう指導した。 ・事故届の提出を指導した。	
2022/12/23	鳥取県松江	C2級	漏えい	一般住宅	10:52	一般消費者等	はしごの転倒による調整器、高圧ホースの損傷による漏えい	2022年12月23日(金)10時52分、保安機関より販売事業者へ、圧力低下遮断のため消費者へ確認したところ、立て掛けていたはしごが強度のため倒れ容器に繋がっていたホースが外れたとの連絡あり。10時55分担当業者へ連絡。11時10分消費者宅に到着。20kg容器2本設置。容器バルブは消費者が開けていた。予備機の強力高圧ホースが平切で、供給側の容器から約8割のガスが漏えいしたと思われる。予備機の容器からの漏えいは無し。 なお、強力高圧ホースが平切で供給側の容器からガスが漏れたため、調整器も損傷の疑いがあり、強力高圧ホースと共に取替を行い、漏えい試験及び調整器の圧力測定を実施し異常なしを確認し12時38分に復旧した。 一次原因は、立て掛けていたはしごが強度で倒れたことによるもの。 二次原因は、容器の周りに倒れやすい物を置いていたことによるもの。	①矢崎エナジーシステム ②調整器(自動切替式)	①ASZA(2019年9月製造) ②NABP(2019年9月製造)	伊藤忠テクノホームライオン(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置なし ・CO警報器なし ・集中監視システムあり ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・消費者に対し容器周りに倒れそうな物を置かない様に注意喚起した。 ・販売事業者に対して事故情報の報告及び迅速な報告を求めた。		
2022/12/26	北海道札幌市西区	C2級	漏えい	共同住宅	4:22	販売事業者	ガスメーター継手部のパッキンの劣化による漏えい	2022年12月26日(木)4時22分、消防に「建物の自動火災報知設備が作動している」との通報があり、消防が出動したが、火災等の事象は無かった。消防が1階共用部でガスの臭いを確認したため、検知作業を実施したが検知されなかった。消防が複数の層屋のマインメーターでBR(微細漏えい)表示を確認したため、LPG容器の元栓の閉止を実施した。消防の現場要請により保安機関の職員が現場に到着し、空室の本管の圧力検査を実施したところ、圧力の低下を確認した。販売事業者より、一室(402号室)のマインメーターの継手部分からガス漏えいを特定した。復旧作業完了後、販売事業者が漏えい試験を行い、ガスの漏れがないことを確認した。 原因は、マインメーター(402号室)入口側継手部のゴム製パッキンの経年劣化によるものと推定される。	ガスメーター	矢崎エナジーシステム(株)	NX6S(2003年6月製造)	北菱産業増殖(株)	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・2023年5月末までに当該物件の各マイコンメーターの継手部の点検を実施する。 ・類似の事故防止のため、点検時の再確認を徹底するよう、指導した。	
2022/12/27	神奈川県厚木市	C2級	漏えい	共同住宅	10:13	販売事業者	給湯器の老朽化による漏えい	2022年10月27日(木)、保安機関から販売事業者に、給湯器本体から漏えいを確認したとの連絡があり、販売事業者が現場に急行した。漏えい検査を実施したところ、本体から漏えいを認めため、応急処置として交換用の給湯器(中古)を取り付け、漏えい停止処置を行い、復旧を行った。 なお、後日、共同住宅のオーナーに本件について報告し、給湯器を交換するよう依頼した。 原因は、給湯器本体の老朽化により、漏えいに至ったものと推定される。	給湯器(FP式)	リンナイ(株)	RUK1616BOX	(株)ジョイン	・ガス放出防止器あり ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器なし ・業務用換気警報器なし	・オーナーに対しては、故障前であっても、設置後同程度の年数が経過している給湯器を交換するよう依頼し、本件と同様の事象が発生しないよう促した。 ・事故届の提出を指導した。	
2022/12/30	千葉県安房郡鋸南町	C1級	漏えい 爆発 軽傷1名	一般住宅	6:40	その他(不ズミ)	ネズミによるゴム管損傷による漏えい 爆発	2022年12月30日(金)午前6時40分頃、消費者がやからんに水を入れコンロにかけ点火しようとしたメーターのAC遮断表示が点灯していたため火は着いていないことになり、2分後に緊急対応班に「自費で深夜火災の間に手入を申し出て欲しい」と火災発生を報告した。 原因は、末端ガス栓以降のガスホースがネズミにかじられていたため、ガスが漏えいし溜まったガスに何らかの要因で引火したものと推定される。	ゴム管	住友ゴム工業(株)	SRK08P	(有)松井商店	・ガス放出防止器なし ・マイコンあり ・ヒューズガス栓あり ・自動ガス遮断装置あり(対震) ・CO警報器なし ・集中監視システムなし ・ガス漏れ警報器あり ・業務用換気警報器なし	・事故発生後、同日にガス漏れ警報器を設置した。 ・事故届の提出を指導した。	